

(1) **context**[kántekst](n)「文脈、状況、背景」

[派] contextual [kəntekstʃuəl]「文脈上の」、  
contextually[kəntekstʃuəli]「文脈上」

context は con-「共に」+ text「織る」から成り、「一緒に織り込まれたもの」が原義です。そこから、語や出来事が周囲と結びついて意味をもつことを表し、「文脈」「状況」「背景」という意味になります。text は textile[tékstail]「織物」と同語源です。類義語は background[bækgraund]「背景」、situation [sitʃuəíʃən]「状況」。反意語は isolation [àisələíʃən]「孤立」、out of context「文脈を離れて」です。

(2) **consent**[kənsént](n)「同意、承諾」／(v)「同意する、承諾する」

[派] consensus[kənsénsəs]「合意・総意」、consensual [kənsénʃuəl]「合意に基づく」、dissent[disént]「反対する・異議」

consent は con-「共に」+ sent「感じる・考える」から成り、「同じ考えを持つ」が原義です。そこから「同意する」「承諾する」の意味になります。sent は sense[séns]「感覚」、sentiment[séntəmənt]「感情」と同語源です。類義語は agree[əgrí:]「同意する」、approve[əprú:v]「承認する」、accept[əksépt]「受け入れる」。反意語は refuse[rifjú:z]「拒否する」、reject [ridʒékt]「却下する」、object [əbdʒékt]「反対する」です。

(3) **contract**[kánrækt(名)／kənrækt(動)](n)「契約」／(v)「契約する、縮小する」

[派] contractor[kənræktər]「請負業者」、contraction [kənræktʃən]「収縮」、contractual [kənræktʃuəl]「契約上の」

contract は con-「共に」+ tract「引く」から成り、「互いに引き寄せる」が原義です。／(n)では「契約」、／(v)では「契約する」「縮小する」の意味になります。tract は attract [ətrækt]「引きつける」と同語源です。類義語は agreement[əgrí:mənt]「契約・合意」、shrink[ʃrɪŋk]「縮む」。反意語は disagreement[disəgrí:mənt]「不一致」、expand[ɪkspeɪnd]「拡大する」です。

(4) **contemporary**[kəntəmpərəri](n)「同時代人」／形容詞「同時代の、現代の」

[派] contemporaneous[kəntəmpərəíniəs]「同時代の」、contemporarily[kəntəmpərəáli]「同時に」

contemporary は con-「共に」+ tempor「時」から成り、「同じ時代に存在する」が原義です。／(n)では「同時代人」、形容詞では「同時代の」「現代の」という意味になります。tempor は temporary[təmpərəri]「一時的な」と同語源です。類義語は modern[mádərn]「現代の」、current [kə:rənt]「現在の」。反意語は ancient[éínʃənt]「古代の」、old-fashioned[óuld fæʃənd]「時代遅れの」です。

(5) **compromise**[kámprəməíz](n)「妥協」／(v)「妥協する、危うくする」

[派] compromising [kámprəməízɪŋ]「危うくする」、uncompromising[ʌnkámprəməízɪŋ]「妥協しない」

compromise は com-「共に」+ promise「約束する」から成り、「互いに約束し合う」が原義です。そこから、双方が譲り合って決着する「妥協」の意味になります。また「安全・信用などを危うくする」という意味にも発展しました。類義語は concession[kənséʃən]「譲歩」、settlement[sétlmənt]「解決」。反意語は refusal[rifjú:zəl]「拒否」、insistence [ínsístəns]「主張し続けること」です。

(6) **companion**[kəmpənjən](n)「仲間、連れ」

[派] company[kámpəni]「会社・仲間」、companionship [kəmpənjənʃɪp]「交友」

companion は com-「共に」+ pan「パン」から成り、「一緒にパンを食べる人」が原義です。そこから、行動や時間を共にする「仲間」「連れ」を表します。類義語は friend[frénd]「友人」、partner[pá:rtnər]「相棒」、associate[əsóúʃiət]「仲間」。反意語は stranger[stréindʒər]「見知らぬ人」、enemy[énəmi]「敵」です。

(7) **compete**[kəmpí:t](v)「競争する」

[派] competition [kámpətíʃən]「競争」、competitor [kəmpétətər]「競争相手」、competitive[kəmpétətív]「競争の激しい」

compete は com-「共に」+ pet「求める」から成り、「同じものを求める」が原義です。そこから、賞・地位・利益などをめぐって「競争する」という意味になります。類義語は rival [ráivəl]「競争する」、contend[kənténd]「争う」。反意語は cooperate[kouápərèit]「協力する」、collaborate [kələbərèit]「共同で働く」です。

(8) **accompany**[əkámpəni](v)「同行する、伴う」

[派] accompaniment[əkámpənimənt]「伴奏・付随物」、

accompanying[ækəmpəniɪŋ]「付随する」

accompany は ac-「〜へ」+ company「仲間」から成り、「仲間として一緒に行く」が原義です。人に同行する場合にも、物事が別の物事に伴う場合にも使われます。company は companion[kəmpənjən]「仲間」と同語源です。類義語は escort[iskó:rt]「付き添う」、go with「同行する」、attend[əténd]「付き添う」。反意語は leave[lí:v]「去る」、separate[séperèit]「分ける」です。

- (9) **correspond**[kò:rəspánd] (v)「一致する、対応する、文通する」

[派] correspondence[kò:rəspándəns]「一致・通信」、correspondent[kò:rəspándənt]「通信員」、corresponding[kò:rəspándiŋ]「対応する」

correspond は cor-「共に」+ respond「応答する」から成り、「互いに応答し合う」が原義です。そこから「一致する」「対応する」「文通する」の意味になります。類義語は match[mætf]「一致する」、agree[əgrí:]「一致する」、communicate[kəmjú:nəkèit]「連絡する」。反意語は differ[dífər]「異なる」、conflict[kənflíkt]「対立する」です。

- (10) **sufficient**[səfífənt] (adj)「十分な」

[派] sufficiency[səfífənsi]「十分」、sufficiently[səfífəntli]「十分に」、insufficient[insəfífənt]「不十分な」

sufficient は suf-「下から」+ fic「作る」から成り、「必要量を満たすように作られた」が原義です。そこから「十分な」「足りる」という意味になります。fic は factory[féktəri]「工場」、effect[ifékt]「結果」と関係があります。類義語は enough[ináf]「十分な」、adequate[édikwət]「適切な量の」。反意語は insufficient[insəfífənt]「不十分な」、inadequate[inédikwət]「不適切な」です。

- (11) **stable**[stéibəl] (adj)「安定した」

[派] stability[stəbíləti]「安定」、stabilize[stéibələiz]「安定させる」、unstable[ʌnstéibəl]「不安定な」

stable は sta「立つ」から成り、「しっかり立っている」が原義です。そこから、状態・気分・社会・経済などが「安定した」という意味になります。sta は stand[sténd]「立つ」、state[stéit]「状態」と同語源です。類義語は steady[stédi]「安定した」、firm[fó:rm]「しっかりした」。反意語は unstable

[ʌnstéibəl]「不安定な」、shaky[ʃéiki]「ぐらつく」です。

- (12) **modest**[módist] (adj)「控えめな、謙虚な、適度な」

[派] modesty[módisti]「謙虚さ」、modestly[módistli]「控えめに」、immodest[imódist]「慎みのない」

modest は mode[móud]「尺度・方法」と関係し、「度を越さない」が原義です。そこから、人の態度については「謙虚な」、数量については「適度な」「多すぎない」という意味になります。類義語は humble[hámbəl]「謙虚な」、moderate[móderət]「適度な」。反意語は arrogant[érəgənt]「傲慢な」、excessive[iksésiv]「過度の」です。

- (13) **abuse**[əbjú:s(名)／əbjú:z(動)] (n)「乱用、虐待」／(v)「乱用する、虐待する」

[派] abusive[əbjú:siv]「乱用の・虐待的な」、abuser[əbjú:zər]「虐待者」、misuse[misjú:s／misjú:z]「誤用・誤用する」

abuse は ab-「離れて」+ use「使う」から成り、「本来の使い方から離れて使う」が原義です。そこから、薬・権力・制度などを「乱用する」、人や動物を「虐待する」という意味になります。／(n)では「乱用」「虐待」を表します。類義語は misuse[misjú:z]「誤用する」、mistreat[mistrí:t]「虐待する」、ill-treat「虐待する」。反意語は use properly「正しく使う」、protect[prəték]「保護する」、respect[rispékt]「尊重する」です。

- (14) **abstract**[æbstrækt(形)／æbstrékt(動)] (adj)「抽象的な」／(v)「抽出する、要約する」

[派] abstraction[æbstrækʃən]「抽象化・抽出」、abstractly[æbstræktli]「抽象的に」、abstractness[æbstræktnəs]「抽象性」

abstract は abs-「離れて」+ tract「引く」から成り、「引き離す」が原義です。形容詞では、具体的な物から切り離された考えを表し、「抽象的な」となります。／(v)では、必要な部分を引き出すことから「抽出する」「要約する」の意味になります。tract は attract[ətrækt]「引きつける」と同語源です。類義語は theoretical[θi:erétikəl]「理論的な」、summarize[sáməraiz]「要約する」。反意語は concrete[kánkri:t]「具体的な」、practical[præktikəl]「実際のな」です。

- (15) **absurd**[əbsó:rd] (adj)「ばかげた、不合理な」

[派] absurdity[əbsó:rdəti]「不合理・ばかげたこと」、

absurdly[əbsə:rdli]「ばかげて」

absurd は ab-「離れて」+ surd「音・調和」から成り、「調和から外れた」が原義です。そこから、理屈や常識に合わないものを表し、「ばかげた」「不合理な」という意味になります。考え・発言・状況などに対して用いられます。類義語は ridiculous [ridíkjələs]「ばかげた」、foolish [fú:liʃ]「愚かな」、unreasonable[ʌnrí:zənəbəl]「理にかなわない」。反意語は reasonable[rí:zənəbəl]「理にかなった」、sensible [sénsəbəl]「分別のある」、logical[ládʒikəl]「論理的な」です。

- (16) **exhibit**[igzíbít](v)「展示する、示す」／(n)「展示品」  
[派] exhibition [èksəbíʃən]「展示会」、exhibitor [igzíbítər]「出品者」、exhibitively[igzíbítivli]「示すように」  
exhibit は ex-「外へ」+ hibit「持つ」から成り、「外へ差し出す」が原義です。そこから、人に見えるように「展示する」、証拠や性質を「示す」という意味になります。／(n)では、博物館などの「展示品」を表します。hibit は inhibit[inhíbit]「抑制する」、prohibit[prouhíbit]「禁止する」と関係します。類義語は display[displéi]「展示する」、show[ʃóu]「見せる」、present[prizént]「提示する」。反意語は hide[háid]「隠す」、conceal[kənsí:l]「隠す」です。

- (17) **expose**[ikspóuz](v)「さらす、暴露する」  
[派] exposure [ikspóuzər]「さらすこと・暴露」、exposed [ikspóuzd]「さらされた」、exposé[èkspozéi]「暴露記事」  
expose は ex-「外へ」+ pose「置く」から成り、「外に置く」が原義です。そこから、危険・光・批判などに「さらす」、隠された事実を「暴露する」という意味になります。pose は position[pəzíʃən]「位置」と関係があります。類義語は reveal[riví:l]「明らかにする」、uncover[ʌnkávər]「覆いを取る」、disclose[disklóuz]「開示する」。反意語は hide [háid]「隠す」、conceal [kənsí:l]「隠す」、protect [prətékt]「保護する」です。

- (18) **reveal**[riví:l](v)「明らかにする、暴露する」  
[派] revelation [rèvələíʃən]「暴露・発覚」、revealing [riví:liŋ]「多くを明らかにする」、unrevealed[ʌnriví:ld]「明かされていない」  
reveal は re-「後ろへ」+ veil「覆い」から成り、「覆いを後ろへ引く」が原義です。そこから、隠れていた事実・感情・情報

などを「明らかにする」という意味になります。veil[véil]は「ベール・覆い」の意味です。類義語は disclose[disklóuz]「開示する」、expose[ikspóuz]「暴露する」、show[ʃóu]「示す」。反意語は conceal[kənsí:l]「隠す」、hide[háid]「隠す」、cover[kávər]「覆う」です。

- (19) **reward**[riwó:rd](n)「報酬、褒美」／(v)「報いる、報酬を与える」  
[派] rewarding [riwó:rdiŋ]「やりがいのある」、rewarded [riwó:rdid]「報われた」、unrewarded[ʌnríwó:rdid]「報われない」

reward は re-「戻って」+ ward「見る・守る」に関係し、「行為に対して返ってくるもの」が原義です。そこから、努力や善行に対する「報酬」「褒美」、また「報いる」という意味になります。類義語は prize[práiz]「賞」、payment[péimənt]「支払い」、compensate[kámpənsèit]「補償する」。反意語は punishment[pániʃmənt]「罰」、penalty[pénəlti]「罰金・罰」、punish[pániʃ]「罰する」です。

- (20) **prejudice**[prédʒədəs](n)「偏見」／(v)「偏見を抱かせる、害する」

[派] prejudiced [prédʒədəst]「偏見を持った」、prejudicial[prédʒədíʃəl]「有害な・偏見に基づく」  
prejudice は pre-「前もって」+ judic「判断する」から成り、「前もって判断する」が原義です。十分な根拠なしに先に判断することから、／(n)では「偏見」、／(v)では「偏見を抱かせる」「不利にする」という意味になります。judic は judge [dʒáɔdʒ]「判断する」と同語源です。類義語は bias[báiəs]「偏見」、partiality[pà:rʃiæləti]「えこひいき」。反意語は fairness [féərnəs]「公平」、impartiality [impà:rʃiæləti]「公平無私」、objectivity [əbdʒektívəti]「客観性」です。

- (21) **burden**[bá:rdn](n)「重荷、負担」／(v)「負担をかける」

[派] burdensome [bá:rdnsəm]「負担の重い」、unburden [ʌnbá:rdn]「重荷を下ろす」、overburden [òuvərbá:rdn]「過度の負担をかける」  
burden は「運ばれるもの・背負うもの」を表し、そこから肉体的・精神的・経済的な「重荷」「負担」を意味するようになります。／(v)では、人に重荷を負わせることから「負担をかける」となります。類義語は load [lóud]「荷物・負担」、

responsibility[rɪspɒnsəbɪləti]「責任」、strain[streɪn]「負担」。反意語は relief[rɪlɪːf]「軽減」、aid[éid]「援助」、support[səpɔːrt]「支援」です。

(22) **defect**[dí:fekt](n)「欠陥、欠点」

[派] defective [díféktiv]「欠陥のある」、defection [dífékʃən]「離脱」、defect[dífékt]「離脱する」

defect は de-「離れて」+ fect「作る」から成り、「完全に作られた状態から離れている」が原義です。そこから、物や性質に不足があることを表し、「欠陥」「欠点」という意味になります。

fect は effect[ifékt]「結果」、perfect[pé:rfikt]「完全な」と関係します。類義語は flaw[fló:]「欠陥」、fault[fó:lt]「欠点」、weakness[wí:knəs]「弱点」。反意語は merit [mérit]「長所」、strength [strɛŋkθ]「強み」、perfection[pərfékʃən]「完全」です。

(23) **obstacle**[ábstəkəl](n)「障害、妨げ」

[派] obstruct [əbstrákt]「妨げる」、obstruction [əbstráktʃən]「妨害」、obstructive [əbstráktiv]「妨害する」

obstacle は ob-「前に」+ sta「立つ」から成り、「前に立ちだかるもの」が原義です。そこから、進行・達成・理解などを妨げるものを表し、「障害」「妨げ」という意味になります。sta は stand[stænd]「立つ」、stable[stéibəl]「安定した」と同語源です。類義語は barrier [béəriə]「障壁」、hindrance[híndrəns]「妨害」、difficulty[dífikəlti]「困難」。反意語は aid[éid]「助け」、advantage[ədʋántɪdʒ]「有利な点」、support[səpɔːrt]「支援」です。

(24) **threat**[θrét](n)「脅威、脅迫」

[派] threaten [θrétn]「脅す、脅威となる」、threatening [θrétnɪŋ]「脅迫的な」、threatened [θrétnɪd]「脅かされた」

threat は「危害を加える可能性」や「危険を感じさせるもの」を表し、「脅威」「脅迫」という意味になります。人からの直接的な脅しだけでなく、病気・災害・経済不安など、危険をもたらす可能性があるものにも使われます。類義語は danger [déɪndʒər]「危険」、menace[ménəs]「脅威」、risk[rɪsk]「危険性」。反意語は safety[séifti]「安全」、protection [prətékʃən]「保護」、security[sɪkjúəriti]「安全・安心」です。

(25) adequate[ædɪkwət](adj)「十分な、適切な」

[派] adequacy [ædɪkwəsi]「十分さ」、adequately [ædɪkwətli]「十分に」、inadequate[inædɪkwət]「不十分な」

adequate は ad-「～へ」+ equ「等しい」から成り、「必要な基準に等しい」が原義です。そこから、目的や条件を満たすだけの量・質があることを表し、「十分な」「適切な」という意味になります。equ は equal[í:kwəl]「等しい」と同語源です。類義語は sufficient[səfɪʃənt]「十分な」、enough[inʌf]「十分な」、satisfactory[sætɪsfæktəri]「満足できる」。反意語は inadequate [inædɪkwət]「不十分な」、insufficient[ɪnsəfɪʃənt]「不十分な」、poor[pó:r]「不十分な」です。

(26) **appropriate**[əprɔːpriət](adj)「適切な、ふさわしい」

[派] appropriately [əprɔːpriətli]「適切に」、appropriateness [əprɔːpriətənəs]「適切さ」、inappropriate[inəprɔːpriət]「不適切な」

appropriate は ap-「～へ」+ propri「自分のもの・固有のもの」から成り、「その場に固有のものに合っている」が原義です。そこから、状況・目的・相手に合っていることを表し、「適切な」「ふさわしい」という意味になります。proper[prápər]「適切な」と同語源です。類義語は suitable[sú:təbəl]「適した」、proper[prápər]「適切な」、fitting[fitɪŋ]「ふさわしい」。反意語は inappropriate[inəprɔːpriət]「不適切な」、unsuitable [ʌnsú:təbəl]「不向きな」、improper [imprápər]「不適切な」です。

(27) **moderate**[mɔːdərət(形)／mɔːdərət(動)](adj)「適度な、穏健な」／(v)「和らげる、司会をする」

[派] moderation [mɔːdərətʃən]「節度・適度」、moderately [mɔːdərətli]「適度に」、moderator [mɔːdərətər]「司会者」

moderate は mode[móud]「尺度・限度」と関係し、「限度の範囲内にある」が原義です。形容詞では、量・程度・意見が極端でないことを表し、「適度な」「穏健な」となります。／(v)では、強さを「和らげる」、議論を適度に調整することから「司会をする」の意味になります。類義語は reasonable [rí:zənəbəl]「適度な」、mild[máild]「穏やかな」、reduce [rɪdʒú:s]「減らす」。反意語は extreme[ɪkstri:m]「極端な」、excessive [ɪksésɪv]「過度の」、intensify

[inténsəfài]「強める」です。

- (28) **demonstrate** [démənstreɪt] (v)「示す、実演する、論証する」

[派] demonstration [démənstreɪʃən]「実演・証明」、  
demonstrator [démənstreɪtər]「実演者・デモ参加者」、  
demonstrative [dimánstrətív]「明示する」

demonstrate は de-「完全に」+ monstr「示す」から成り、「はっきり示す」が原義です。そこから、証拠で「示す」、方法を「実演する」、論理的に「論証する」という意味になります。monstr は monster [mánstər]「怪物」とも関係し、もとは「人に示されるもの」の意味を持ちます。類義語は show [ʃóu]「示す」、prove [prú:v]「証明する」、illustrate [íləstreɪt]「説明する」。反意語は hide [háid]「隠す」、disprove [disprú:v]「反証する」、conceal [kənsí:l]「隠す」です。

- (29) **investigate** [invéstəgèit] (v)「調査する、研究する」

[派] investigation [invéstəgèiʃən]「調査」、  
investigator [invéstəgèitər]「調査員」、investigative [invéstəgèitiv]「調査の」

investigate は in-「中へ」+ vestig「足跡」から成り、「足跡をたどって中へ入る」が原義です。そこから、原因・事実・事件などを詳しく調べることを表し、「調査する」「研究する」という意味になります。vestige [véstidʒ]「痕跡」と同語源です。類義語は examine [igzæmin]「調べる」、research [rísə:rtʃ]「研究する」、look into「調査する」。反意語は ignore [ignó:r]「無視する」、overlook [ðuəvərlúk]「見落とす」、neglect [niglékt]「怠る」です。

- (30) **congratulate** [kəngrætʃulèit] (v)「祝う、祝辞を述べる」

[派] congratulation [kəngrætʃulèiʃən]「祝辞」、  
congratulatory [kəngrætʃulətɔ:ri]「祝いの」

congratulate は con-「共に」+ grat「喜び・感謝」から成り、「共に喜ぶ」が原義です。そこから、相手の成功や幸福を喜び、「祝う」「祝辞を述べる」という意味になります。grat は grateful [gréitfəl]「感謝している」、gratitude [grætətjù:d]「感謝」と同語源です。類義語は celebrate [séləbreɪt]「祝う」、praise [preíz]「ほめる」、commend [kəménd]「称賛する」。反意語は criticize [krítəsàiz]「批判する」、blame [bléim]「非難する」、condemn

[kəndém]「非難する」です。

- (31) **stimulate** [stímjuléit] (v)「刺激する、促進する」  
[派] stimulation [stímjuléiʃən]「刺激」、stimulus [stímjuləs]

「刺激」、stimulating [stímjuléitiŋ]「刺激的な」  
stimulate は stimul「突き棒・刺激」から成り、「突いて動かす」が原義です。そこから、人の興味・活動・成長・経済などを「刺激する」「促進する」という意味になります。外から働きかけて、反応や活動を引き起こす語です。類義語は encourage [inké:ridʒ]「促す」、inspire [inspáier]「刺激する」、promote [prəmóut]「促進する」。反意語は discourage [diské:ridʒ]「思いとどまらせる」、suppress [səprés]「抑える」、restrain [ristreín]「抑制する」です。

- (32) **pursue** [pərsú:] (v)「追求する、追跡する」  
[派] pursuit [pərsú:t]「追求・追跡」、pursuer [pərsú:ər]

「追跡者」、pursuable [pərsú:əbəl]「追求可能な」  
pursue は pur-「前へ」+ sue「従う・追う」から成り、「前へ追っていく」が原義です。そこから、人や動物を「追跡する」、目標・夢・研究などを「追求する」という意味になります。sue [sú:]「訴える」も、もとは「追い求める」という発想に関係します。類義語は chase [tʃéis]「追う」、follow [fólou]「追う」、seek [sí:k]「求める」。反意語は abandon [əbændən]「放棄する」、give up「諦める」、avoid [əvóid]「避ける」です。

- (33) **multiply** [máltəplài] (v)「増える、増やす、掛け算をする」

[派] multiplication [máltəpləkèiʃən]「増加・掛け算」、  
multiple [máltəpəl]「複数の」、multiplier [máltəplàier]

「乗数」  
multiply は multi-「多くの」+ ply「折る・重ねる」から成り、「何重にも重ねる」が原義です。そこから、数や量が「増える」「増やす」、数学で「掛け算をする」という意味になります。multi- は multinational [máltinèiʃənəl]「多国籍の」などにも見られます。類義語は increase [inkrí:s]「増える」、expand [ikspénd]「拡大する」、reproduce [ri:prədjú:s]「繁殖する」。反意語は decrease [dí:kri:s]「減少する」、reduce [ridjú:s]「減らす」、divide [diváid]「割る」です。

- (34) **orbit** [ó:rbit] (n)「軌道」／(v)「軌道を回る」  
[派] orbital [ó:rbitl]「軌道の」、orbiter [ó:rbitər]「軌道船」、orbiting [ó:rbitiŋ]「軌道を回る」

## DB5500

orbit は「円・輪」を表す語に由来し、天体や人工衛星が回る道筋を表して「軌道」という意味になります。/(v)では、惑星・衛星・宇宙船などが「軌道を回る」という意味で使われます。類義語は path [pæθ]「進路」、course [kó:rs]「進路」、trajectory [trədʒéktəri]「軌道」。反意語は直訳しにくいですが、escape [iskéip]「脱出する」、departure [dipá:rtʃər]「出発・離脱」などが文脈上の反対になります。

(35) **exception** [iksépfən] (n)「例外」

[派]except [iksépt]「除く」、exceptional [iksépfənəl]「例外的な・非常に優れた」、exceptionally [iksépfənəli]「例外的に」

exception は ex-「外へ」+ cept「取る」から成り、「外へ取り出すこと」が原義です。そこから、一般的な規則や分類から外れるものを表し、「例外」という意味になります。cept は accept [æksépt]「受け入れる」、concept [kánsept]「概念」と同語源です。類義語は exclusion [iksklú:ʒən]「除外」、special case「特殊な場合」。反意語は rule [rú:l]「規則」、norm [nó:rm]「標準」、regularity [règju:léretí]「規則性」です。

(36) **insult** [insált] (動) / [insált] (名) (v)「侮辱する」 / (n)「侮辱」

[派]insulting [insáltiŋ]「侮辱的な」、insulted [insáltid]「侮辱された」

insult は in-「上に」+ sult「跳ぶ」から成り、「相手の上に飛びかかる」が原義です。そこから、言葉や態度で相手を傷つけることを表し、「侮辱する」「侮辱」という意味になります。類義語は offend [əfénd]「怒らせる」、abuse [əbju:z]「ののしる」、humiliate [hju:mílièit]「恥をかかせる」。反意語は praise [préiz]「ほめる」、respect [rispékt]「尊敬する」、compliment [kámpləmənt]「賛辞を述べる」です。

(37) **despise** [dispáiz] (v)「軽蔑する」

[派]despicable [déspikəbəl]「軽蔑すべき」、despised [dispáizd]「軽蔑された」、despising [dispáiziŋ]「軽蔑すること」

despise は de-「下へ」+ spise「見る」から成り、「下に見る」が原義です。そこから、人や行為を価値の低いものとして見下すことを表し、「軽蔑する」という意味になります。spise は respect [rispékt]「尊敬する」の spect「見る」とも発想が近い語根です。類義語は look down on「見下す」、scorn

[skó:rn]「軽蔑する」、contempt [kəntémp]「軽蔑」。反意語は respect [rispékt]「尊敬する」、admire [ədmáiar]「称賛する」、esteem [istí:m]「尊重する」です。

(38) **deceive** [disí:v] (v)「だます」

[派]deception [disépfən]「欺き」、deceptive [diséptiv]「人をだますような」、deceiver [disí:vər]「詐欺師・だます人」  
deceive は de-「離れて」+ ceive「取る」から成り、「相手を正しい方向から離して取る」が原義です。そこから、相手に誤ったことを信じさせる「だます」という意味になります。ceive は receive [risí:v]「受け取る」、perceive [pərsí:v]「知覚する」と同語源です。類義語は cheat [tʃí:t]「だます」、trick [trík]「だます」、mislead [mislí:d]「誤解させる」。反意語は tell the truth「真実を言う」、inform [infó:rm]「知らせる」、enlighten [inláitn]「啓発する」です。

(39) **decline** [diklái:n] (v)「断る、衰える、減少する」 / (n)「減少、衰退」

[派]declining [dikláiniŋ]「衰退している」、declination [dèklənéiʃən]「辞退・傾き」、declinable [dikláinəbəl]「語形変化できる」

decline は de-「下へ」+ cline「傾く」から成り、「下へ傾く」が原義です。そこから、数量・力・健康などが「減少する」「衰える」という意味になります。また、申し出から身を引くことから「断る」の意味にもなります。cline は incline [inkláin]「傾く」と同語源です。類義語は refuse [rifjú:z]「断る」、decrease [dí:kri:s]「減少する」、fall [fó:l]「下がる」。反意語は accept [æksépt]「受け入れる」、increase [inkrí:s]「増加する」、rise [ráiz]「上がる」です。

(40) **oppose** [əpóuz] (v)「反対する、対抗する」

[派]opposition [əpəziʃən]「反対」、opponent [əpóunənt]「反対者・対戦相手」、opposed [əpóuzd]「反対している」

oppose は op-「向かって」+ pose「置く」から成り、「向かい合うように置く」が原義です。そこから、意見・計画・相手に対して「反対する」「対抗する」という意味になります。pose は position [pəziʃən]「位置」と関係があります。類義語は resist [rizíst]「抵抗する」、object [əbdʒékt]「反対する」、challenge [tʃéilindʒ]「異議を唱える」。反意語は support [səpó:rt]「支持する」、agree [əgrí:]「同意する」、approve [əprú:v]「承認する」です。

(41) **conceal**[kənsi:l](v)「隠す、秘密にする」

[派] concealment [kənsi:lmənt] 「隠すこと」、  
concealed [kənsi:ld] 「隠された」、concealer  
[kənsi:lər] 「隠すもの」

conceal は con-「完全に」+ ceal「隠す」から成り、「完全に隠す」が原義です。そこから、事実・感情・物を人に見えないようにすることを表し、「隠す」「秘密にする」という意味になります。類義語は hide[háid]「隠す」、cover[kʌvər]「覆う」、disguise[disgáiz]「変装させる・隠す」。反意語は reveal [ri:vɪ:l]「明らかにする」、expose[ikspóuz]「暴露する」、disclose[disklóuz]「開示する」です。

(42) **cease**[si:s](v)「やむ、終わる、やめる」

[派] cessation[seséifən]「停止」、ceaseless[si:sləs]  
「絶え間ない」、unceasing[ʌnsi:sɪŋ]「絶え間ない」

cease は「止まる・やめる」を表す語で、動作や状態が続かなくなることを意味します。自/(v)では「やむ」「終わる」、他動詞では「やめる」となります。stop よりやや硬い語で、公式文書や説明文でよく使われます。類義語は stop[stáp]「止まる」、end[énd]「終わる」、discontinue[di:kəntínju:]「中止する」。反意語は continue[kəntínju:]「続く」、begin [bigín]「始まる」、resume[rizú:m]「再開する」です。

(43) **humanity**[hju:mænəti](n)「人類、人間性、思いやり」

[派] human[hjú:mən]「人間の」、humane[hju:méin]  
「人道的な」、humanitarian[hju:mænətéəriən]「人道主義の」

humanity は human「人間の」+ -ity「性質・状態」から成り、「人間である性質」が原義です。そこから「人類」全体を表す意味と、人間らしい温かさとしての「人間性」「思いやり」の意味が生まれました。接尾辞 -ity は名詞を作ります。類義語は mankind [mænkáind] 「人類」、humankind [hjú:mənkáind] 「人類」、kindness[káindnəs] 「親切」。反意語は cruelty [krú:olti] 「残酷さ」、inhumanity [inhju:mænəti] 「非人道性」です。

(44) **inhabitant**[inhæbətənt](n)「住民、居住者」

[派] inhabit[inhæbit]「住む」、habitat[hæbətæt]「生息地」、habitation[hæbətéifən]「居住」

inhabitant は in-「中に」+ habit「住む」+ -ant「人」から成り、「中に住んでいる人」が原義です。そこから、ある地域・

町・国などに住む「住民」「居住者」を表します。habit はもともと「住む・身につける」と関係があります。類義語は resident [rézədənt]「居住者」、dweller[dwélər]「住む人」、citizen[sítizən]「市民」。反意語は visitor[vízitər]「訪問者」、stranger[strei:ndʒər]「見知らぬ人」、outsider [áutsáidər]「部外者」です。

(45) **savage**[sævidʒ](adj)「野蛮な、獰猛な」/(n)「野蛮人」

[派] savagery [sævidʒəri] 「野蛮さ」、savagely  
[sævidʒli]「残忍に」、unsavage「野蛮でない」

savage はもともと「森の」「野生の」に関係し、文明化されていない、または非常に荒々しい性質を表す語です。形容詞では「野蛮な」「獰猛な」、/(n)では「野蛮人」を意味します。ただし、/(n)用法は現代では差別的・侮蔑的に響くことがあるため注意が必要です。類義語は cruel[krú:əl]「残酷な」、violent[váiələnt]「暴力的な」、brutal[brú:tl]「残忍な」。反意語は civilized[sívləizd]「文明化した」、gentle [dʒéntl]「穏やかな」、humane[hju:méin]「人道的な」です。

(46) **evolution**[èvelú:fən](n)「進化、発展」

[派] evolve[iválv]「進化する・発展する」、evolutionary  
[èvelú:fənəri]「進化の」、evolved[iválvd]「発達した」

evolution は e-「外へ」+ volu「巻く」+ -tion「/(n)語尾」から成り、「巻かれたものが外へほどけること」が原義です。そこから、生物が長い時間をかけて変化する「進化」、物事が段階的に発展する「発展」という意味になります。類義語は development [divéləpmənt] 「発展」、progress [prágres]「進歩」、growth[gróuθ]「成長」。反意語は decline[dikláin]「衰退」、regression[rigréʃən]「後退」、stagnation[stægnéifən]「停滞」です。

(47) **accustom**[əkʌstəm](v)「慣れさせる」

[派] accustomed[əkʌstəmd]「慣れている」、custom  
[kʌstəm]「習慣」、customary[kʌstəməri]「慣習的な」

accustom は ac-「～へ」+ custom「習慣」から成り、「習慣の状態へ置く」が原義です。そこから、人のある環境・行動・状況に「慣れさせる」という意味になります。be accustomed to ~ で「～に慣れている」という形が重要です。類義語は familiarize[fəmíliəraiz]「慣れさせる」、adapt[ədæpt]「適応させる」、habituate[həbituèit]「習慣づける」。反意

## DB5500

語は unsettle [ʌnsétl]「不安にさせる」、alienate [éiljənèit]「遠ざける」です。

- (48) **adapt** [ədæpt] (v)「適応する、適合させる、改作する」  
[派] adaptation [ædæptéiʃən]「適応・改作」、  
adaptable [ədæptəbəl]「適応できる」、adaptive [ədæptiv]「適応性のある」

adapt は ad-「〜へ」+ apt「合う」から成り、「あるものに合うようにする」が原義です。そこから、環境に「適応する」、目的に合うように「適合させる」、本などを映画向けに「改作する」という意味になります。apt は appropriate [əprəʊpriət]と同じく「適した」という発想に近い語です。類義語は adjust [ədʒʌst]「調整する」、modify [mɒdɪfai]「修正する」、accommodate [əkəmədèit]「適応させる」。反意語は resist [rizist]「抵抗する」、remain unchanged「変わらない」です。

- (49) **succeed** [səksí:d] (v)「成功する、後を継ぐ」  
[派] success [səksés]「成功」、successful [səksésfəl]「成功した」、successor [səksésər]「後継者」

succeed は suc-「下に・後に」+ ceed「行く」から成り、「後に続いて行く」が原義です。そこから、ある人の後に続く「後を継ぐ」の意味になり、さらに目的の結果まで進むことから「成功する」の意味になりました。ceed は proceed [prəsi:d]「進む」と同語源です。類義語は achieve [ətʃi:v]「達成する」、prosper [práspər]「成功する」、follow [fálou]「後に続く」。反意語は fail [féil]「失敗する」、precede [prisi:d]「先行する」です。

- (50) **distinguish** [distíngwiʃ] (v)「区別する、目立たせる」  
[派] distinction [distíŋkʃən]「区別・卓越」、distinct [distíŋkt]「明確に異なる」、distinguished [distíngwiʃt]「著名な」

distinguish は dis-「離して」+ stinguish「印をつける」に関係し、「印をつけて分ける」が原義です。そこから、複数のものを「区別する」、また他と違って優れていることで「目立たせる」という意味になります。類義語は differentiate [difərənʃièit]「区別する」、tell apart「見分ける」、discriminate [diskrímənèit]「識別する」。反意語は confuse [kənfjú:z]「混同する」、mix up「取り違える」、identify [aidéntəfai]「同一視する」です。

- (51) **derive** [diráiv] (v)「由来する、引き出す」  
[派] derivation [dèrəvéiʃən]「派生・由来」、derivative [dirívətiv]「派生的な・派生語」、derived [diráivd]「由来する」

derive は de-「下へ・離れて」+ rive「流れる」に関係し、「源から流れ出る」が原義です。そこから、語・考え・利益などがある起源から「由来する」、また情報や結論を「引き出す」という意味になります。類義語は originate [əridʒənèit]「起源をもつ」、come from「〜に由来する」、obtain [əbtéin]「得る」。反意語は create [kriéit]「創造する」、generate [dʒénərəit]「生み出す」、invent [invént]「発明する」です。

- (52) **substitute** [sʌbstətjù:t] (v)「代わりに用いる」/  
(n)「代用品、代理」

[派] substitution [sʌbstətjú:ʃən]「代用」、  
substitutable [sʌbstətjú:təbəl]「代用可能な」  
substitute は sub-「下に」+ stitute「置く」から成り、「下に置いて代わりにする」が原義です。そこから、あるものを別のものの代わりに使う「代用する」、また代わりに用いられる「代用品」「代理人」を意味します。stitute は institution [instətjú:ʃən]「制度」と関係があります。類義語は replace [ripléis]「取り替える」、exchange [ikstʃéindʒ]「交換する」、alternative [ɔ:ltə:rnətiv]「代替物」。反意語は retain [ritéin]「保持する」、keep [ki:p]「保つ」、original [əridʒənəl]「本来のもの」です。

- (53) **boast** [bóust] (v)「自慢する」/(n)「自慢、誇り」  
[派] boastful [bóustfəl]「自慢げな」、boaster [bóustər]「自慢する人」、boasting [bóustɪŋ]「自慢」

boast は、自分の能力・成功・所有物などを誇って話すことを表し、「自慢する」という意味になります。/(n)では「自慢」「誇り」を表します。良い意味で「誇りに思う」という場合もありますが、多くの場合は「必要以上に誇る」という響きを持ちます。類義語は brag [bræg]「自慢する」、show off「見せびらかす」、pride [práid]「誇り」。反意語は humble oneself「謙遜する」、understate [ʌndəstéit]「控えめに言う」、modesty [mɒdəsti]「謙虚さ」です。

- (54) **insurance** [inʃúərəns] (n)「保険、保障」  
[派] insure [inʃúər]「保険をかける」、insured [inʃúərd]「保険をかけられた」、insurer [inʃúərə]「保険会社・保険者」

## DB5500

insurance は insure「保険をかける」+ -ance「/(n)語尾」から成り、「安全を確保すること」が基本です。事故・病気・損害などに備えて金銭的な補償を受ける制度を表し、「保険」という意味になります。接尾辞 -ance は状態・行為を表す/(n)を作ります。類義語は protection[prətékʃən]「保護」、coverage [kʌvərɪdʒ]「補償範囲」、guarantee [gəʊrənti:]「保証」。反意語は risk[rísk]「危険」、uncertainty [ʌnsə:rtnti]「不確実性」、exposure [ɪkspóʊzər]「危険にさらされること」です。

(55) **suicide**[sú:əsàid](n)「自殺」

[派]suicidal[sù:əsàidl]「自殺の・自殺願望の」、suicide prevention「自殺予防」

suicide は sui-「自分自身」+ cide「殺す」から成り、「自分自身を殺すこと」が原義です。cide は homicide[háməsàid]「殺人」、insecticide[inséktəsàid]「殺虫剤」にも見られる語根です。類義語は self-destruction[sélf distrákfən]「自己破壊」、taking one's own life「自ら命を絶つこと」。反意語は survival[sərváivəl]「生存」、self-preservation[sélf prèzərvéifən]「自己保存」、life[láif]「生命」です。

(56) **bias**[báias](n)「偏見、先入観」/(v)「偏らせる」

[派]biased[báiəst]「偏った」、unbiased[ʌnbáiəst]「偏りのない」、bias-free「偏見のない」

bias は、判断や見方が一方に傾いている状態を表し、「偏見」「先入観」という意味になります。/(v)では、人の判断を一方に「偏らせる」という意味です。prejudice[prédʒədəs]よりも広く、個人的好みや統計上の偏りにも使えます。類義語は prejudice [prédʒədəs]「偏見」、partiality [pà:rʃiæləti]「えこひいき」、inclination[ɪnklənéifən]「傾向」。反意語は fairness[féərnəs]「公平」、objectivity[ʌbdʒektívəti]「客観性」、neutrality[nju:træləti]「中立」です。

(57) **reputation**[rèpjətéifən](n)「評判、名声」

[派]repute[ripjú:t]「評判」、reputable[rèpjətəbəl]「評判のよい」、disrepute[dɪsrɪpjú:t]「悪評」

reputation は repute「評価する」+ -ation「/(n)語尾」から成り、「人々によって評価されている状態」が基本です。そこから、社会的に知られている評価として「評判」「名声」という意味になります。良い評判にも悪い評判にも使えます。類義語

は fame[féim]「名声」、renown[rináun]「高名」、standing[stændɪŋ]「社会的地位」。反意語は disgrace[dɪsgréis]「不名誉」、shame[ʃéim]「恥」、disrepute[dɪsrɪpjú:t]「悪評」です。

(58) **absorb**[əbsó:rb](v)「吸収する、夢中にさせる」

[派]absorption[əbsó:rpʃən]「吸収・没頭」、absorbed [əbsó:rbd]「夢中になった」、absorbent[əbsó:rbənt]「吸収性のある」

absorb は ab-「離れて」+ sorb「吸う」から成り、「吸い込んで取り込む」が原義です。水・光・音・知識などを「吸収する」意味で使われます。また、心を取り込むことから「夢中にさせる」という意味にもなります。類義語は take in「吸収する」、soak up「吸い上げる」、engross[ɪŋgróus]「夢中にさせる」。反意語は emit[imít]「放出する」、release[rilí:s]「放出する」、repel[ripél]「はね返す」です。

(59) **exceed**[ɪksí:d](v)「超える、上回る」

[派]excess[ɪksés]「超過」、excessive[ɪksésiv]「過度の」、exceedingly[ɪksí:diŋli]「非常に」

exceed は ex-「外へ」+ ceed「行く」から成り、「限度の外へ出て行く」が原義です。そこから、数量・期待・制限・基準などを「超える」「上回る」という意味になります。ceed は proceed[prəsi:d]「進む」、succeed[səksí:d]「成功する」と同語源です。類義語は surpass[sərpées]「上回る」、go beyond「超える」、outdo[àutdú:]「しのぐ」。反意語は fall short of「届かない」、remain within「範囲内にとどまる」、fail[féil]「失敗する」です。

(60) **promote**[prəmóut](v)「促進する、昇進させる、宣伝する」

[派]promotion[prəmóufən]「促進・昇進・宣伝」、promoter[prəmóutər]「推進者」、promotional[prəmóufənəl]「宣伝の」

promote は pro-「前へ」+ mote「動かす」から成り、「前へ動かす」が原義です。そこから、活動や成長を「促進する」、人をより高い地位へ「昇進させる」、商品などを「宣伝する」という意味になります。類義語は encourage[ɪnká:ridʒ]「促す」、advance[ədvréns]「前進させる」、advertise[ədvrətáiz]「宣伝する」。反意語は hinder[hínder]「妨げる」、discourage[dɪská:ridʒ]「思いとどまらせる」、demote[dimóut]「降格させる」です。

- (61) **prevail**[prɪvɛɪl](v)「広く行き渡る、勝る、打ち勝つ」  
 [派] prevalent [prɛvələnt]「広く行き渡った」、prevalence [prɛvələns]「普及・流行」、prevailing [prɪvɛɪlɪŋ]「一般的な」  
 prevail は pre-「前に」+ vail「力がある」に関係し、「前に出る力を持つ」が原義です。そこから、考え・習慣・病気などが「広く行き渡る」、また困難や相手に「打ち勝つ」という意味になります。類義語は spread[sprɛd]「広がる」、dominate [dámənɛɪt]「支配する」、triumph[tráɪəmf]「勝利する」。反意語は disappear [dɪsəpɛər]「消える」、decline [dɪkláɪn]「衰える」、fail[féil]「失敗する」です。
- (62) **possess**[pəzɛs](v)「所有する、持っている」  
 [派] possession[pəzɛʃən]「所有」、possessive[pəzɛsɪv]「所有の・独占欲の強い」、possessor[pəzɛsər]「所有者」  
 possess は pos-「置く」+ sess「座る」に関係し、「自分の所に置いておく」が原義です。そこから、物・性質・能力などを「所有する」「持っている」という意味になります。have より硬く、資質や特徴を表す場合にもよく使われます。類義語は own[óun]「所有する」、have[hæv]「持っている」、hold[hóuld]「保持する」。反意語は lack[læk]「欠いている」、lose[lú:z]「失う」、give up「手放す」です。
- (63) **conquer**[kánkər](v)「征服する、克服する」  
 [派] conquest [kánkwest]「征服」、conqueror [kánkərər]「征服者」、conquered[kánkərd]「征服された」  
 conquer は con-「完全に」+ quer「求める・得る」に関係し、「完全に手に入れる」が原義です。そこから、土地や敵を「征服する」、恐怖・困難・病気などを「克服する」という意味になります。類義語は defeat[difɪ:t]「打ち負かす」、overcome [òuvərkám]「克服する」、subdue[səbdjú:]「制圧する」。反意語は surrender[sərəndər]「降伏する」、yield[jí:ld]「屈する」、lose[lú:z]「負ける」です。
- (64) **emphasize**[émfəsàiz](v)「強調する」  
 [派] emphasis[émfəsis]「強調」、emphatic[ɪmfætɪk]「強調された」、emphatically[ɪmfætɪkəli]「強く」  
 emphasize は emphasis「強調」+ -ize「～にする」から成り、「重要なものとして強く示す」が基本です。話・文章・説明の中で、特定の点を目立たせるときに使います。接尾辞 -ize は動詞を作ります。類義語は stress[strɛs]「強調する」、highlight[háɪlàit]「目立たせる」、underline[ʌndər'láɪn]「強調する」。反意語は downplay[dáunplɛɪ]「軽視する」、ignore[ɪgnó:r]「無視する」、understate[ʌndərstéɪt]「控えめに言う」です。
- (65) **character**[kæərəktər](n)「性格、特徴、登場人物、文字」  
 [派] characteristic[kæərəktərɪstɪk]「特徴的な・特徴」、characterize [kæərəktəràiz]「特徴づける」、characterization[kæərəktərəzɛɪʃən]「特徴づけ」  
 character は「刻みつけられた印」が原義です。そこから、人に刻み込まれた性質として「性格」、物事を見分ける印として「特徴」、物語に出る「登場人物」、書かれた「文字」の意味になりました。類義語は personality[pɛ:rsənələti]「性格」、feature[fí:tʃər]「特徴」、figure[fígjər]「人物」。反意語は hard to define「特徴がはっきりしないこと」、anonymity[ænəníməti]「匿名性」です。
- (66) **volume**[vólju:m](n)「量、容積、巻、音量」  
 [派] voluminous [vəlu:mənəs]「大量の・かさばる」、volumetric[vəljumétrɪk]「容積の」  
 volume は volu「巻く」に関係し、もとは「巻物」を表しました。そこから、本の「巻」、さらに空間を占める大きさとして「容積」、数量としての「量」、音の大きさとして「音量」の意味に広がりました。類義語は amount [əməunt]「量」、capacity [kəpə́səti]「容量」、book [búk]「本・巻」。反意語は scarcity [skéərsəti]「不足」、small amount「少量」、silence[sáɪləns]「沈黙」です。
- (67) **article**[á:rtɪkəl](n)「記事、品物、冠詞、条項」  
 [派] articulate[á:rtɪkjulət]「明瞭に話す」、articulation [á:rtɪkjulɛɪʃən]「発音・明瞭な表現」、article of clothing「衣類の一点」  
 article は「小さな部分・区切られたもの」が原義です。そこから、新聞や雑誌の一つの区切りとして「記事」、一つの物として「品物」、文法上の小さな語として「冠詞」、契約などの一項目として「条項」を意味します。類義語は report[rɪpó:rt]「記事・報告」、item[áitəm]「品目」、clause[kló:z]「条項」。反意語は whole[hóul]「全体」、entirety[intáɪərəti]「全体」です。
- (68) **remark**[rɪmá:rk](v)「述べる、意見を言う」／(n)「発言、意見」

## DB5500

[派] remarkable [rimá:rkəbəl]「注目すべき」、remarkably [rimá:rkəbli]「著しく」、remarked [rimá:rkt]「述べた」

remark は re-「再び」+ mark「印をつける」から成り、「印をつけて注意を向ける」が原義です。そこから、気づいたことを言葉にする「述べる」、またその発言としての「意見」「発言」を意味します。類義語は comment[káment]「論評する・発言」、observe [əbzə:rv]「述べる」、statement [stéitmənt]「発言」。反意語は silence[sáiləns]「沈黙」、keep quiet「黙っている」、withhold comment「コメントを控える」です。

(69) **represent**[rèprizént](v)「表す、代表する」

[派] representation [rèprizéntéiʃən]「表現・代表」、representative [rèprizéntətiv]「代表者・代表の」、misrepresent[misrèprizént]「誤って伝える」  
represent は re-「再び」+ present「示す」から成り、「改めて目の前に示す」が原義です。そこから、絵・記号・言葉などが何かを「表す」、また人や団体の代わりに立つことから「代表する」という意味になります。類義語は symbolize [símbəlaiz]「象徴する」、stand for「表す」、speak for「代表して話す」。反意語は misrepresent [misrèprizént]「誤って伝える」、distort [distó:rt]「ゆがめる」、hide[háid]「隠す」です。

(70) **interpret**[inté:rprít](v)「解釈する、通訳する」

[派] interpretation [intè:rprətéiʃən]「解釈・通訳」、interpreter [inté:rpritər]「通訳者」、misinterpret [mìsinté:rprít]「誤解する」  
interpret は inter-「間で」+ pret「説明する・仲介する」に関係し、「間に立って意味を説明する」が原義です。そこから、言葉・行動・資料などの意味を「解釈する」、また異なる言語の間に立って「通訳する」という意味になります。類義語は explain [ikspléin]「説明する」、translate [trænsléit]「翻訳する」、understand [ʌndərstænd]「理解する」。反意語は misunderstand [mìsʌndərstænd]「誤解する」、misread [mìsrí:d]「読み誤る」、confuse [kənfjú:z]「混同する」です。

(71) **interfere**[intərfiər](v)「干渉する、邪魔する」

[派] interference [intərfiərəns]「干渉・妨害」、interfering [intərfiəriŋ]「干渉する」、noninterference

[nənintərfiərəns]「不干渉」

interfere は inter-「間に」+ fere「打つ・運ぶ」に関係し、「間に入って妨げる」が原義です。そこから、他人のことに余計に関わる「干渉する」、進行を妨げる「邪魔する」という意味になります。類義語は intervene [intəví:n]「介入する」、meddle [médl]「干渉する」、hinder [híndər]「妨げる」。反意語は assist [əsíst]「助ける」、support [səpó:rt]「支援する」、leave alone「放っておく」です。

(72) **interrupt**[intərápt](v)「中断する、割り込む」

[派] interruption [intərápʃən]「中断・割り込み」、interruptive [intəráptiv]「中断する」、uninterrupted [ʌnintəráptid]「中断されない」  
interrupt は inter-「間に」+ rupt「破る」から成り、「間に入って流れを破る」が原義です。そこから、会話・作業・進行などを「中断する」、話に「割り込む」という意味になります。rupt は break の発想に近く、rupture [ráptʃər]「破裂」と同語源です。類義語は break in「割り込む」、disrupt [disrápt]「混乱させる」、cut off「遮る」。反意語は continue [kəntínju:]「続ける」、proceed [prəsi:d]「進行する」、maintain [meintéin]「維持する」です。

(73) **acquaintance**[əkwéintəns](n)「知人、面識、知識」

[派] acquaint [əkwéint]「知らせる・知り合いにさせる」、acquainted [əkwéintid]「知り合いである」、unacquainted [ʌnəkwéintid]「知らない」  
acquaintance は acquaint「知らせる・知り合いにする」+ -ance「(n)語尾」から成り、「知っている状態」が原義です。そこから、人については「知人」「面識」、物事については「知識」という意味になります。friend より距離があり、親友ではなく「知っている人」を表します。類義語は contact [kántækt]「知り合い」、associate [əsóúʃiət]「仲間」、knowledge [nólidʒ]「知識」。反意語は stranger [stréindʒər]「見知らぬ人」、ignorance [ígnərəns]「無知」です。

(74) **mutual**[mjú:tʃuəl](adj)「相互の、共通の」

[派] mutually [mjú:tʃuəli]「相互に」、mutuality [mjú:tʃuəli]「相互関係」  
mutual は「交換される・共有される」という発想から成り、二者以上の間で同じ感情・利益・関係が成り立つことを表します。

DB5500

mutual respect なら「相互の尊重」、mutual friend なら「共通の友人」です。類義語は reciprocal[rɪsɪprəkəl]「相互の」、shared[ʃeəd]「共有の」、common[kəmən]「共通の」。反意語は one-sided[wʌn saɪdɪd]「一方的な」、unilateral [juːnələtərəl]「一方的な」、individual [ɪndəvɪdʒuəl]「個別の」です。

(75) **assemble**[əsembəl](v)「集める、組み立てる、集まる」

[派]assembly[əsembli]「集会・組み立て」、assembler [əsemblər]「組立工」、reassemble[rɪːəsembəl]「再び集める・組み立て直す」

assemble は as-「〜へ」+ seemble「一緒にする」に関係し、「一か所に集める」が原義です。そこから、人を「集める」、部品を「組み立てる」、人々が「集まる」という意味になります。類義語は gather[gæðər]「集める」、collect[kəlekt]「収集する」、put together「組み立てる」。反意語は scatter [skætər]「散らす」、disperse[dispə:rs]「分散させる」、dismantle[disməntl]「分解する」です。

(76) **privilege**[prɪvələdʒ](n)「特権、特典」

[派]privileged [prɪvələdʒd]「特権を持つ」、underprivileged [ʌndərprɪvələdʒd]「恵まれない」、privilege[prɪvələdʒ]「特権を与える」

privilege は privi-「個人の」+ lege「法律」から成り、「個人にだけ与えられた法律上の権利」が原義です。そこから、特定の人や集団だけが持つ「特権」「特典」を表します。lege は legal [li:gəl]「法律の」と同語源です。類義語は advantage[ədʒvəntɪdʒ]「有利な点」、right[ráit]「権利」、benefit [bénəfɪt]「恩恵」。反意語は disadvantage [dɪsədʒvəntɪdʒ]「不利」、burden [bʉ:rdn]「負担」、restriction[rɪstrɪkʃən]「制限」です。

(77) **deserve**[dɪzə:rv](v)「〜に値する」

[派]deserving[dɪzə:rvɪŋ]「値する」、deserved[dɪzə:rvd]「当然の」、undeserved[ʌndɪzə:rvd]「不当な」

deserve は de-「完全に」+ serve「仕える」に関係し、「十分に仕えた結果として受ける価値がある」が原義です。そこから、賞・罰・評価・扱いなどを受けるに値することを表し、「〜に値する」という意味になります。類義語は merit[mérit]「値する」、be worthy of「〜にふさわしい」、earn[é:rn]「努力して得る」。反意語は be unworthy of「〜に値しない」、

forfeit[fó:rfit]「失う」、lose[lú:z]「失う」です。

(78) **decent**[dí:sənt](adj)「まともな、きちんとした、かなりよい」

[派]decency [dí:sənsɪ]「礼儀正しさ」、decently [dí:səntli]「きちんと」、indecent[ɪndí:sənt]「下品な」

decent は「ふさわしい・礼儀にかなった」という発想を持つ語です。人の態度については「礼儀正しい」、生活や品質については「まともな」「かなりよい」という意味になります。good より控えめで、「十分に許容できる」という含みがあります。類義語は proper [prápər]「適切な」、respectable [rɪspéktəbəl]「立派な」、acceptable[əkséptəbəl]「受け入れられる」。反意語は indecent[ɪndí:sənt]「下品な」、improper[ɪmprápər]「不適切な」、shameful[ʃeɪmfəl]「恥ずべき」です。

(79) **dignity**[dígnəti](n)「尊厳、品位」

[派]dignified [dígnəfàid]「威厳のある」、indignity [ɪndígnəti]「侮辱・屈辱」、dignify[dígnəfài]「品位を与える」

dignity は dign「価値がある」+ -ity「性質」から成り、「価値ある性質」が原義です。そこから、人間として尊重されるべき価値としての「尊厳」、態度やふるまいの「品位」を表します。類義語は honor [ónər]「名誉」、self-respect [sɛlf rɪspékt]「自尊心」、nobility[noubíləti]「高貴さ」。反意語は humiliation [hjuːmɪliéɪʃən]「屈辱」、disgrace [dɪsgréis]「不名誉」、shame[ʃeɪm]「恥」です。

(80) **fulfill**[fulfɪl](v)「果たす、満たす、実現する」

[派]fulfillment [fulfɪlmənt]「達成・充足」、fulfilled [fulfɪld]「満たされた」、unfulfilled[ʌnfulfɪld]「満たされない」

fulfill は full「いっぱい」+ fill「満たす」から成り、「完全に満たす」が原義です。そこから、約束・義務・条件を「果たす」、希望や夢を「実現する」、必要を「満たす」という意味になります。類義語は accomplish[əkəmpliʃ]「達成する」、satisfy [sætɪsfài]「満たす」、carry out「実行する」。反意語は fail [féil]「果たせない」、neglect [nɪglékt]「怠る」、leave undone「未完成のままにする」です。

(81) **defeat**[dífi:t](v)「打ち負かす」/(n)「敗北」

[派]defeated[dífi:tɪd]「敗れた」、defeatist[dífi:tɪst]「敗北主義者」、undefeated[ʌndífi:tɪd]「無敗の」

## DB5500

defeat は de-「完全に」+ feat「行う」に関係し、「相手の行動を完全に無効にする」が原義です。/(v)では敵や相手を「打ち負かす」、/(n)では「敗北」を意味します。類義語は beat[bí:t]「打ち負かす」、conquer[káŋkər]「征服する」、overcome[òuvərkám]「克服する」。反意語は lose[lú:z]「負ける」、surrender[səréndər]「降伏する」、victory[víktəri]「勝利」です。

- (82) **primary**[práiməri](adj)「主要な、第一の、初等の」  
[派]primarily[práimèrəli]「主に」、primary school「小学校」、primary importance「第一の重要性」  
primary は prim「第一の」+ -ary「～の性質をもつ」から成り、「第一の位置にある」が原義です。そこから、重要度が高い「主要な」、順序として「第一の」、教育では「初等の」という意味になります。prim は prime[práim]「第一の」と同語源です。類義語は main[méin]「主な」、chief[tʃí:f]「主要な」、principal[prínsəpəl]「第一の」。反意語は secondary[sékəndəri]「第二の」、minor[máinər]「重要でない」、subordinate[səbó:rdənət]「下位の」です。
- (83) **prime**[práim](adj)「主要な、最も重要な、最盛期の」  
[派]primacy[práiməsi]「第一位」、prime minister[práim mínistər]「首相」、prime time[práim tàim]「最も視聴率の高い時間帯」  
prime は prim「第一の」から成り、「最初の・最も重要な」が原義です。そこから、重要度が最も高い「主要な」、状態が最もよい「最盛期の」という意味になります。primary[práiməri]「主要な・第一の」と同語源です。類義語は chief[tʃí:f]「主要な」、principal[prínsəpəl]「第一の」、best[bést]「最良の」。反意語は secondary[sékəndəri]「第二の」、minor[máinər]「重要でない」、inferior[infíəriər]「劣った」です。
- (85) **principle**[prínsəpəl](n)「原理、原則、主義」  
[派]principal[prínsəpəl]「主要な・校長」、principled[prínsəpəld]「主義を持った」、principle-based「原則に基づく」  
principle は princi-「第一の」+ -ple「もの」から成り、「第一に置かれる基本的なもの」が原義です。そこから、考え方や行動の土台となる「原理」「原則」、また人が守る「主義」という意味になります。類義語は rule[rú:l]「規則」、basis[béisis]「基礎」、doctrine[dáktrin]「教義」。反意語は exception[iksépʃən]「例外」、disorder[disó:rdər]「無

秩序」、expediency[ikspí:diənsi]「便宜主義」です。

- (86) **environment**[invàierənmənt](n)「環境、周囲の状況」  
[派]environmental[invàierənméntl]「環境の」、environmentalist[invàierənméntəlist]「環境保護論者」、environmentally[invàierənméntəli]「環境的に」  
environment は environ「取り囲む」+ -ment「状態・もの」から成り、「周囲を取り囲んでいるもの」が原義です。そこから、人・動植物・社会などを取り巻く「環境」「周囲の状況」を表します。自然環境だけでなく、家庭環境・学習環境・職場環境にも用いられます。類義語は surroundings[səráundɪŋz]「周囲」、circumstances[só:rkəmstənsiz]「状況」、setting[sétiŋ]「環境」。反意語は isolation[àisələifən]「孤立」、vacuum[vækjuəm]「空白状態」です。
- (87) **drought**[dráut](n)「干ばつ、日照り」  
[派]droughty[dráuti]「干ばつの」、drought-resistant「干ばつに強い」、drought-stricken「干ばつに襲われた」  
drought は、雨が長期間降らず、水が不足する状態を表す語です。農業・水資源・環境問題の文脈でよく用いられ、「干ばつ」「日照り」という意味になります。単なる dry weather「乾いた天気」より深刻で、作物や生活に被害を与える状態を指します。類義語は dryness[dráinəs]「乾燥」、water shortage「水不足」、aridity[əridəti]「乾燥状態」。反意語は flood[fláð]「洪水」、rainfall[réinfɔ:l]「降雨」、moisture[móistʃər]「湿気」です。
- (88) **chemical**[kémikəl](n)「化学物質」/形容詞「化学の、化学的な」  
[派]chemistry[kéməstri]「化学」、chemist[kémist]「化学者・薬剤師」、chemically[kémikəli]「化学的に」  
chemical は chem「化学」+ -ical「～に関する」から成り、「化学に関するもの」が基本です。形容詞では「化学の」「化学的な」、/(n)では「化学物質」を表します。自然由来・人工由来のどちらにも使われ、特に薬品・農薬・工業物質などの文脈で重要です。類義語は substance[sábstəns]「物質」、compound[kámpaund]「化合物」、agent[éidʒənt]「作用物質」。反意語は natural material「天然素材」、organic substance「有機物」です。
- (89) **ecology**[ikálədʒi](n)「生態学、生態系」

## DB5500

[派] ecological [i:kələdʒikəl]「生態学の」、ecologist [ikələdʒist]「生態学者」、ecosystem [i:kəʊsistəm]「生態系」

ecology は eco-「家・環境」+ -logy「学問」から成り、「生物の住む場所を研究する学問」が原義です。そこから、生物と環境の関係を扱う「生態学」、また広く「生態系」の意味でも使われます。eco- は economy [ikəˈnəmi]「経済」とも語源的につながります。類義語は ecosystem [i:kəʊsistəm]「生態系」、environmental science「環境科学」、biology [baɪələdʒi]「生物学」。反意語は pollution [pələʊʃən]「汚染」、environmental destruction「環境破壊」です。

- (90) **preserve** [prɪzəːrv] (v)「保存する、保護する、維持する」

[派] preservation [prɪzərvɛɪʃən]「保存・保護」、preservative [prɪzəːrvətɪv]「保存料」、preserved [prɪzəːrvd]「保存された」

preserve は pre-「前もって」+ serve「守る」から成り、「前もって守っておく」が原義です。そこから、自然・文化財・食品・平和などを「保存する」「保護する」「維持する」という意味になります。単に keep よりも、価値あるものを損なわないよう守る響きがあります。類義語は protect [prəˈtɛkt]「保護する」、maintain [meɪntේn]「維持する」、conserve [kənˈsəːrv]「保存する」。反意語は destroy [dɪstrɔɪ]「破壊する」、damage [dæmɪdʒ]「損なう」、waste [weɪst]「浪費する」です。

- (91) **exploit** [ɪksplɔɪt] (v)「利用する、開発する、搾取する」

[派] exploitation [ɪksplɔɪtɛɪʃən]「利用・搾取」、exploitative [ɪksplɔɪtətɪv]「搾取的な」、exploiter [ɪksplɔɪtər]「搾取する人」

exploit は ex-「外へ」+ ploit「展開する」に関係し、「外へ広げて利用する」が基本です。資源や機会を有効に「利用する」「開発する」という意味がある一方、人を不当に利用する「搾取する」という悪い意味でもよく使われます。類義語は use [juːz]「利用する」、utilize [juːtəlaɪz]「活用する」、take advantage of「利用する」。反意語は protect [prəˈtɛkt]「保護する」、preserve [prɪzəːrv]「保存する」、respect [rɪspɛkt]「尊重する」です。

- (92) **alternative** [ɔːltəːrnətɪv] (n)「代替案」／形容詞「代わりの、別の」

[派] alternation [ɔːltərnɛɪʃən]「交替」、alternate [ɔːltərnət]「交互の」、alternatively [ɔːltəːrnətɪvli]「あるいは」

alternative は alter「他の」+ -ative「性質をもつ」から成り、「別の選択肢となるもの」が原義です。／(n)では「代替案」、形容詞では「代わりの」「別の」という意味になります。alternative energy は「代替エネルギー」です。類義語は option [ɔpʃən]「選択肢」、substitute [sʌbstətjù:t]「代用品」、choice [tʃɔɪs]「選択」。反意語は necessity [nəsésəti]「必要不可欠なもの」、only choice「唯一の選択肢」です。

- (93) **nuclear** [nú:kliər] (adj)「核の、原子力の」

[派] nucleus [nú:kliəs]「核」、nuclear power「原子力」、nuclear weapon「核兵器」

nuclear は nucleus「核」+ -ar「～の」から成り、「核に関する」が原義です。物理では原子核に関することを表し、社会的文脈では「原子力の」「核兵器の」という意味で使われます。nucleus は「中心・核」を表す語です。類義語は atomic [ətámik]「原子の」、radioactive [rèidiouæktiv]「放射性の」。反意語は nonnuclear [nànnú:kliər]「非核の」、conventional [kənvenʃənəl]「通常兵器の」です。

- (94) **virtue** [vɜːrtʃuː] (n)「美德、長所」

[派] virtuous [vɜːrtʃuəs]「高潔な」、virtuously [vɜːrtʃuəsli]「高潔に」、virtue ethics「徳倫理」

virtue は「力・優れた性質」を表す語に由来し、人間の道徳的なよさとして「美德」、物事の優れた点として「長所」を意味します。honesty is a virtue なら「正直は美德である」です。類義語は goodness [gúdnəs]「善良さ」、merit [mérit]「長所」、excellence [éksələns]「優秀さ」。反意語は vice [váis]「悪徳」、fault [fó:lt]「欠点」、weakness [wí:knəs]「弱点」です。

- (95) **odd** [ád] (adj)「奇妙な、半端な、奇数の」

[派] oddity [ádəti]「奇妙なもの」、oddly [ádli]「奇妙に」、oddness [ádnəs]「奇妙さ」

odd は、通常の組や規則から外れているものを表す語です。そこから「奇妙な」「変わった」、数については二で割り切れない「奇数の」、また odd jobs「雑用」のように「半端な」という意味にもなります。類義語は strange [stréindʒ]「奇妙な」、unusual [ʌnjú:ʒuəl]「普通でない」、peculiar

[pikjú:ljər]「特有の・奇妙な」。反意語は normal [nó:rməl]「普通の」、ordinary[ó:rdənəri]「通常の」、even[í:vən]「偶数の」です。

- (96) **absolute**[æbsəlù:t](adj)「絶対的な、完全な」  
 [派] absolutely [æbsəlù:tli]「完全に・絶対に」、  
 absoluteness [æbsəlù:tnəs]「絶対性」、absolutism  
 [æbsəlù:tizəm]「絶対主義」  
 absolute は ab-「離れて」+ solute「解く」から成り、「他  
 から切り離された」が原義です。そこから、条件や制限に左右  
 されない「絶対的な」、程度が完全である「完全な」という意味  
 になります。類義語は complete[kəmplí:t]「完全な」、  
 total[tóutl]「全面的な」、unconditional[ʌnkəndíʃənəl]  
 「無条件の」。反意語は relative[rélativ]「相対的な」、  
 limited[límitid]「限定された」、partial[pá:rʃəl]「部分的  
 な」です。

- (97) **exclude**[iksklú:d](v)「除外する、締め出す」  
 [派] exclusion [iksklú:ʒən]「除外」、exclusive  
 [iksklú:siv]「排他的な・独占的な」、excluded  
 [iksklú:did]「除外された」  
 exclude は ex-「外へ」+ clude「閉じる」から成り、「外に  
 閉め出す」が原義です。そこから、人・物・可能性などを「除外  
 する」「締め出す」という意味になります。clude は include  
 [inklú:d]「含む」、conclude[kənklú:d]「結論づける」と  
 同語源です。類義語は omit[oumít]「省く」、leave out「除  
 外する」、reject[ridʒékt]「拒絶する」。反意語は include  
 [inklú:d]「含む」、admit[ədmít]「入れる」、accept  
 [əksépt]「受け入れる」です。

- (98) **discipline**[dísəplin](n)「規律、訓練、学問分野」/  
 (v)「しつける、訓練する」  
 [派] disciplined[dísəplind]「規律ある」、disciplinary  
 [dísəplinəri]「規律上の」、disciple[disáipəl]「弟子」  
 discipline は disciple「弟子」と関係し、「学ぶ者を訓練す  
 ること」が原義です。/(n)では「規律」「訓練」、また体系的に  
 学ぶ分野として「学問分野」を意味します。/(v)では、人を「し  
 つける」「訓練する」となります。類義語は training[tréiniŋ]  
 「訓練」、order[ó:rdər]「秩序」、field[fí:ld]「分野」。反意  
 語は disorder[disó:rdər]「無秩序」、indiscipline  
 [indísəplin]「規律のなさ」、neglect[niglékt]「放置」です。

- (99) **neglect**[niglékt](v)「怠る、無視する」/(n)「怠慢、

放置」

[派] neglected[nigléktid]「放置された」、neglectful  
 [nigléktfəl]「怠慢な」、negligence[néglədʒəns]「過  
 失・怠慢」

neglect は neg-「ない」+ lect「選ぶ・集める」に関係し、  
 「注意を向けて選び取らない」が原義です。そこから、すべきこ  
 とを「怠る」、人や物を「放置する」「無視する」という意味になり  
 ます。/(n)では「怠慢」「放置」です。類義語は ignore  
 [ignó:r]「無視する」、overlook[òuvərlúk]「見落とす」、  
 fail to do「し損なう」。反意語は care for「世話をする」、  
 attend to「注意を向ける」、maintain[meintéin]「維持す  
 る」です。

- (100) **voluntary**[vóləntəri](adj)「自発的な、任意の」  
 [派] volunteer [vələntiər]「志願者・志願する」、  
 voluntarily [vələntéəri]「自発的に」、involuntary  
 [invóləntəri]「不随意の」  
 voluntary は volunt「意志」+ -ary「～の性質をもつ」か  
 ら成り、「自分の意志による」が原義です。そこから、強制では  
 なく自分から行う「自発的な」、義務ではない「任意の」という意  
 味になります。類義語は willing[wíliŋ]「進んでする」、  
 optional [ápʃənəl]「任意の」、spontaneous  
 [spantéiniəs]「自発的な」。反意語は compulsory  
 [kəmpálsəri]「強制的な」、forced[fó:rst]「強制された」、  
 involuntary[invóləntəri]「不随意の」です。

- (101) **maternal**[məté:rnəl](adj)「母の、母性的な」  
 [派] maternity [məté:rnəti]「母性・妊産婦」、  
 maternalism [məté:rnəlizəm]「母性的保護」、  
 maternally[məté:rnəli]「母親らしく」  
 maternal は mater「母」+ -al「～の」から成り、「母に関  
 する」が原義です。そこから、母親側の関係を表す「母方の」、  
 また母親らしい性質を表す「母性的な」という意味になります。  
 mater は maternity「母性」と同語源です。類義語は  
 motherly [máðərli]「母親らしい」、nurturing  
 [nú:rtʃəriŋ]「育む」、protective[prətéktiv]「保護的な」。  
 反意語は paternal [pəté:rnəl]「父の・父性的な」、  
 uncaring[ʌnkéəriŋ]「思いやりのない」です。

- (102) **practical**[præktikəl](adj)「実用的な、実際のな」  
 [派] practice [præktis]「練習・実践」、practically  
 [præktikəli]「実際に・ほとんど」、practicality

[præktikələti]「実用性」

practical は practice「実践」+ -al「～の」から成り、「実際の行動に関する」が原義です。そこから、理論だけでなく現実に役立つ「実用的な」、現実的で実行可能な「実際のな」という意味になります。類義語は useful[jú:sfəl]「役に立つ」、realistic [ri:əlístik]「現実的な」、functional [fʌŋkʃənəl]「機能的な」。反意語は theoretical [θi:ərétikəl]「理論的な」、impractical[impræktikəl]「非実用的な」、abstract[æbstrækt]「抽象的な」です。

- (103) **accomplish**[əkámpliʃ](v)「成し遂げる、達成する」

[派] accomplishment [əkámpliʃmənt]「達成・業績」、accomplished [əkámpliʃt]「熟達した」、accomplishable[əkámpliʃəbəl]「達成可能な」  
accomplish は ac-「～へ」+ accomplish「満たす」に関係し、「完全な状態にする」が原義です。そこから、仕事・目標・計画などを最後までやり遂げる「成し遂げる」「達成する」という意味になります。類義語は achieve[ətʃi:v]「達成する」、complete[kəmplí:t]「完成させる」、fulfill[fulfíl]「果たす」。反意語は fail[féil]「失敗する」、abandon[əbændən]「放棄する」、leave unfinished「未完成のままにする」です。

- (104) **institution**[ínstətjú:fən](n)「制度、機関、施設」

[派] institute [ínstətjú:t]「設立する・機関」、institutional [ínstətjú:fənəl]「制度上の」、institutionalize[ínstətjú:fənəlaíz]「制度化する」  
institution は in-「中に」+ stitute「置く」+ -ion「名詞語尾」から成り、「社会の中に置かれた仕組み」が原義です。そこから、社会的な「制度」、教育・医療などの「機関」「施設」を意味します。stitute は substitute[sʌbstətjú:t]とも同語源です。類義語は organization[ɔ:rgənəzíʃən]「組織」、establishment [ístæbliʃmənt]「機関」、system[sístəm]「制度」。反意語は individual[índəvídʒuəl]「個人」、informal practice「非公式な慣習」です。

- (105) **authority**[əθó:rəti](n)「権威、権限、当局」

[派] authorize[ó:θəraíz]「認可する」、authoritative [əθó:rətèitiv]「権威ある」、authorization [ð:θərəzíʃən]「認可」  
authority は author「創始者・著者」に関係し、「物事を始

め、責任を持つ力」が原義です。そこから、人を従わせる「権威」、正式に行う「権限」、また行政機関としての「当局」を意味します。類義語は power[páuer]「権力」、control[kəntróul]「支配」、officials[əfíʃəlz]「当局者」。反意語は weakness[wí:knəs]「弱さ」、powerlessness [páuerləsnəs]「無力」、subordination [səbð:rdənéifən]「従属」です。

- (106) **indifferent**[índífərənt](adj)「無関心な、どちらでもよい」

[派]indifference[índífərəns]「無関心」、indifferently [índífərəntli]「無関心に」、nonindifferent「無関心でない」

indifferent は in-「ない」+ different「異なる」から成り、「違いを感じない」が原義です。そこから、物事に関心や感情を示さない「無関心な」、また選択肢に差を感じない「どちらでもよい」という意味になります。類義語は unconcerned [ʌnkənsó:rnd]「無関心な」、apathetic[æpəθétik]「無気力な」、neutral [njú:trəl]「中立の」。反意語は interested [íntərəstid]「関心のある」、concerned [kənsó:rnd]「心配している」、enthusiastic [ínθù:ziæstik]「熱心な」です。

- (107) **inevitable**[ínévətəbəl](adj)「避けられない、必然的な」

[派]inevitably[ínévətəbli]「必然的に」、inevitability [ínévətəbíləti]「不可避性」、evitable[évətəbəl]「避けられる」

inevitable は in-「ない」+ evitable「避けられる」から成り、「避けることができない」が原義です。そこから、結果や変化が必ず起こる「避けられない」「必然的な」という意味になります。類義語は unavoidable[ʌnəvídəbəl]「避けられない」、certain[só:rtn]「確実な」、bound to happen「必ず起こる」。反意語は avoidable[əvídəbəl]「避けられる」、preventable [prívéntəbəl]「防げる」、uncertain [ʌnsó:rtn]「不確かな」です。

- (108) **dispute**[dispjú:t](v)「議論する、異議を唱える」／(n)「論争、紛争」

[派]disputable [dispjú:təbəl]「議論の余地がある」、undisputed [ʌndispjú:tíd]「議論の余地のない」、disputation[dispjutéifən]「論争」

## DB5500

dispute は dis-「離れて」+ put「考える」に関係し、「考えが分かれる」が原義です。/(v)では「異議を唱える」「議論する」、/(n)では「論争」「紛争」を表します。個人間の口論から国際的な紛争まで使えます。類義語は argue[á:rgju:]「議論する」、debate[dibéit]「討論する」、conflict[kánflikt]「対立」。反意語は agree[əgrí:]「同意する」、agreement [əgrí:mənt]「合意」、harmony[há:rməni]「調和」です。

(109) **innocent**[inəsənt](adj)「無罪の、無邪気な」

[派]innocence[inəsəns]「無罪・無邪気」、innocently [inəsəntli]「無邪気に」、innocuous[inákjuəs]「無害な」  
innocent は in-「ない」+ noc「害する」から成り、「害を与えていない」が原義です。そこから、罪を犯していない「無罪の」、悪意を知らない「無邪気な」という意味になります。noc は noxious[nákʃəs]「有害な」と関係します。類義語は guiltless[gíltləs]「罪のない」、harmless[há:rmələs]「無害な」、naive[naí:v]「純真な」。反意語は guilty[gílti]「有罪の」、harmful[há:rmfəl]「有害な」、corrupt[kərəpt]「墮落した」です。

(110) **annual**[ænjuəl](adj)「年一回の、年間の」/(n)「年刊誌、一年生植物」

[派]annually [ænjuəli]「年に一度」、anniversary [ænəvó:rsəri]「記念日」、annual report「年次報告書」  
annual は ann「年」+ -ual「～の」から成り、「年に関する」が原義です。形容詞では「年一回の」「年間の」、/(n)では「年刊誌」や「一年生植物」を表します。ann は anniversary「記念日」と同語源です。類義語は yearly[jíərli]「年一回の」、once-a-year「年一度の」、yearbook[jíərbúk]「年鑑」。反意語は monthly[mánθli]「月一回の」、daily[déili]「毎日の」、perennial[pərəniəl]「多年生の」です。

(111) **decade**[dékeid](n)「10年間、10年」

[派]decennial[diséniəl]「10年ごとの」、decade-long「10年間にわたる」  
decade は dec「10」から成り、「10個のまとまり」が原義です。そこから、時間の単位として「10年間」「10年」を表すようになりました。dec は decimal[désəməl]「十進法の」、December[disémbər]「12月」とも関係します。類義語は ten years「10年」、period[píəriəd]「期間」、era[iərə]「時代」。反意語は moment[mómənt]「瞬間」、instant [íntənt]「一瞬」、short period「短期間」です。

(112) **era**[iərə](n)「時代、年代」

[派]epoch[épək]「時代」、era-defining「時代を決定づける」、new era「新時代」

era は、歴史上の特徴ある時間のまとまりを表す語で、「時代」「年代」という意味になります。単なる年数ではなく、政治・文化・科学・社会などに共通する特徴をもつ期間を指します。類義語は age[éidʒ]「時代」、period[píəriəd]「期間」、epoch[épək]「時代」。反意語は moment[mómənt]「瞬間」、instant[íntənt]「一瞬」、present moment「現在の一時点」です。

(113) **immediate**[imí:diət](adj)「即座の、直接の、すぐ近くの」

[派]immediately [imí:diətli]「すぐに」、immediacy [imí:diəsi]「即時性」、mediate[mí:dièt]「仲介する」

immediate は im-「ない」+ mediate「中間にある」から成り、「間に何も無い」が原義です。そこから、時間的に間を置かない「即座の」、関係が間接でない「直接の」、距離が近い「すぐ近くの」という意味になります。類義語は instant [íntənt]「即時の」、direct[dirékt]「直接の」、nearby [níərbài]「近くの」。反意語は delayed[diléid]「遅れた」、indirect[índérékt]「間接的な」、distant[dístənt]「遠い」です。

(114) **temporary**[təmpərəri](adj)「一時的な、仮の」

[派]temporarily [təmpərəri]「一時的に」、temporary worker「臨時職員」、temporal[təmpərəl]「時間の」

temporary は tempor「時」+ -ary「～の性質をもつ」から成り、「一定の時間だけ続く」が原義です。そこから、永続的ではなく短期間だけの「一時的な」「仮の」という意味になります。tempor は contemporary[kəntəmpərəri]「同時代の」と同語源です。類義語は provisional[prəvízənəl]「暫定的な」、short-term「短期の」、transient[trænʃənt]「一時的な」。反意語は permanent[pé:rmənənt]「永続的な」、lasting[léstiŋ]「長続きする」、eternal[ité:rnəl]「永遠の」です。

(115) **ancestor**[ænsəstər](n)「祖先、先祖」

[派]ancestry [ænsəstri]「家系・祖先」、ancestral [ænséstrəl]「祖先の」、descendant[diséndənt]「子孫」  
ancestor は ante-「前に」+ cessor「行く人」に関係し、「前に行った人」が原義です。そこから、自分より前の世代に属

する「祖先」「先祖」を表します。家族だけでなく、動植物や文化の起源にも使われます。類義語は forefather[fó:rfá:ðər]「祖先」、predecessor[prédəsèsər]「前任者・先行するもの」、progenitor[proudzénətər]「始祖」。反意語は descendant[diséndənt]「子孫」、offspring[ó:fsprɪŋ]「子」、successor[səksésər]「後継者」です。

(116) **legend**[lédzənd](n)「伝説、伝説的人物」

[派] legendary[lédzəndəri]「伝説的な」、legendry[lédzəndri]「伝説集」

legend は leg「読む」に関係し、「読まれるべき物語」が原義です。そこから、昔から語り継がれる「伝説」、また非常に有名で特別な人物を表す「伝説的人物」という意味になります。類義語は myth[míθ]「神話」、tale[téil]「物語」、folklore[fóuklə:r]「民間伝承」。反意語は fact[fækt]「事実」、history[hístəri]「歴史」、reality[riələti]「現実」です。

(117) **descend**[disénd](v)「降りる、由来する、子孫である」

[派] descent[disént]「下降・血統」、descendant[diséndənt]「子孫」、descending[diséndɪŋ]「下降する」  
descend は de-「下へ」+ scend「登る・進む」から成り、「下へ進む」が原義です。そこから、場所を「降りる」、血筋や伝統が「由来する」、ある祖先の「子孫である」という意味になります。scend は ascend[əsénd]「上る」と同語源です。類義語は go down「下りる」、fall[fó:l]「落ちる」、derive[diráiv]「由来する」。反意語は ascend[əsénd]「上る」、rise[ráiz]「上昇する」、climb[kláim]「登る」です。

(118) **maintain**[meintéin](v)「維持する、主張する」

[派] maintenance[méintənəns]「維持・整備」、maintainable[meintéinəbəl]「維持できる」、maintainer[meintéinər]「維持する人」

maintain は main「手」+ tain「保つ」から成り、「手で持ち続ける」が原義です。そこから、状態・関係・制度などを「維持する」、また意見を持ち続けることから「主張する」という意味になります。tain は retain[ritéin]「保持する」、contain[kəntéin]「含む」と同語源です。類義語は preserve[prizá:rv]「維持する」、keep[kí:p]「保つ」、assert[əsə:rt]「主張する」。反意語は abandon[əbéndən]「放棄する」、neglect[niglékt]「怠る」、deny[dináí]「否定する」です。

(119) **persist**[pərsíst](v)「持続する、固執する」

[派] persistence[pərsístəns]「持続・粘り強さ」、persistent[pərsístənt]「持続する・しつこい」、persistently[pərsístəntli]「しつこく」

persist は per-「徹底して」+ sist「立つ」から成り、「最後まで立ち続ける」が原義です。そこから、困難や反対があっても「持続する」、考えや行動に「固執する」という意味になります。sist は insist[insíst]「主張する」、resist[rizíst]「抵抗する」と同語源です。類義語は continue[kəntínu:]「続く」、endure[endjúər]「耐える」、insist[insíst]「主張し続ける」。反意語は cease[sí:s]「やむ」、stop[stáp]「止まる」、give up「諦める」です。

(120) **dismiss**[dismís](v)「退ける、解雇する、解散させる」

[派] dismissal[dismísəl]「解雇・却下」、dismissive[dismísiv]「否定的な」、dismissed[dismíst]「解雇された・却下された」

dismiss は dis-「離して」+ miss「送る」から成り、「離れたところへ送る」が原義です。そこから、人を職から「解雇する」、意見や考えを「退ける」、集会や授業を「解散させる」という意味になります。miss は mission[míʃən]「任務」と同語源です。類義語は reject[ridzékt]「退ける」、fire[fáíər]「解雇する」、disband[disbénd]「解散させる」。反意語は accept[əksépt]「受け入れる」、hire[háíər]「雇う」、retain[ritéin]「保持する」です。

(121) **presence**[prézəns](n)「存在、出席、気配」

[派] present[prézənt]「存在している・現在の」、presentation[prèzəntéiʃən]「発表」、represent[rèprizént]「表す・代表する」

presence は pre-「前に」+ esse「存在する」に関係し、「目の前に存在していること」が原義です。そこから、人や物の「存在」、会合などへの「出席」、またそこにいると感じられる「気配」を意味します。類義語は existence[igzístəns]「存在」、attendance[əténdəns]「出席」、appearance[əpíərəns]「出現」。反意語は absence[æbsəns]「不在」、nonexistence[nənigzístəns]「不存在」、disappearance[disəpíərəns]「消失」です。

(122) **otherwise**[áðərwaiz]副詞「さもなければ、別の方法で」／形容詞「別の、異なった」

[派] other[áðər]「ほかの」、otherness[áðərnəs]「他者

性」、otherwise stated「別に述べられている」

otherwise は other「別の」+ wise「方法」から成り、「別の方法で」が原義です。副詞では「さもなければ」「別の方法で」、形容詞では「別の」「異なった」という意味になります。条件文の後で「そうでなければ」という意味になる用法が重要です。類義語は differently[difərəntli]「別の方法で」、or else「さもなければ」、alternatively[ɔ:ltə:rntivli]「あるいは」。反意語は similarly[símələrli]「同様に」、likewise[láikwàiz]「同じように」です。

- (123) **apparent**[əpéərənt](adj)「明らかな、見かけ上の」  
 [派] apparently [əpéərəntli]「明らかに・どうやら」、  
 appearance [əpíərəns]「外見・出現」、apparition  
 [əpəríʃən]「幻影」  
 apparent は ap-「〜へ」+ par「現れる」から成り、「目に見えるように現れる」が原義です。そこから「明らかな」という意味になりますが、同時に「見かけ上の」という意味もあり、実際とは異なる可能性を含むことがあります。類義語は obvious[óbviəs]「明らかな」、clear[klíər]「明白な」、seeming[sí:miŋ]「見かけ上の」。反意語は obscure[əbskjúər]「不明瞭な」、hidden[hídn]「隠れた」、unclear[ʌnklíər]「不明確な」です。

- (124) **peculiar**[pikjú:ljər](adj)「奇妙な、特有の」  
 [派] peculiarity [pikjú:li:éerəti]「特性・奇妙さ」、  
 peculiarly[pikjú:ljərli]「特に・奇妙に」  
 peculiar は「個人に属するもの」に関係し、「そのものに特有の」が原義です。そこから、他とは違って目立つ「特有の」、また普通と違って見える「奇妙な」という意味になります。類義語は unique[ju:ní:k]「独特の」、particular[pərtíkjələr]「特有の」、strange[stréindʒ]「奇妙な」。反意語は common[kámən]「共通の」、ordinary[ó:rdənəri]「普通の」、normal[nó:rməl]「通常の」です。

- (125) **obscure**[əbskjúər](adj)「不明瞭な、無名の」/  
 (v)「わかりにくくする」  
 [派] obscurity[əbskjúərəti]「不明瞭・無名」、obscurely  
 [əbskjúərli]「不明瞭に」、obscured[əbskjúərd]「覆い隠された」  
 obscure は ob-「上に」+ scure「覆う」に関係し、「覆われて見えにくい」が原義です。そこから、意味が「不明瞭な」、人物や場所が「無名の」、また何かを「わかりにくくする」という意味

になります。類義語は unclear[ʌnklíər]「不明確な」、vague[véig]「あいまいな」、unknown[ʌnnóun]「無名の」。反意語は clear[klíər]「明確な」、obvious[óbviəs]「明らかな」、famous[féiməs]「有名な」です。

- (126) **vague**[véig](adj)「あいまいな、漠然とした」  
 [派] vaguely[véigli]「漠然と」、vagueness[véignəs]  
 「あいまいさ」  
 vague は「さまよう・はっきり定まらない」に関係し、「輪郭が定まらない」が原義です。そこから、意味・記憶・説明・計画などがはっきりしないことを表し、「あいまいな」「漠然とした」という意味になります。類義語は unclear[ʌnklíər]「不明確な」、ambiguous[æmbígujəs]「多義的な」、indefinite[indéfənət]「不定の」。反意語は clear[klíər]「明確な」、specific[spesífik]「具体的な」、definite[défənət]「明確な」です。

- (127) **characteristic**[kæ̀rəktəristik](adj)「特徴的な」/(n)「特徴、特質」  
 [派] character[kæ̀rəktər]「性格・特徴」、characterize  
 [kæ̀rəktərəiz]「特徴づける」、characteristically  
 [kæ̀rəktəristikəli]「特徴的に」  
 characteristic は character「特徴・性格」+ -istic「〜の性質をもつ」から成り、「そのものの性質を示す」が原義です。形容詞では「特徴的な」、/(n)では「特徴」「特質」を表します。類義語は feature[fí:tʃər]「特徴」、trait[tréit]「特性」、distinctive[distíŋktiv]「独特の」。反意語は common[kámən]「ありふれた」、uncharacteristic[ʌnkæ̀rəktəristik]「特徴的でない」、ordinary[ó:rdənəri]「普通の」です。

- (128) **feature**[fí:tʃər](n)「特徴、顔立ち、特集」/(v)「特徴とする、特集する」  
 [派] featured[fí:tʃərd]「特集された」、featureless  
 [fí:tʃərləs]「特徴のない」、feature article「特集記事」  
 feature は、目立って見える形や部分を表し、/(n)では「特徴」「顔立ち」「特集」を意味します。/(v)では、あるものを重要な要素として「特徴とする」、新聞・番組などで「特集する」という意味になります。類義語は characteristic[kæ̀rəktəristik]「特徴」、aspect[éspekt]「側面」、highlight[háilàit]「目立たせる」。反意語は defect[dí:fekt]「欠陥」、flaw[fló:]「欠点」、ignore[ignó:r]「無

## DB5500

視する」です。

- (129) **observe** [əbzə:rv] (v) 「観察する、気づく、守る、述べる」

[派] observation [əbzərvéiʃən] 「観察」、observer [əbzə:rvər] 「観察者」、observant [əbzə:rvənt] 「観察力の鋭い」

observe は ob-「前に」+ serve「見守る・守る」から成り、「目の前のものを注意して見る」が原義です。そこから「観察する」「気づく」となり、規則を注意して守ることから「守る」、見たことを言葉にすることから「述べる」の意味も生じました。類義語は watch [wátʃ] 「見る」、notice [nóutis] 「気づく」、follow [fálou] 「守る」。反意語は overlook [ðuvərlúk] 「見落とす」、ignore [ignó:r] 「無視する」、violate [váiolèit] 「違反する」です。

- (130) **issue** [ífu:] (n) 「問題、発行物、発行」／(v) 「発行する、出す」

[派] issuance [ífuəns] 「発行」、issuer [ífuər] 「発行者」、issue date 「発行日」

issue は「外へ出ること」が原義です。／(n)では、議論の対象として外に出された「問題」、新聞・雑誌などの「発行物」、また「発行」を意味します。／(v)では、文書・声明・命令などを「発行する」「出す」という意味になります。類義語は problem [prábləm] 「問題」、matter [mæ̀tər] 「事柄」、publish [páblɪʃ] 「発行する」。反意語は solution [sə́lú:ʃən] 「解決策」、withdraw [wiðdró:] 「撤回する」、recall [rikó:l] 「回収する」です。

- (131) **term** [tə:rm] (n) 「用語、期間、条件、学期」

[派] terminal [tə:rmənəl] 「終点の・端末」、terminate [tə:rmənèit] 「終わらせる」、terminology [tə:rmənólədʒi] 「専門用語」

term は「境界・限界」を表す語に由来し、区切られた時間として「期間」「学期」、意味を限定する言葉として「用語」、契約などで定められた「条件」を表します。類義語は word [wó:rd] 「語」、period [píəriəd] 「期間」、condition [kəndíʃən] 「条件」。反意語は undefined expression 「未定義の表現」、limitlessness 「無制限」、whole year 「通年」です。

- (132) **constitution** [kənstətjú:ʃən] (n) 「憲法、構成、体質」

[派] constitute [kənstətjú:t] 「構成する」、

constitutional [kənstətjú:ʃənəl] 「憲法の・体質の」、constituent [kənstítjuənt] 「構成要素」

constitution は con-「共に」+ stitute 「置く」+ -ion 「名詞語尾」から成り、「共に置かれて成り立つもの」が原義です。国家を成り立たせる基本法として「憲法」、物事の「構成」、身体の成り立ちとして「体質」を意味します。類義語は charter [tʃá:rtər] 「憲章」、structure [stráktʃər] 「構造」、makeup [méikʌp] 「構成」。反意語は disorder [disó:rdər] 「無秩序」、breakdown [bréikdaun] 「崩壊」です。

- (133) **object** [əbdʒikt(名)／əbdʒékt(動)] (n) 「物体、対象、目的」／(v) 「反対する」

[派] objective [əbdʒéktiv] 「目的・客観的な」、objection [əbdʒékʃən] 「反対」、objectivity [əbdʒektívəti] 「客観性」

object は ob-「前に」+ ject 「投げる」から成り、「前に投げ出されたもの」が原義です。／(n)では、目の前にある「物体」、考えの「対象」、行為の「目的」を表します。／(v)では、相手の前に異議を投げ出すことから「反対する」となります。類義語は thing [θɪŋ] 「物」、target [tá:rgit] 「対象」、oppose [əpóuz] 「反対する」。反意語は subject [sə́bdʒikt] 「主体・主語」、agree [əgrí:] 「同意する」、approve [əprú:v] 「承認する」です。

- (134) **consequence** [kənsəkwəns] (n) 「結果、重要性」

[派] consequent [kənsəkwənt] 「結果として起こる」、consequently [kənsəkwəntli] 「その結果」、consequential [kənsəkwénʃəl] 「重大な」

consequence は con-「共に」+ sequ 「続く」+ -ence 「／(n)語尾」から成り、「後に続いて起こるもの」が原義です。そこから、行為や出来事の「結果」、また結果として重みを持つ「重要性」を意味します。sequ は sequence [sí:kwəns] 「順序」と同語源です。類義語は result [rizált] 「結果」、outcome [áutkləm] 「結果」、importance [impó:rtns] 「重要性」。反意語は cause [kó:z] 「原因」、origin [ó:rədʒɪn] 「起源」、insignificance [insignifikəns] 「重要でないこと」です。

- (135) **equipment** [ikwípment] (n) 「設備、装備、用具」

[派] equip [ikwíp] 「備えつける」、equipped [ikwípt] 「装

備した」、well-equipped「設備の整った」

equipment は equip「装備する」+ -ment「もの・状態」から成り、「備えつけられたもの」が原義です。そこから、仕事・運動・研究・生活などに必要な「設備」「装備」「用具」を表します。不可算／(n)として扱う点も重要です。類義語は apparatus [æpərəˈeɪtəs]「装置」、gear [ɡiə]「用具」、facilities [fəˈsɪlətɪz]「設備」。反意語は lack of equipment「設備不足」、bare hands「素手」、unpreparedness [ʌnpriːədɪnəs]「準備不足」です。

- (136) **innovation** [ɪnəˈveɪʃən] (n)「革新、新機軸」  
 [派] innovate [ɪnəˈveɪt]「革新する」、innovative [ɪnəˈveɪtɪv]「革新的な」、innovator [ɪnəˈveɪtər]「革新者」  
 innovation は in-「中へ」+ nov「新しい」+ -ation「／(n)語尾」から成り、「新しいものを取り入れること」が原義です。そこから、技術・制度・考え方などの「革新」「新機軸」を意味します。nov は novel [nəˈvəl]「新奇な」と同語源です。類義語は invention [ɪnˈvenʃən]「発明」、reform [rɪˈfɔːrm]「改革」、breakthrough [brɪkθruː]「突破口」。反意語は tradition [trəˈdɪʃən]「伝統」、conservatism [kənˈsɜːvətɪzəm]「保守主義」、stagnation [stæɡneɪʃən]「停滞」です。

- (137) **device** [dɪˈvaɪs] (n)「装置、工夫、方策」  
 [派] devise [dɪˈvaɪz]「考案する」、device-driven「装置主導の」、medical device「医療機器」  
 device は devise「考案する」と関係し、「考え出されたもの」が原義です。そこから、目的を果たすために作られた「装置」、問題を解くための「工夫」「方策」を表します。類義語は machine [məˈʃiːn]「機械」、instrument [ɪnstrəmənt]「器具」、method [məˈθɒd]「方法」。反意語は natural process「自然過程」、disorder [dɪˈsɔːrdər]「無秩序」、lack of method「方法の欠如」です。

- (138) **artificial** [ɑːrtɪfɪʃəl] (adj)「人工の、不自然な」  
 [派] artifice [ɑːrtɪfɪs]「技巧・策略」、artificially [ɑːrtɪfɪʃəli]「人工的に」、artificial intelligence「人工知能」  
 artificial は art「技術」+ fic「作る」+ -ial「～の」から成り、「技術によって作られた」が原義です。そこから、自然ではなく人間が作った「人工の」、また自然らしさを欠く「不自然な」という意味になります。類義語は synthetic [sɪnθetik]「合

成の」、man-made「人工の」、unnatural [ʌnnætʃərəl]「不自然な」。反意語は natural [nætʃərəl]「自然の」、genuine [dʒɛnjuɪn]「本物の」、organic [ɔːrgænik]「有機的な」です。

- (139) **apply** [əpláɪ] (v)「適用する、申し込む、塗る」  
 [派] application [æplɪkේɪʃən]「適用・申請」、applicant [æplɪkənt]「応募者」、applicable [æplɪkəbəl]「適用できる」  
 apply は ap-「～へ」+ ply「折る・重ねる」に関係し、「何かを対象に重ねる」が原義です。そこから、規則を「適用する」、仕事や学校に「申し込む」、薬やペンキを「塗る」という意味になります。類義語は use [juːz]「用いる」、employ [emplɔɪ]「使用する」、request [rɪkwɛst]「申請する」。反意語は remove [rɪmúːv]「取り除く」、withdraw [wɪðdrɔː]「取り下げる」、ignore [ɪgnóːr]「無視する」です。

- (140) **sphere** [sfíər] (n)「球、範囲、領域」  
 [派] spherical [sférikəl]「球形の」、hemisphere [hémisfíər]「半球」、atmosphere [ætˌmɔːsfíər]「大気・雰囲気」  
 sphere は「球」を表す語で、形としては「球体」を意味します。そこから、活動や影響が及ぶ丸く囲まれた範囲という発想で、「範囲」「領域」という意味にもなります。sphere of influence は「勢力範囲」です。類義語は globe [glɔʊb]「球体」、field [fíːld]「分野」、domain [dəuˈmeɪn]「領域」。反意語は outside [áutsáɪd]「外部」、edge [édʒ]「端」、periphery [pəˈrɪfəri]「周辺」です。

- (141) **atmosphere** [ætˌmɔːsfíər] (n)「大気、雰囲気」  
 [派] atmospheric [ætˌmɔːsférik]「大気・雰囲気」、atmospherically [ætˌmɔːsférikəli]「大氣的に」、atmospheric は不可  
 atmosphere は atmos「蒸気」+ sphere「球」から成り、「地球を取り巻く蒸気の球」が原義です。そこから、地球を包む「大気」、また人や場所を包む感じとしての「雰囲気」を意味します。類義語は air [éər]「空気」、climate [klaɪmət]「風土・雰囲気」、mood [múːd]「雰囲気」。反意語は vacuum [vækjuəm]「真空」、emptiness [émptɪnəs]「空虚」、tension-free clarity「張りつめた雰囲気のなさ」です。

- (142) **contribute** [kəntrɪbjúːt] (v)「貢献する、寄付する、一因となる」

## DB5500

[派] contribution [kəntrɪbjú:ʃən]「貢献・寄付」、contributor [kəntrɪbjutər]「貢献者・寄稿者」、contributory[kəntrɪbjutɔ:ri]「一因となる」

contribute は con-「共に」+ tribute「与える」から成り、「共に与える」が原義です。そこから、力・お金・意見などを出して「貢献する」「寄付する」、また結果を生む一因となる意味にもなります。類義語は donate[dóuneit]「寄付する」、help[hélp]「助ける」、add[éd]「加える」。反意語は hinder[híndər]「妨げる」、withhold[wiðhóuld]「差し控える」、take away「取り去る」です。

- (143) **distribute**[dɪstrɪbjú:t](v)「分配する、配布する、流通させる」

[派] distribution [dɪstrɪbjú:ʃən]「分配・流通」、distributor [dɪstrɪbjutər]「販売業者・配布者」、distributed[dɪstrɪbjú:tɪd]「分散した」

distribute は dis-「別々に」+ tribute「与える」から成り、「別々に分けて与える」が原義です。そこから、物資・資料・情報などを「分配する」「配布する」、商品を市場に「流通させる」という意味になります。類義語は divide[díváid]「分ける」、deliver[dilívər]「配達する」、circulate[só:rkjulèit]「流通させる」。反意語は collect[kəlékɪt]「集める」、gather[gæðər]「集める」、concentrate[kánsəntreɪt]「集中させる」です。

- (144) **contrary**[kántrəri](adj)「反対の」／(n)「反対」  
[派]contrary to「～に反して」、contrarily[kántrəri]「反対に」、contrariness[kántrəri]「反対・強情」  
contrary は contra-「反対に」から成り、「向かい合って反対である」が原義です。形容詞では「反対の」「相いれない」、／(n)では the contrary「反対」を表します。on the contrary は「それどころか」という重要表現です。類義語は opposite[ápəzɪt]「反対の」、conflicting[kənflɪktɪŋ]「矛盾する」、reverse[rívə:rs]「逆」。反意語は similar[símələr]「似ている」、same[séim]「同じ」、consistent[kənsístənt]「一致した」です。

- (145) **contrast**[kántræst(名)／kəntræst(動)](n)「対照、対比」／(v)「対比する、対照をなす」  
[派]contrasting[kántræstɪŋ]「対照的な」、contrastive[kántræstɪv]「対照的な」、by contrast「対照的に」  
contrast は contra-「反対に」+ st「立つ」に関係し、「反

対側に立つ」が原義です。／(n)では「対照」「対比」、／(v)では二つのものを「対比する」、また違いが目立って「対照をなす」という意味になります。類義語は comparison[kəmpəreɪsən]「比較」、difference[dífərəns]「違い」、opposition[ápəzɪʃən]「対立」。反意語は similarity[síməleərəti]「類似」、resemblance[rizémbləns]「類似」、likeness[láiknəs]「似ていること」です。

- (146) **architecture**[á:rkətèktʃər](n)「建築、建築様式、構造」

[派] architect [á:rkətèkt]「建築家」、architectural [á:rkətèktʃərəl]「建築の」、architecturally [á:rkətèktʃərəli]「建築上」

architecture は architect「建築家」+ -ure「名詞語尾」から成り、「建築に関するもの」が基本です。建物を設計・建設する「建築」、建物の「建築様式」、さらにコンピュータや組織などの「構造」にも使われます。類義語は building design「建築設計」、structure[stɹáktʃər]「構造」、construction[kənstráktʃən]「建設」。反意語は demolition[déməliʃən]「解体」、destruction[dɪstráktʃən]「破壊」です。

- (147) **facility**[fəsɪləti](n)「施設、設備、能力、容易さ」  
[派] facilitate [fəsɪlətèit]「容易にする」、facilitation [fəsɪlətèiʃən]「促進」、facile[fæses]「容易な・安易な」  
facility は facil「容易な」+ -ity「性質」から成り、「容易にする性質」が原義です。そこから、活動を可能にする「施設」「設備」、物事を楽に行う「能力」、古い用法では「容易さ」を意味します。類義語は equipment[ikwípment]「設備」、institution[ɪnstətjú:ʃən]「施設」、ability[əbɪləti]「能力」。反意語は obstacle[ábstəkəl]「障害」、difficulty[dífikəlti]「困難」、inability[ɪnəbɪləti]「無能力」です。

- (148) **property**[prápərti](n)「財産、所有物、特性」  
[派] proper [prápər]「適切な・固有の」、proprietor [prəpráietər]「所有者」、proprietary [prəpráietəri]「所有者の」  
property は proper「自分に固有の」から成り、「自分に属するもの」が原義です。そこから「財産」「所有物」を意味し、さらに物質や物事に固有の性質として「特性」も表します。類義語は possession[pəzəʃən]「所有物」、asset[æset]「資産」、quality[kwáləti]「性質」。反意語は debt[dét]「負

## DB5500

債」、liability[laiəbɪləti]「負債・責任」、nonproperty「非所有物」です。

(149) **vacant**[véikənt](adj)「空いている、空席の、うつろな」

[派]vacancy[véikənsi]「空席・空室」、vacate[véikeit]「立ち退く」、vacant lot「空き地」

vacant は vac「空である」+ -ant「～の性質をもつ」から成り、「中が空である」が原義です。部屋・席・職が「空いている」、また表情が「うつろな」という意味にもなります。類義語は empty[éempti]「空の」、unoccupied[ʌnákjupàid]「使用されていない」、available[əvéləbəl]「利用可能な」、反意語は occupied[ákjupàid]「使用中の」、full[fúl]「満員の」、filled[fild]「満たされた」です。

(150) **occupy**[ákjupài](v)「占める、占領する、従事させる」

[派]occupation[ákjupéiʃən]「職業・占領」、occupied[ákjupàid]「使用中の・忙しい」、occupant[ákjupənt]「居住者」

occupy は oc-「～へ」+ cup「取る」から成り、「場所を取る」が原義です。そこから、空間や時間を「占める」、軍隊が土地を「占領する」、人をある活動に「従事させる」という意味になります。類義語は take up「占める」、fill[fil]「満たす」、seize[sí:z]「占拠する」。反意語は vacate[véikeit]「空ける」、leave[lí:v]「去る」、abandon[əbændən]「放棄する」です。

(151) **describe**[diskráib](v)「描写する、説明する」

[派]description[diskrípʃən]「描写・説明」、descriptive[diskríptiv]「描写的な」、indescribable[ɪndiskráibəbəl]「言葉で表せない」

describe は de-「下へ」+ scribe「書く」から成り、「書き下ろす」が原義です。そこから、言葉で物事の性質や様子を「描写する」「説明する」という意味になります。scribe は manuscript[mænjuskript]「原稿」、inscribe[ɪnskráib]「刻む」と同語源です。類義語は explain[ɪkspléin]「説明する」、portray[pɔ:rtreɪ]「描写する」、depict[dipikt]「描く」。反意語は confuse[kənfjú:z]「混乱させる」、misrepresent[misreprizént]「誤って伝える」、hide[háid]「隠す」です。

(152) **manuscript**[mænjuskript](n)「原稿、写本」

[派]script[skript]「台本・文字」、scripture[skriptʃər]「聖書・経典」、inscription[ɪnskrípʃən]「碑文・銘」

manuscript は manu「手」+ script「書かれたもの」から成り、「手で書かれたもの」が原義です。そこから、印刷前の「原稿」、また古い時代に手書きで写された「写本」を意味します。manu は manual[mænjuəl]「手の・手引書」と同語源です。類義語は draft[dræft]「下書き」、text[tékst]「本文」、copy[kápi]「写し」。反意語は printed book「印刷本」、publication[pʌblikéiʃən]「出版物」、final version「完成版」です。

(153) **inherit**[inhérit](v)「相続する、受け継ぐ」

[派]inheritance[ɪnhérətəns]「相続・遺産」、heir[éər]「相続人」、inherited[ɪnhéritid]「受け継がれた」

inherit は in-「中へ」+ herit「相続する」に関係し、「相続の中に入る」が原義です。そこから、財産を「相続する」、性質・文化・伝統などを「受け継ぐ」という意味になります。類義語は receive[rísi:v]「受け取る」、succeed to「相続する」、take over「引き継ぐ」。反意語は bequeath[bikwí:ð]「遺贈する」、pass on「譲り渡す」、disinherit[dɪsɪnhérit]「相続権を奪う」です。

(154) **heritage**[héritidʒ](n)「遺産、伝統」

[派]inherit[ɪnhérit]「相続する」、inherited[ɪnhéritid]「受け継がれた」、hereditary[hərədətəri]「遺伝性の」

heritage は herit「相続する」+ -age「集合・状態」から成り、「受け継がれたもの」が原義です。そこから、文化・歴史・自然・伝統など、後世に引き継がれる価値ある「遺産」を意味します。類義語は legacy[légəsi]「遺産」、tradition[trədɪʃən]「伝統」、inheritance[ɪnhérətəns]「相続財産」。反意語は innovation[ɪnəvéiʃən]「革新」、break with tradition「伝統との断絶」、loss[ló:s]「喪失」です。

(155) **aspect**[æspekt](n)「側面、局面、様子」

[派]inspect[ɪnspekt]「検査する」、respect[rɪspekt]「尊敬する」、perspective[pərspektiv]「視点」

aspect は a-「～へ」+ spect「見る」から成り、「ある方向から見たもの」が原義です。そこから、物事を一つの方向から見た「側面」「局面」、外から見える「様子」という意味になります。spect は inspect「よく見る」、respect「振り返って見る」と同語源です。類義語は side[sáid]「側面」、feature[fí:tʃər]「特徴」、viewpoint[vjú:pɔɪnt]「観点」。反意語は whole[hóul]「全体」、entirety[ɪntáɪərəti]「全体」、core[kó:r]「核心」です。

(156) **prospect**[práspekt](n)「見込み、可能性、眺望」  
[派]prospective[prəspéktiv]「見込みのある・将来の」、  
prospectus [prəspéktəs] 「案内書」、prospector  
[práspektər]「探鉱者」

prospect は pro-「前へ」+ spect「見る」から成り、「前方を見る」が原義です。そこから、将来を見通した「見込み」「可能性」、また前方に広がる「眺望」を意味します。類義語は possibility[pàsəbíləti]「可能性」、outlook[áutlúk]「見通し」、view[vjú:]「眺め」。反意語は hopelessness [hóupləsnəs] 「見込みのなさ」、impossibility [impàsəbíləti]「不可能」、dead end「行き詰まり」です。

(157) **despair**[dispéar](n)「絶望」／(v)「絶望する」  
[派]desperate [déspərət] 「絶望的な・必死の」、  
despairing [dispéəriŋ] 「絶望した」、despairingly  
[dispéəriŋli]「絶望して」

despair は de-「離れて」+ sper「望む」から成り、「希望から離れる」が原義です。そこから、／(n)では「絶望」、／(v)では「絶望する」を意味します。hope と対立する語として覚えると理解しやすい語です。類義語は hopelessness [hóupləsnəs]「絶望」、desperation[dèspərəifən]「絶望・必死」、misery[mízəri]「悲惨」。反意語は hope[hóup]「希望」、confidence[kánfədəns]「自信」、optimism [óptəmizəm]「楽観主義」です。

(158) **grief**[grí:f](n)「深い悲しみ、悲嘆」  
[派]grieve[grí:v]「深く悲しむ」、grievous[grí:vəs]「悲痛な」、grieving[grí:viŋ]「悲嘆に暮れている」  
grief は、死別や大きな喪失によって生じる深い悲しみを表す語です。sadness より重く、長く続く悲嘆を指します。／(v) grieve は「深く悲しむ」です。類義語は sorrow[sárou]「悲しみ」、mourning[mó:rniŋ]「喪・哀悼」、sadness [sædnəs]「悲しみ」。反意語は joy[dʒóɪ]「喜び」、delight [diláit]「大喜び」、comfort[kámfərt]「慰め」です。

(159) **misery**[mízəri](n)「悲惨、不幸、みじめさ」  
[派]miserable [mízərəbəl]「みじめな」、miserably  
[mízərəbli]「みじめに」、miser[máizər]「けち」  
misery は、精神的・肉体的に非常につらい状態を表し、「悲惨」「不幸」「みじめさ」という意味になります。単なる sadness よりも、苦痛や困窮を伴う強い不幸を表します。類義語は suffering[sáfəriŋ]「苦しみ」、distress[distrés]

「苦悩」、hardship [há:rdʃip]「困難」。反意語は happiness[hæpínəs]「幸福」、comfort[kámfərt]「快適さ・慰め」、prosperity[prəspérəti]「繁栄」です。

(160) **tragedy**[trædzədi](n)「悲劇、惨事」  
[派]tragic [trædzik] 「悲劇的な」、tragically  
[trædzikəli]「悲劇的に」、tragedian[trædzí:diən]「悲劇俳優」

tragedy は、もとは古代ギリシャ劇の「悲劇」を表す語です。そこから、人生や社会で起こる非常に悲しい出来事、特に死や大きな損失を伴う「惨事」を意味するようになりました。類義語は disaster [dizæstər] 「災害・惨事」、catastrophe [kətæstrəfi]「大惨事」、calamity[kæləməti]「災難」。反意語は comedy[kámədi]「喜劇」、blessing[blésɪŋ]「幸運」、success[səksés]「成功」です。

(161) **sympathy**[símpəθi](n)「同情、共感」  
[派]sympathetic [símpəθétik] 「同情的な」、  
sympathize [símpəθàiz] 「同情する」、  
sympathetically[símpəθétikəli]「同情的に」  
sympathy は sym-「共に」+ pathy「感情・苦しみ」から成り、「共に感じること」が原義です。そこから、相手の苦しみに寄り添う「同情」、また考えや立場への「共感」を意味します。類義語は compassion[kəmpæʃən]「思いやり」、pity[píti]「哀れみ」、empathy [émpəθi]「共感」。反意語は indifference[indífərəns]「無関心」、cruelty[krú:əlti]「残酷さ」、hostility[hastíləti]「敵意」です。

(162) **diet**[dáiet](n)「食事、食生活、食事療法」  
[派]dietary[dáietəri]「食事の」、dietitian[dáietíʃən]  
「栄養士」、dieting[dáietɪŋ]「食事制限」  
diet は、日常的に取る食べ物全体を表し、「食事」「食生活」という意味になります。また、健康や減量のために調整された「食事療法」「食事制限」も表します。類義語は food[fú:d]「食べ物」、nutrition[nju:tríʃən]「栄養」、meal plan「食事計画」。反意語は starvation [sta:rvéifən]「飢餓」、malnutrition [mælnju:tríʃən]「栄養失調」、overeating[óuvəri:tiŋ]「食べ過ぎ」です。

(163) **letter**[létər](n)「手紙、文字」  
[派]literal[lítərəl]「文字通りの」、literary[lítərəri]「文学の」、literature[lítərətʃər]「文学」  
letter は「文字」を表す語に由来し、アルファベットなどの一つ

## DB5500

一つの「文字」を意味します。さらに、文字で書かれた通信文として「手紙」の意味にもなりました。類義語は character [kæ̀rəktə̀r]「文字」、note [nóut]「短い手紙」、message [mésidʒ]「伝言」。反意語は speech [spí:tʃ]「話し言葉」、silence [sáiləns]「沈黙」、blank [blæ̀ŋk]「空白」です。

- (164) **suit** [sú:t] (n)「スーツ、訴訟、一組」／(v)「合う、適する」  
[派] suitable [sú:təbəl]「適した」、suitably [sú:təbli]「適切に」、lawsuit [lɔ:sú:t]「訴訟」

suit は「続くもの・一組」を表す語に由来し、上下がそろった衣服として「スーツ」、一連の法的手続きとして「訴訟」を意味します。／(v)では、人・目的・状況に「合う」「適する」となります。類義語は match [mæ̀tʃ]「合う」、fit [fít]「合う」、appropriate [əprəupriət]「適切な」。反意語は mismatch [mismæ̀tʃ]「不一致」、misfit [mísfít]「合わないもの」、unsuitable [ʌnsú:təbəl]「不適切な」です。

- (165) **credit** [krédít] (n)「信用、功績、単位、掛け売り」／(v)「信用する、功績を認める」

[派] credible [krédəbəl]「信頼できる」、credibility [krédəbíləti]「信頼性」、creditor [krédítə̀r]「債権者」  
credit は cred「信じる」から成り、「信じられていること」が原義です。そこから、／(n)では「信用」、人の働きに対する「功績」、学校の「単位」、支払いを後にする「掛け売り」を表します。／(v)では「信用する」「功績を認める」となります。類義語は trust [trást]「信頼」、reputation [rèpjətéifən]「評判」、honor [ónə̀r]「名誉」。反意語は distrust [distrást]「不信」、discredit [diskrédít]「信用失墜」、blame [bléim]「非難」です。

- (166) **pension** [pénʃən] (n)「年金」  
[派] pensioner [pénʃənə̀r]「年金受給者」、pensionable [pénʃənəbəl]「年金受給資格のある」、retirement pension「退職年金」

pension は「支払い」を表す語に由来し、特に退職後や老後に定期的に支給されるお金として「年金」を意味します。公的制度や会社の制度によって支払われる生活保障の一種です。類義語は retirement pay「退職金・退職給付」、allowance [əláuəns]「手当」、annuity [ənjú:əti]「年金」。反意語は wage [wéidʒ]「賃金」、salary [sæ̀ləri]「給料」、active income「労働収入」です。

- (167) **conference** [kánfərəns] (n)「会議、協議会」

[派] confer [kənfə̀:r]「相談する・授与する」、conference room「会議室」、videoconference [vídioukánfərəns]「ビデオ会議」

conference は con-「共に」+ fer「運ぶ・持ち寄る」+ -ence「／(n)語尾」から成り、「意見を共に持ち寄ること」が原義です。そこから、特定の議題について話し合う「会議」「協議会」を意味します。類義語は meeting [mí:tiŋ]「会合」、council [káunsəl]「評議会」、discussion [diskʌ́ʃən]「討議」。反意語は isolation [àisələifən]「孤立」、silence [sáiləns]「沈黙」、unilateral decision「一方的決定」です。

- (168) **firm** [fə̀:rm] (n)「会社」／形容詞「堅い、しっかりした」／副詞「しっかりと」

[派] firmly [fə̀:rmlí]「しっかりと」、firmness [fə̀:rmnəs]「堅さ・確固たること」、affirm [əfə̀:rm]「断言する」  
firm は「堅い・安定した」を表す語に由来します。形容詞では物理的に「堅い」、態度や意志が「しっかりした」という意味になります。／(n)では、安定した組織体としての「会社」を表します。類義語は company [kámpəni]「会社」、solid [sálid]「堅固な」、steady [stédi]「安定した」。反意語は soft [só:ft]「柔らかい」、unstable [ʌnstéibəl]「不安定な」、weak [wí:k]「弱い」です。

- (169) **signature** [sínə̀tʃə̀r] (n)「署名、特徴」  
[派] sign [sáin]「署名する・印」、signatory [sínə̀tò:ri]「署名者」、signed [sáind]「署名された」

signature は sign「印・署名」+ -ature「／(n)語尾」から成り、「印として書かれたもの」が原義です。そこから、本人確認のための「署名」、またその人や物の特徴づける「特徴」という意味になります。類義語は autograph [ó:təgræ̀f]「自筆署名」、mark [má:rk]「印」、feature [fi:tʃə̀r]「特徴」。反意語は anonymity [ə̀nəniməti]「匿名性」、unsigned state「無署名」、namelessness「無名」です。

- (170) **freight** [fréit] (n)「貨物、貨物輸送」  
[派] freighter [fréitə̀r]「貨物船・貨物機」、freightage [fréitidʒ]「貨物運送料」、air freight「航空貨物」

freight は、船や列車などで運ばれる荷物を表す語で、「貨物」「貨物輸送」という意味になります。人ではなく、商品・資材・荷物などの輸送に焦点があります。類義語は cargo [ká:rgou]「貨物」、shipment [ʃípment]「積荷」、goods [gúdz]「商品」。反意語は passenger [pæsə̀ndʒə̀r]「乗客」、

personal luggage「手荷物」、empty load「空荷」です。

(171) **vehicle** [vi:ikəl] (n)「乗り物、媒体、手段」

[派]vehicular [vihi:kjələr]「乗り物の」、vehicle-borne [vi:ikəl bór:n]「車両による」、vehicle for ~「~の手段」  
vehicle はラテン語 vehere「運ぶ」に由来し、「人や物を運ぶもの」が原義です。この基本イメージから、自動車・列車・船・航空機などの具体的な「乗り物」を表す語となりました。さらに意味は抽象化し、情報・思想・感情などを伝える「媒体」や、目的を達成するための「手段」という意味にも拡張されています。たとえば language [læŋɡwɪdʒ] is a vehicle of thought は、言語が思考を運ぶ手段であることを示します。このように vehicle は「運搬」を軸に具体から抽象へと意味が広がった語です。類義語は transport [trænsˈpɔ:rt]「輸送手段」、means [mi:nz]「手段」、carrier [kæriər]「運搬するもの」。反意語は obstacle [ˈɒbstækəl]「障害」、hindrance [hɪndrəns]「妨げ」です。

(172) **carriage** [kæriɪdʒ] (n)「馬車、客車、運搬、姿勢」

[派]carry [kæri]「運ぶ」、carrier [kæriər]「運搬者」、carriageway [kæriɪdʒweɪ]「車道」  
carriage は carry「運ぶ」+ -age から成り、「運ぶこと・運ばれるもの」が原義です。そこから歴史的には「馬車」、鉄道の「客車」などの輸送手段を表すようになりしました。また、身体を支えて保つという観点から「姿勢」「身のこなし」の意味も生まれています。つまり「支えて運ぶ」という基本イメージが、輸送と身体表現の両方に広がっています。類義語は vehicle [vi:ikəl]「乗り物」、transportation [trænsˈpɔ:tɪˈʃən]「輸送」、posture [ˈpɔ:stʃər]「姿勢」。反意語は immobility [i:məʊbɪləti]「不動」、stillness [stɪlnəs]「静止」です。

(173) **deal** [di:l] (v)「扱う、対処する、分配する」／(n)「取引、量」

[派]dealer [di:lər]「販売者」、dealings [di:lɪŋz]「取引」、deal with ~「対処する」  
deal は「分ける・配る」が原義で、カードを配る動作から意味が発展しました。そこから物事を分配する、さらに問題や人に関わって処理することから「扱う」「対処する」という意味になります。deal with ~は「~に対処する」という重要表現です。／(n)では商売の「取引」、また a great deal のように「大量」の意味も持ちます。具体的な分配行為から抽象的な処理へ広がった語です。類義語は handle [hændl]「扱う」、manage

[mæniɪdʒ]「対処する」、transaction [trænzæktʃən]「取引」。反意語は ignore [ɪgnó:r]「無視する」、avoid [əvɔɪd]「避ける」です。

(174) **manual** [mænjuəl] (adj)「手の、手作業の」／(n)「手引書」

[派]manually [mænjuəli]「手で」、manufacture [mænəfæktʃər]「製造する」、manuscript [mænjuskript]「原稿」  
manual は manus「手」に由来し、「手に関する」が原義です。形容詞では機械を使わず人の手で行う「手作業の」という意味になります。manual labor は「肉体労働」を表します。／(n)では、機械や装置を操作するための説明書として「手引書」を意味します。つまり「手で扱うための指示」が語義の中心です。語源的には manuscript(手で書く)などとも結びつきます。類義語は handbook [hændbʊk]「手引書」、guide [gaɪd]「案内書」。反意語は automatic [ˌɔ:təmætɪk]「自動の」です。

(175) **illustrate** [ɪləstreɪt] (v)「説明する、例示する、図解する」

[派]illustration [ɪləstreɪʃən]「図解・説明」、illustrative [ɪləstrətɪv]「例示的な」  
illustrate は「明るくする」が原義で、「物事を明らかにする」という意味から発展しました。そのため、具体例や図を使って「説明する」「例示する」という意味になります。単なる explain よりも、視覚的・具体的な補助を伴う説明である点が特徴です。抽象的内容を理解しやすくする際に用いられます。類義語は explain [ɪkspleɪn]、demonstrate [dɛmənstreɪt]、clarify [klɛrəfaɪ]。反意語は confuse [kənˈfju:z]、obscure [əbskjʊər]です。

(176) **stick** [stɪk] (v)「突き刺す、くっつく、固執する」／(n)「棒」

[派]sticky [stɪki]「粘着性の」、sticker [stɪkər]「シール」、stick to ~「固執する」  
stick は「突き刺す」が原義で、そこから物が離れず付着する状態を表し「くっつく」という意味になりました。この状態が抽象化され、考えや方針にこだわる「固執する」という意味にも発展しました。stick to ~は重要表現です。／(n)では「棒」を意味します。類義語は attach [ətætʃ]、adhere [ædhɪər]。反意語は detach [dɪtætʃ]、separate [sɛpəreɪt]です。

(177) **alien**[éilien](adj)「異質の、外国の」／(n)「外国人、異星人」

[派] alienate [éilienèit]「疎外する」、alienation [éilienéifən]「疎外」、alienable[éilienəbəl]「譲渡可能な」

alien は alius「他の」に由来し、「自分たちとは異なるものに属する」が原義です。形容詞では、文化・考え・習慣などが自分たちと異なる「異質の」、また法的には「外国の」という意味になります。／(n)では「外国人」、さらに SF などでは「異星人」を表します。単なる foreign[fó:rən]よりも、心理的な距離や違和感を含むことがあります。派生語 alienate[éilienèit]は「人を疎外する」という意味で、社会・心理の文脈で重要です。類義語は foreign [fó:rən]「外国の」、strange [stréindʒ]「奇妙な」、outsider[áutsáidər]「部外者」。反意語は native[néitiv]「自国の」、familiar[fəmiljər]「なじみのある」です。

(178) **idle**[áidl](adj)「怠けた、使われていない、無駄な」

[派] idleness[áidlnəs]「怠惰」、idly[áidli]「何もせずに」、idle[áidl]「怠けて過ごす」

idle は「活動していない状態」を表す語です。人に対して用いると、働かずにいることから「怠けた」という意味になります。一方、機械・土地・資源などに対しては、本来使われるべきものが使われていない状態を表し、「遊休の」「使われていない」となります。また、言葉や時間などに対して用いると、目的や価値を伴わないことから「無駄な」という意味にも広がります。つまり idle は「本来の働き・目的を果たしていない」という共通イメージを持つ語です。類義語は lazy [léizi]「怠けた」、inactive[inéktiv]「活動していない」、unused[ʌnjú:zd]「使われていない」。反意語は active[éektiv]「活動的な」、busy[bízi]「忙しい」、productive[prədáktiv]「生産的な」です。

(179) **court**[kó:rt](n)「裁判所、法廷、宮廷、競技場」

[派] courtroom [kó:rtrú:m]「法廷」、courtesy [kó:rtəsi]「礼儀」、courteous[kó:rtiəs]「礼儀正しい」

court は「囲まれた場所」に由来し、もとは王や貴族が集まる「宮廷」を意味しました。そこから、公的な判断を行う場として「裁判所」「法廷」という意味が発展しました。また、一定の範囲が区切られた空間という点から、テニスやバスケットボールなどの「競技場」という意味も持ちます。これらに共通するのは、

規則や権威が作用する限定された空間というイメージです。派生語 courteous[kó:rtiəs]は、宮廷で求められた礼儀作法に由来し、「礼儀正しい」という意味を持ちます。類義語は tribunal[traibjú:nl]「法廷」、law court[ló: kó:rt]「裁判所」、palace[pæləs]「宮殿」。反意語は lawlessness [ló:ləsnəs]「無法状態」、disorder[disó:rdər]「無秩序」です。

(180) **significant**[signifikənt](adj)「重要な、意味のある、かなりの」

[派] significance [signifikəns]「重要性」、signify [sɪgnəfài]「意味する」、significantly[signifikəntli]「著しく」

significant は sign[sáin]「印」+ fic「作る」に関係し、「意味を示すもの」が原義です。そこから、単なる存在ではなく、意味・価値・影響を持つものを表し、「重要な」「意味のある」という意味になります。また、数量や変化の大きさについて「かなりの」「著しい」という意味でも用いられます。important [impó:rtənt] が一般的な重要性を表すのに対し、significant は「何らかの意味を持つ」「無視できない影響がある」という点を強く含みます。学術的・統計的な文脈でもよく使われる語です。類義語は important[impó:rtənt]「重要な」、meaningful [ mí:nɪŋfəl ]「意味のある」、considerable [kənsɪdərəbəl]「かなりの」。反意語は insignificant [ɪnsɪgnifikənt]「重要でない」、trivial [trívɪəl]「ささいな」、meaningless[mí:nɪŋləs]「意味のない」です。

(181) **vital**[váitl](adj)「きわめて重要な、生命の」

[派] vitality[vaitələti]「活力」、vitalize[vaitələiz]「活気づける」、vitalism[vaitəlizəm]「生命力説」

vital は vita「生命」に由来し、「生命に関わる」が原義です。そこから、生命を維持するために不可欠なものを表すようになり、さらに一般化して「きわめて重要な」「不可欠な」という意味になりました。important[impó:rtənt]よりも強く、欠けると重大な影響が生じるものに用いられます。医学・環境・政治・教育など、生命や存続に関わる文脈で特に重要です。語源的には「生命」と「不可欠性」が繋がっている点を押さえると理解しやすい語です。類義語は essential[ísɛn.ʃəl]「不可欠な」、crucial [krú:ʃəl]「決定的に重要な」、indispensable [ɪndɪspɛnsəbəl]「欠くことのできない」。反意語は trivial

## DB5500

[trívíæl]「ささいな」、minor[máinər]「重要でない」、unnecessary[ʌnnésəsəri]「不要な」です。

(182) **grave**[gréiv](adj)「重大な、深刻な」／(n)「墓」

[派]gravity[grævəti]「重大さ・重力」、gravely[gréivli]「重大に」、graveyard[gréivjɑ:rd]「墓地」

grave は「重い」という感覚を持つ語で、形容詞では問題・危険・病状などが「重大な」「深刻な」という意味になります。serious[síəriəs]よりも硬く、生命・責任・社会的影響に関わるような重い状況で使われます。一方、／(n)では死者を埋葬する場所として「墓」を意味します。形容詞と名詞は離れて見えますが、「重々しさ」「死に関わる厳粛さ」という感覚でつながります。派生語 gravity[grævəti]も「重さ」から「重力」「重大さ」へ意味が広がっています。類義語は serious[síəriəs]「深刻な」、severe[sivíər]「重大な」、critical[krítikəl]「危機的な」。反意語は minor[máinər]「軽微な」、light[láit]「軽い」、trivial[trívíæl]「ささいな」です。

(183) **fatal**[féitl](adj)「致命的な、破滅的な」

[派]fate[féit]「運命」、fatality[fətéleiti]「死亡者・死亡事故」、fatally[féitəli]「致命的に」

fatal は fate[féit]「運命」に関係し、「運命を決定づける」が原義です。そこから、特に悪い結果を決定的にもたらすものを表し、「致命的な」「破滅的な」という意味になりました。病気・事故・誤り・判断などに用いられ、取り返しのつかない結果を伴う点が特徴です。serious[síəriəs]よりも強く、生命や成功・失敗を決定するほど重大な影響を表します。語源的には、偶然の危険ではなく「結果を決定づけるもの」という発想が中心です。類義語は deadly[dédli]「命にかかわる」、lethal[lí:θəl]「致命的な」、disastrous[dizæstrəs]「破滅的な」。反意語は harmless[há:rləs]「無害な」、minor[máinər]「軽微な」、safe[séif]「安全な」です。

(184) **superficial**[sù:pərfíʃəl](adj)「表面的な、浅い」

[派]surface[só:rfis]「表面」、superficially[sù:pərfíʃəli]「表面的に」、superficiality[sù:pərfíʃiəleiti]「浅薄さ」

superficial は super-「上に」+ ficial「面」に関係し、「表面の上にある」が原義です。そこから、物理的に表面だけに関わる「表面的な」という意味になりました。さらに、考え・理解・説明・人間関係などが深くないことを表し、「浅い」「うわべだけの」という意味にも発展しました。重要なのは、この語が単に

「外側の」という中立的な意味だけでなく、「本質に届いていない」というやや否定的な含みを持つことです。学習上は surface[só:rfis]「表面」と結びつけると理解しやすくなります。類義語は shallow[ʃælou]「浅い」、external[eksté:rnəl]「外面的な」、surface-level[só:rfis lèvəl]「表面レベルの」。反意語は deep[dí:p]「深い」、profound[prəfáund]「深遠な」、thorough[θé:rou]「徹底的な」です。

(185) **punctual**[pʌŋktʃuəl](adj)「時間を守る、時間通りの」

[派]punctuality[pʌŋktʃuəleiti]「時間厳守」、punctually[pʌŋktʃuəli]「時間通りに」、punctuate[pʌŋktʃuèit]「句読点を打つ」

punctual は punct「点」に由来し、「決まった一点に関する」が原義です。この「点」が時間上の一点に移り、定められた時刻に正確に行動することから「時間を守る」「時間通りの」という意味になりました。単に early[é:rli]「早い」ではなく、決められた時刻からずれない正確さを表す点が重要です。同じ語根は punctuation[pʌŋktʃuéisən]「句読法」にも見られ、文字上の点と時間上の点に対応しています。人の性格や行動の正確さを評価する語としてもよく使われます。類義語は prompt[prámp]「迅速な」、timely[táimli]「時宜を得た」、regular[régjələr]「規則正しい」。反意語は late[léit]「遅れた」、tardy[tá:rdi]「遅刻した」、delayed[diléid]「遅れた」です。

(186) **prompt**[prámp]t](adj)「即座の、迅速な」／(v)「促す、引き起こす」

[派]promptly[prámp]tli]「すぐに」、promptness[prámp]tnəs]「迅速さ」、prompter[prámp]tər]「促す人」

prompt は「前へ押し出す」という発想を持つ語です。形容詞では、行動や反応が遅れずに行われることから「即座の」「迅速な」という意味になります。／(v)では、人を行動へ押し出すことから「促す」、また出来事が別の出来事を「引き起こす」という意味になります。punctual[pʌŋktʃuəl]が「時刻を守る」正確さを表すのに対し、prompt[prámp]t]は「反応が早い」「すぐ動く」という速さを強調します。形容詞と動詞で意味がつながっているため、語源的に整理しやすい語です。類義語は quick[kwík]「速い」、immediate[imí:diət]「即座の」、urge[é:rdʒ]「促す」。反意語は slow[slóu]「遅い」、

delayed[diléid]「遅れた」、discourage[diskó:ridʒ]「思いとどまらせる」です。

(187) **precise**[prisáis](adj)「正確な、精密な」

[派] precision[prisíʒən]「正確さ・精密さ」、precisely[prisáisli]「正確に」、imprecise[imprisáis]「不正確な」  
precise は pre-「前もって」+ cise「切る」に関係し、「きちんと切り分けられた」が原義です。そこから、余分なものがなく、細部まで明確に定まっていることを表し、「正確な」「精密な」という意味になりました。accurate[ækjərət]が「誤りがない」ことを表すのに対し、precise[prisáis]は境界や数値、表現が細かく定まっていることを強調します。測定・定義・説明・指示など、あいまいさを避ける文脈で重要です。語根 cise は「切る」という感覚を持ち、明確に区切るイメージで理解できます。類義語は accurate[ækjərət]「正確な」、exact[igzækt]「厳密な」、specific[spəsífik]「具体的な」。反意語は vague[véig]「あいまいな」、imprecise[imprisáis]「不正確な」、rough[ráf]「大まかな」です。

(188) **species**[spí:fi:z](n)「種、種類」

[派] speciation[spí:fiéifən]「種分化」、subspecies[sʌbspí:fi:z]「亜種」、speciesism[spí:fi:zizəm]「種差別」  
species は speci「見る・種類」に関係し、「見た目によって区別される種類」が原義です。生物学では、共通の特徴を持ち、互いに繁殖できる生物のまとまりとして「種」を意味します。日常的な kind[káind]「種類」よりも分類上の単位としての意味が強く、科学的文脈で特に重要です。単数形も複数形も species[spí:fi:z]で同じ形になる点にも注意が必要です。動植物だけでなく、文脈によっては広く「種類」を表すこともあります。語源的には「見分けられる型」と考えると理解しやすい語です。類義語は kind[káind]「種類」、type[táip]「型」、variety[vəráiəti]「多様な種類」。反意語は individual[ɪndəvídʒuəl]「個体」、single organism[sɪŋgəl ó:rgənizəm]「一個体」です。

(189) **resource**[rí:só:rs](n)「資源、財源、手段」

[派] resourceful[rí:só:rsfəl]「機知に富む」、resourcefulness[rí:só:rsfəlnəs]「機転」、resourcing[rí:só:rsɪŋ]「資源配分」  
resource は re-「再び」+ source[só:rs]「源」に関係し、「必要なときに頼れる源」が原義です。そこから、石油・水・森林

などの自然の「資源」、事業や生活に必要な「財源」、問題解決に使える「手段」という意味になりました。単なる物ではなく、目的を達成するために利用できるものという点が重要です。人材・時間・知識なども resource[rí:só:rs]になり得ます。派生語 resourceful[rí:só:rsfəl]は、限られた手段をうまく使える「機知に富む」という意味です。類義語は asset[æset]「資産」、supply[səpláɪ]「供給」、means[mí:nz]「手段」。反意語は shortage[ʃó:rtidʒ]「不足」、lack[læk]「欠如」、scarcity[skéərsəti]「欠乏」です。

(190) **circumstance**[só:rkəmstæns](n)「状況、事情、境遇」

[派] circumstances[só:rkəmstænsɪz]「状況・事情」、circumstantial[sò:rkəmstænfəl]「状況による」、circumstantially[sò:rkəmstænfəli]「状況的に」  
circumstance は circum-「周りに」+ stance[stæns]「立つこと」から成り、「周囲に立っているもの」が原義です。そこから、人や出来事を取り巻く条件として「状況」「事情」を表すようになりました。situation[sitʃuéifən]よりも、判断や行動に影響を与える外的条件を意識する語です。個人の事情、社会的条件、偶然の環境など、ある行為や結果を理解するための背景を表します。複数形 circumstances[só:rkəmstænsɪz]で用いられることも多く、「取り巻く諸条件」という感覚が強く出ます。類義語は situation[sitʃuéifən]「状況」、condition[kəndíʃən]「条件」、context[kántekest]「文脈」。反意語は certainty[só:rtənti]「確実性」、fixed condition[fíkst kəndíʃən]「固定条件」です。

(191) **hypothesis**[haipáθəsis](n)「仮説」

[派] hypothesize[haipáθəsàiz]「仮説を立てる」、hypothetical[hàipəθétikəl]「仮説上の」、hypothetically[hàipəθétikəli]「仮説として」  
hypothesis は hypo-「下に」+ thesis[θí:sis]「置かれたもの・命題」から成り、「議論の下に置かれる前提」が原義です。そこから、観察や実験の前段階で立てる「仮説」を意味します。科学では、まだ証明された理論ではなく、検証されるべき説明案です。assumption[əsʌmpʃən]「仮定」よりも、検証可能な説明としての性格が強い点が特徴です。語尾 -sis[sis]は analysis[ənəléisis]などにも見られる／(n)語尾で、複数形は hypotheses[haipáθəsi:z]になります。類

## DB5500

義語は assumption[əsʌmpʃən]「仮定」、theory[θiəri]「理論」、supposition[sʌpəzɪʃən]「推測」。反意語は fact[fækt]「事実」、proof[pru:f]「証拠」、certainty[sə:rtnti]「確実性」です。

(192) **analysis**[ənəˈleɪsɪs](n)「分析、解析」

[派] analyze [əˈneɪlaɪz]「分析する」、analytical [ənəˈlɪtɪkəl]「分析的な」、analyst[əˈnəlist]「分析者」  
analysis は ana-「分けて」+ lysis[láisis]「ほどくこと」から成り、「分けてほどくこと」が原義です。そこから、複雑なものを要素に分けて理解する「分析」「解析」を意味します。文章・データ・社会問題・化学物質など、対象を細かく分けて構造や原因を明らかにする場合に使われます。単なる observation[əbzərvéɪʃən]「観察」ではなく、対象を分解し、関係や仕組みを明らかにする知的作業です。複数形は analyses[ənəˈleɪsɪ:z]で、形と発音の違いにも注意が必要です。類義語は examination[ɪgzæməneɪʃən]「検討」、study[stʌdi]「研究」、breakdown[bréɪkdàun]「分解」。反意語は synthesis[sínθəsis]「統合」、summary[sʌməri]「要約」です。

(193) **phenomenon**[fɪnəˈmɛnən](n)「現象、注目すべきもの」

[派] phenomena [fɪnəˈmɛnə]「現象(複数形)」、phenomenal [fɪnəˈmɛnəl]「驚くべき」、phenomenology[fɪnəˈmɛnələdʒi]「現象学」  
phenomenon は「現れるもの」「目に見えるもの」に由来し、観察できる出来事や事実を表して「現象」という意味になります。自然科学では、自然界で観察される出来事を指し、社会科学では人間社会に見られる特徴的な出来事を表します。また、非常に注目される人物や出来事を指して「驚くべきもの」という意味になることもあります。重要なのは、単なる event[ɪvɛnt]「出来事」ではなく、観察・説明の対象となる出来事を表す点です。単数形が phenomenon[fɪnəˈmɛnən]、複数形が phenomena[fɪnəˈmɛnə]である点にも注意します。類義語は event[ɪvɛnt]「出来事」、occurrence[əkə:rens]「発生」、fact[fækt]「事実」。反意語は theory[θiəri]「理論」、assumption[əsʌmpʃən]「仮定」です。

(194) **degree**[dɪgrɪ:](n)「程度、度、学位」

[派] gradual [grædʒuəl]「段階的な」、graduate

[grædʒuət]「卒業生」、degrade[dɪgrɛɪd]「低下させる」  
degree は de-「下へ」+ gree「段階」に関係し、「一段ずつ進む段階」が原義です。そこから、温度や角度の「度」、物事の強さや量の「程度」、教育上の到達段階としての「学位」を意味するようになりました。中心にあるのは、物事を段階的に測るという発想です。extent[ɪkstɛnt]が広がりや範囲を意識するのに対し、degree[dɪgrɪ:]はレベルや強さの段階を意識します。学術・日常の両方で頻出する基本語です。類義語は level[lévəl]「水準」、extent[ɪkstɛnt]「程度」、rank[ræŋk]「等級」。反意語は zero[zɪərou]「ゼロ」、absence[æbsəns]「欠如」です。

(195) **extent**[ɪkstɛnt](n)「程度、範囲、広がり」

[派] extend [ɪkstɛnd]「伸ばす・広げる」、extension [ɪkstɛnʃən]「延長・拡張」、extensive[ɪkstɛnsɪv]「広範囲の」

extent は ex-「外へ」+ tent「伸ばす」に関係し、「外へ伸びた広がり」が原義です。そこから、空間的な「範囲」、物事の大きさや影響の「程度」を表すようになりました。degree[dɪgrɪ:]が段階やレベルを意識するのに対し、extent[ɪkstɛnt]はどこまで及ぶかという広がりを意識します。被害・影響・理解・責任など、抽象的な広がりにも使われます。語源上は extend[ɪkstɛnd]「伸ばす」と同じで、外へ広がる感覚を持つ語です。類義語は range[réɪndʒ]「範囲」、scope[skóup]「範囲」、degree[dɪgrɪ:]「程度」。反意語は limit[límɪt]「限界」、restriction[rɪstrɪkʃən]「制限」です。

(196) **abundant**[əbʌndənt](adj)「豊富な、たくさんある」

[派] abundance [əbʌndəns]「豊富」、abundantly [əbʌndəntli]「豊富に」、overabundant [əʊvərabʌndənt]「過剰に多い」

abundant は ab-「あふれ出て」+ und「波」に関係し、「波のようにあふれる」が原義です。そこから、資源・食料・証拠・機会などが十分以上にあることを表し、「豊富な」という意味になります。many[méni]よりも硬く、単に数が多いだけでなく、必要量を十分に満たしている印象があります。自然資源や証拠、才能、機会など、価値あるものが多く存在する文脈でよく使われます。語源的には「満ちあふれる」という感覚を持つ語です。類義語は plentiful[plɛntɪfəl]「豊富な」、ample[æmpəl]「十分な」、rich[rɪtʃ]「豊かな」。反意語は

scarce [skéərs]「乏しい」、rare [réər]「まれな」、insufficient[insəfɪfənt]「不十分な」です。

(197) **entire**[intáier](adj)「全体の、完全な」

[派]entirely[intáierli]「完全に」、entirety[intáierəti]「全体」、integral[intəgrəl]「不可欠な・完全な」

entire は「手つかずの」「欠けていない」に由来し、「完全にそろう」が原義です。そこから、一部ではなく全部を含む「全体の」、欠けるところのない「完全な」という意味になりました。whole[hóul]に近い語ですが、entire[intáier]は「一部も残さず全部」という強調がやや強く、文章語でもよく用いられます。物・過程・期間・集団など、まとまり全体を指すときに便利な語です。語源的には「完全性」と「不可分性」の感覚を持っています。類義語は whole[hóul]「全体の」、complete[kəmplí:t]「完全な」、total[tóutl]「全体の」。反意語は partial[pá:rʃəl]「部分的な」、incomplete[inkəmplí:t]「不完全な」です。

(198) **enormous**[inó:rməs](adj)「巨大な、莫大な」

[派]enormously[inó:rməsli]「非常に」、enormity[inó:rməti]「巨大さ・極悪」、norm[nó:rm]「標準」

enormous は e-「外へ」+ norm[nó:rm]「基準」から成り、「基準から外れるほど大きい」が原義です。そこから、サイズ・量・影響・費用などが非常に大きいことを表し、「巨大な」「莫大な」という意味になります。big[bíg]よりも強く、通常の範囲を大きく超えている印象があります。物理的な大きさだけでなく、努力・問題・損失・影響など抽象的な大きさにも使えます。語源上、norm[nó:rm]「標準」を超えるという感覚が重要です。類義語は huge[hjú:dʒ]「巨大な」、immense[iméns]「莫大な」、vast[væst]「広大な」。反意語は tiny[táini]「とても小さい」、small[smó:l]「小さい」、minor[máinər]「小規模な」です。

(199) **supreme**[su:prí:m](adj)「最高の、最上位の」

[派]supremely[su:prí:mli]「最高に」、supremacy[su:préməsi]「優位・支配」、supreme court[su:prí:m kó:rt]「最高裁判所」

supreme は super[sú:pər]「上に」と関係し、「最も上にある」が原義です。そこから、地位・権力・質・重要性などが他を超えて最上位にあることを表し、「最高の」「至高の」という意味になります。high[hái]「高い」よりも強く、比較対象の中で最上位に立つことを示します。政治・法律・価値判断・能力評価な

ど、権威や優位性を表す文脈でよく使われます。派生語 supremacy[su:préməsi]は「優位・支配」を意味し、最上位性が／(n)化された語です。類義語は highest[háist]「最も高い」、ultimate[áltəmət]「究極の」、greatest[gréitist]「最大の」。反意語は inferior[infíəríər]「劣った」、minor[máinər]「重要でない」、subordinate[səbó:rdənət]「下位の」です。

(200) **debt**[dét](n)「借金、負債、恩義」

[派]debtor[détər]「債務者」、indebted[indétid]「借りがある」、indebtedness[indétidnəs]「負債・恩義」

debt は「負っているもの」を表す語で、金銭的に返すべきものとして「借金」「負債」を意味します。また、金銭以外にも、助けや恩に対して返すべき気持ちとして「恩義」の意味があります。法律・経済だけでなく、人間関係の文脈でも使われる語です。語末の b は発音しないため、発音は[dét]となる点に注意します。派生語 indebted[indétid]は「借りがある」「恩を受けている」という意味で、金銭的負債と心理的負債の両方を表せます。類義語は loan[lóun]「貸付金」、obligation[əbləgéifən]「義務」、liability[làiəbíləti]「負債」。反意語は asset[æset]「資産」、credit[krédit]「信用・貸方」、surplus[só:rpləs]「余剰」です。

(201) **luxury**[lʌgʒəri](n)「ぜいたく、高級品」

[派]luxurious[lʌgʒúəriəs]「ぜいたくな」、luxuriously[lʌgʒúəriəsli]「ぜいたくに」、luxury goods[lʌgʒəri gúdz]「高級品」

luxury は「過剰さ」「ぜいたく」に関係する語で、生活に必須ではないが、快適さ・美しさ・満足感を与えるものを表します。／(n)では「ぜいたく」、また高価で上質な「高級品」を意味します。necessity[nəsésəti]「必需品」と対比されることが多く、必要以上の豊かさや余裕を表す語です。良い意味では「豊かな楽しみ」を表しますが、文脈によっては「過度のぜいたく」という批判的な響きも持ちます。派生語 luxurious[lʌgʒúəriəs]は、空間・生活・品物が豪華であることを表します。類義語は extravagance[ikstréivəgəns]「浪費・ぜいたく」、comfort[kámfərt]「快適さ」、indulgence[indáldʒəns]「ぜいたく」。反意語は necessity[nəsésəti]「必需品」、poverty[pávərti]「貧困」、simplicity[simplísəti]「質素」です。

(202) **bury**[béri](v)「埋める、埋葬する、隠す」

[派]burial[bérial]「埋葬」、buried[bérid]「埋められた」、burying[bériin]「埋めること」

bury は「土の中に入れる」が基本の意味です。そこから、死者を「埋葬する」、物を地中に「埋める」という意味になります。さらに、感情や事実を表に出さないことから「隠す」、また何かに深く集中するという比喩的意味にも広がります。物理的に見えなくする動作が、心理的・抽象的な「隠す」「没頭する」に発展した語です。綴りと発音のずれが大きく、発音は[béri]である点に注意します。bury[béri]は文学的にも日常的にもよく使われる基本動詞です。類義語は cover[kávər]「覆う」、hide[háid]「隠す」、inter[intér:r]「埋葬する」。反意語は dig up[díg áp]「掘り出す」、expose[ikspóuz]「さらす」、reveal[riví:l]「明らかにする」です。

(203) **subtle**[sátli](adj)「微妙な、巧妙な、かすかな」

[派]subtlety[sátlti]「微妙さ」、subtly[sátli]「微妙に」、subtle difference[sátli dífərəns]「微妙な違い」  
subtle は「細かく織られた」「精妙な」に由来し、すぐには気づきにくいほど細かい違いや性質を表します。そこから「微妙な」「かすかな」という意味になりました。また、考え方や手段が直接的ではなく、洗練されている場合に「巧妙な」という意味にもなります。明白ではないが、注意して見ると重要な差があるという感覚が中心です。語中の b は発音しないため、発音は[sátli]となります。否定的にも肯定的にも使われ、文脈によって「繊細な」「わかりにくい」「ずる賢い」などに近づきます。類義語は delicate[délikət]「繊細な」、slight[sláit]「わずかな」、nuanced[nú:a:nst]「微妙な差のある」。反意語は obvious[óbviəs]「明白な」、clear[klíər]「明確な」、crude[krú:d]「粗雑な」です。

(204) **worthy**[wá:rðei](adj)「価値がある、ふさわしい」

[派]worth[wá:rθ]「価値」、worthwhile[wá:rθ wáil]「価値のある」、worthiness[wá:rðinəs]「価値・ふさわしさ」  
worthy は worth[wá:rθ]「価値」に -y「性質をもつ」が付いた語で、「価値を持っている」が原義です。そこから、人・行為・考えなどが評価や尊敬に値することを表し、「価値がある」「ふさわしい」という意味になります。単に useful[jú:sfəl]「役に立つ」よりも、道徳的・社会的・精神的な価値を含むことがあります。deserve[dizó:rv]「値する」とも近く、受ける評価にふさわしい性質を示します。語源的には「重みのある価値」を持つ語として理解できます。類義語は valuable

[væljuebəl]「価値ある」、deserving[dizó:rviŋ]「値する」、noble[nóubəl]「高潔な」。反意語は worthless[wó:rθləs]「価値のない」、unworthy[ʌnwá:rðei]「ふさわしくない」、useless[jú:sləs]「役に立たない」です。

(205) **verbal**[vó:rbəl](adj)「言葉の、口頭の、／(v)の」

[派]verb[vó:rb]「動詞」、verbally[vó:rbəli]「口頭で」、verbalize[vó:rbəlaiz]「言語化する」  
verbal は verb[vó:rb]「語・／(v)」に由来し、「言葉に関する」が原義です。そこから、written[rítn]「書かれた」に対して「口頭の」、また一般に「言葉による」という意味で使われます。文法では「動詞の」という意味もあり、語法上は文脈による判断が必要です。oral[ó:rəl]が「口で述べる」ことに焦点を置くのに対し、verbal[vó:rbəl]は「言葉を用いる」ことに焦点があります。nonverbal[nànvó:rbəl]「非言語の」と対比される語でもあります。類義語は oral[ó:rəl]「口頭の」、spoken[spókən]「話された」、linguistic[liŋgwístik]「言語の」。反意語は written[rítn]「書かれた」、nonverbal[nànvó:rbəl]「非言語の」です。

(206) **linguistic**[liŋgwístik](adj)「言語の、言語学の」

[派]linguistics[liŋgwístiks]「言語学」、linguist[liŋgwíst]「言語学者・多言語話者」、linguistically[liŋgwístikəli]「言語的に」  
linguistic は lingua[liŋgwə]「舌・言語」に由来し、「言語に関する」が原義です。そこから、言語の構造・意味・音声・使用・習得などに関わることを表し、「言語の」「言語学の」という意味になります。verbal[vó:rbəl]が「言葉による」「口頭の」を表すのに対し、linguistic[liŋgwístik]は言語そのものを学問的・体系的に扱う語です。派生語 linguistics[liŋgwístiks]は「言語学」を意味し、文法・音声・意味・社会的使用などを研究対象にします。類義語は verbal[vó:rbəl]「言葉の」、language-related[læŋɡwidʒ riléitid]「言語関連の」、philological[filələdʒikəl]「文献学の」。反意語は nonlinguistic[nànlŋgwístik]「非言語の」、visual[víʒuəl]「視覚の」です。

(207) **tongue**[tʌŋ](n)「舌、言語」

[派]mother tongue[máðər tʌŋ]「母語」、tongue-tied[tʌŋ tàid]「口ごもった」、tongueless[tʌŋləs]「舌のない・無言の」  
tongue は身体器官としての「舌」を表す語です。舌は発音や

発話に深く関わるため、そこから「言語」「話し方」という意味にも発展しました。language[læŋgwɪdʒ]よりもやや古風・文学的で、人の話す言葉を身体感覚と結びつけて表す語です。母語を表す mother tongue[mʌðər tʌŋ]は重要表現です。また、発話能力や沈黙とも関係し、舌が動かないことから「口ごもる」「黙る」という表現にもつながります。具体的な器官から抽象的な言語へ広がった語です。類義語は language[læŋgwɪdʒ]「言語」、speech[spi:tʃ]「話すこと」、dialect[dáɪələkt]「方言」。反意語は silence[sáiləns]「沈黙」、muteness[mjú:tnəs]「無言」です。

- (208) **explanation**[ɛkspləneɪʃən](n)「説明、釈明、解説」  
 [派] explain [ikspléin]「説明する」、explanatory [iksplənetə:ri]「説明の」、self-explanatory [sɛlfɪksplənetə:ri]「自明の」  
 explanation は explain [ikspléin]「説明する」+ -ation「/(n)語尾」から成り、「広げて明らかにすること」が基本です。複雑な内容・理由・原因などを相手にわかるように示すことから、「説明」「解説」という意味になります。また、誤解や疑問に答える場合には「釈明」の意味にもなります。単なる information[ɪnfərméɪʃən]「情報」ではなく、相手の理解を助けるために筋道を立てる点が重要です。派生語 explanatory[iksplənetə:ri]は、何かを説明する性質を持つことを表します。類義語は clarification[klæərəfəkeɪʃən]「明確化」、account[əkaʊnt]「説明」、interpretation [ɪntə:rprətéɪʃən]「解釈」。反意語は confusion[kənʃjú:ʒən]「混乱」、mystery[místəri]「謎」です。

- (209) **command**[kəmænd](n)「命令、指揮、運用能力」  
 /(v)「命じる、指揮する、自由に使える」  
 [派] commander[kəmændər]「指揮官」、commanding [kəmændɪŋ]「威厳のある」、commandment [kəmændmənt]「戒律」  
 command は com-「共に・完全に」+ mand「命じる」から成り、「権限をもって命じる」が原義です。/(n)では、上位者からの「命令」、軍隊などの「指揮」、さらに言語や技能を「自由に使いこなす力」も表します。/(v)では「命じる」「指揮する」が中心です。order[ɔ:rdər]よりも、権威や統率力の響きが強い語です。mand は demand[dimænd]「要求する」や

mandate[mændèit]「命令」とも関係します。類義語は order[ɔ:rdər]「命令」、direct[dirékt]「指示する」、control[kəntróul]「支配」。反意語は obey[oubéi]「従う」、follow[fálou]「従う」、request[rikwést]「依頼」です。

- (210) **convey**[kənvéi](v)「運ぶ、伝える」  
 [派] conveyance [kənvéiəns]「運搬・輸送機関」、conveyor [kənvéiər]「運搬装置」、conveyable [kənvéiəbəl]「伝達可能な」  
 convey は con-「共に」+ vey「運ぶ」から成り、「一緒に運ぶ」が原義です。そこから、人や物のある場所へ「運ぶ」という意味になり、さらに情報・感情・意味などを相手へ「伝える」という抽象的な意味に広がりました。say[séi]「言う」よりも、内容や印象を相手に届かせるというニュアンスが強い語です。物理的な輸送と抽象的な伝達が、どちらも「何かを移す」という共通概念でつながっています。派生語 conveyance [kənvéiəns]は、運搬行為や乗り物を表します。類義語は transmit [trænzmit]「伝える」、communicate [kəmjú:nəkeɪt]「伝達する」、carry[kæri]「運ぶ」。反意語は withhold [wiðhóuld]「差し控える」、conceal [kənsi:l]「隠す」、suppress[səprɛs]「抑える」です。
- (211) **define**[difáin](v)「定義する、明確にする」  
 [派] definition[défəníʃən]「定義」、definite[défənet]「明確な」、definitive[difinətív]「決定的な」  
 define は de-「完全に」+ fine「境界を定める」に関係し、「範囲をはっきり区切る」が原義です。そこから、語や概念の意味を「定義する」、また物事の性質や範囲を「明確にする」という意味になりました。意味をぼんやり捉えるのではなく、境界を引いてはっきりさせる点が重要です。fine は「終わり・境界」の感覚を持ち、definite[défənet]「明確な」ともつながります。学術的文章や説明文では、概念の範囲を定める基本/(v)として頻出します。類義語は explain[ikspléin]「説明する」、specify[spésəfài]「明示する」、clarify[klæərəfài]「明確にする」。反意語は confuse[kənʃjú:z]「混乱させる」、obscure[əbskjúər]「不明瞭にする」、blur[blá:r]「ぼかす」です。
- (212) **mercy**[mé:rsi](n)「慈悲、情け、容赦」  
 [派] merciful [mé:rsifəl]「慈悲深い」、merciless [mé:rsiləs]「無慈悲な」、mercifully [mé:rsifəli]「幸いにも・情け深く」

## DB5500

mercy は、力を持つ者が弱い者や罪ある者に対して示す「情け」「慈悲」を表す語です。単なる kindness[káindnəs]「親切」よりも、罰することができる立場にありながら、あえて厳しく扱わないという含みがあります。宗教・法律・戦争・人間関係などでよく用いられ、相手の苦しみを和らげる姿勢を表します。派生語 merciful[mé:rsifəl]は「慈悲深い」、merciless[mé:rsiləs]は「容赦のない」を意味し、対比して覚えやすい語です。類義語は compassion[kəmpæʃən]「思いやり」、pity[píti]「哀れみ」、forgiveness[fərgívnəs]「許し」。反意語は cruelty[krú:əlti]「残酷さ」、mercilessness[mé:rsiləsnəs]「無慈悲」、severity[sivérəti]「厳しさ」です。

(213) **sin**[sín](n)「罪、罪悪」／(v)「罪を犯す」

[派] sinful[sínfəl]「罪深い」、sinner[sínər]「罪人」、sinless[sínləs]「罪のない」

sin は宗教的・道徳的な「罪」を表す語で、人間が神・道徳・良心に反する行為をすることを意味します。法律上の crime[kráim]「犯罪」とは異なり、sin[sín]は内面的・倫理的な悪に焦点があります。／(n)では「罪」「罪悪」、／(v)では「罪を犯す」という意味になります。宗教文脈で頻出しますが、比喩的に「してはならないこと」という軽い意味でも使われます。派生語 sinner[sínər]は「罪人」、sinful[sínfəl]は「罪深い」を意味し、道徳的評価を含む語です。類義語は wrongdoing[ró:ndù:iŋ]「悪行」、offense[əféns]「違反」、crime[kráim]「犯罪」。反意語は virtue[vé:rtʃu:]「美德」、goodness[gúdnəs]「善良さ」、innocence[ínəsəns]「無罪・無邪気」です。

(214) **faith**[féiθ](n)「信頼、信仰、信念」

[派] faithful[féiθfəl]「忠実な」、faithfully[féiθfəli]「忠実に」、faithless[féiθləs]「不誠実な」

faith は「信じること」を表す語で、人や考えに対する「信頼」、宗教的な「信仰」、また揺るがない「信念」を意味します。belief[bilí:f]「信念」と近いですが、faith[féiθ]は証拠だけでなく、心から信じて委ねる態度を含む点が特徴です。宗教・人間関係・道徳・人生観など幅広い文脈で用いられます。派生語 faithful[féiθfəl]は「信頼を裏切らない」「忠実な」という意味で、信じる関係が持続している状態を表します。類義語は trust[trást]「信頼」、belief[bilí:f]「信念」、confidence[kánfədəns]「確信」。反意語は doubt

[dáut]「疑い」、distrust[distrást]「不信」、skepticism[sképtəsizəm]「懐疑」です。

(215) **sacrifice**[sækrəfàis](n)「犠牲、いけにえ」／(v)「犠牲にする、ささげる」

[派] sacrificial[sækrəfíʃəl]「犠牲の」、self-sacrifice[sèlf sækrəfàis]「自己犠牲」、sacrificed[sækrəfàist]「犠牲にされた」

sacrifice は sacri「神聖な」+ fice「作る」に由来し、「神聖なものとしてささげる」が原義です。古くは神に供える「いけにえ」を指しましたが、現在では大切なものを別の目的のために手放す「犠牲」という意味で広く使われます。／(v)では、利益・時間・命などを「犠牲にする」「ささげる」となります。単なる loss[lós:s]「損失」と異なり、より高い目的のために自ら差し出すという意味を含む点が重要です。類義語は offering[ó:fəriŋ]「ささげ物」、loss[lós:s]「損失」、give up[gív ʌp]「手放す」。反意語は gain[géin]「利益」、benefit[bénəfit]「利益」、preserve[prizé:rv]「守る」です。

(216) **worship**[wó:rʃip](n)「崇拜、礼拝」／(v)「崇拜する、礼拝する」

[派] worshiper[wó:rʃipər]「崇拜者」、worshipful[wó:rʃipfəl]「崇拜する」、worship service[wó:rʃipsé:rvəs]「礼拝」

worship は worth[wó:rθ]「価値」+ ship「状態」に由来し、「価値あるものとして扱うこと」が原義です。そこから、神や神聖な存在に対して敬意を示す「崇拜」「礼拝」という意味になりました。／(v)では「崇拜する」「礼拝する」を表します。また比喩的に、金銭・名声・権力などを過度に重んじる場合にも使われます。単なる respect[rispékt]「尊敬」よりも、対象を非常に高い位置に置く強い敬意を含む語です。類義語は adore[ədó:r]「崇拜する」、revere[rivíər]「深く敬う」、devotion[divóu:fən]「献身」。反意語は disrespect[disripékt]「軽視」、scorn[skó:rn]「軽蔑」、blasphemy[blæsfəmi]「冒瀆」です。

(217) **sacred**[séikrid](adj)「神聖な、宗教的な、侵してはならない」

[派] sacrifice[sækrəfàis]「犠牲」、sacrament[sækrəmənt]「秘跡・聖礼典」、sacredness[séikridnəs]「神聖さ」

sacred は sacer「神聖な」に由来し、「神に属するもの」が原

義です。そこから、宗教的に尊重される「神聖な」という意味になりました。また、宗教に限らず、人が深く大切にしているもの、簡単に侵してはならないものにも使われます。単なる important [impó:rtənt]「重要な」よりも、敬意・畏れ・不可侵性を含む語です。sacrifice [sækrəfəis]とも語源的につながり、神聖なものとして扱う感覚が共通しています。類義語は holy [hóuli]「聖なる」、divine [diváin]「神の」、religious [rilídʒəs]「宗教的な」。反意語は secular [sékjələr]「世俗的な」、profane [prəféin]「冒瀆的な」、ordinary [ó:rdənəri]「普通の」です。

(218) **eternal** [itó:rnɪ] (adj)「永遠の、不変の」

[派] eternity [itó:rnəti]「永遠」、eternally [itó:rnəli]「永遠に」、eternalism [itó:rnəlizəm]「永遠主義」  
eternal は「終わりのない時間」に関係し、「永遠に続く」が原義です。そこから、時間的な終わりが無い「永遠の」、また変化しない「不変の」という意味になります。permanent [pó:rmənənt]「永続的な」よりもさらに強く、時間を超えた絶対性を含む語です。宗教・哲学・文学の文脈で特に重要で、命・真理・愛・価値など、時間を超えるものを表す際に用いられます。語源的には「時間に制限されない」という感覚が中心です。類義語は everlasting [èvrələstɪŋ]「永遠に続く」、timeless [táimləs]「時代を超えた」、permanent [pó:rmənənt]「永続的な」。反意語は temporary [témperəri]「一時的な」、brief [brí:f]「短い」、transient [trænfənt]「はかない」です。

(219) **dawn** [dó:n] (n)「夜明け、始まり」／(v)「夜が明ける、わかり始める」

[派] daybreak [déibrèik]「夜明け」、dawning [dó:nɪŋ]「夜明け・始まり」、pre-dawn [prí:dó:n]「夜明け前の」  
dawn は「夜が明けること」を表し、／(n)では「夜明け」を意味します。暗闇から光が現れる時間帯を指すため、比喩的に「始まり」「兆し」の意味にもなります。／(v)では、実際に「夜が明ける」という意味のほか、考えや事実が少しずつ心に明らかになることから、「わかり始める」という意味にも発展しました。暗い状態から明るさへ移るという基本イメージが、認識や時代の始まりにも広がっています。類義語は daybreak [déibrèik]「夜明け」、beginning [bigíniŋ]「始まり」、emergence [imó:rdʒəns]「出現」。反意語は dusk [dásk]「夕暮れ」、nightfall [náitfɔ:l]「日暮れ」、end

[énd]「終わり」です。

(220) **oxygen** [áksidʒən] (n)「酸素」

[派] oxide [áksaid]「酸化物」、oxidize [áksədàiz]「酸化する」、oxygenate [áksidʒənèit]「酸素を供給する」  
oxygen は oxy-「酸」+ gen「生む」から成り、「酸を生むもの」が原義です。かつて酸の生成に関わる元素と考えられたため、この名がつけました。現在では、生命維持に不可欠な気体元素として「酸素」を意味します。呼吸・燃焼・酸化などに深く関わるため、医学・化学・環境の文脈で重要です。語根 gen [dʒén]は generate [dʒénərèit]「生み出す」と関係し、「生む」という意味を持ちます。化学語彙では oxide [áksaid] や oxidize [áksədàiz]と結びつけると整理しやすい語です。類義語は air [éər]「空気」、gas [gæəs]「気体」、element [éləmənt]「元素」。反意語は carbon dioxide [ká:rbən daíáksaid]「二酸化炭素」、vacuum [vækjuəm]「真空」です。

(221) **substance** [sábstəns] (n)「物質、実体、内容」

[派] substantial [səbstənfəl]「かなりの・実質的な」、substantially [səbstənfəli]「かなり・実質的に」、substantive [sábstəntiv]「実質的な」  
substance は sub-「下に」+ stance [stəns]「立つこと」から成り、「下に立って支えるもの」が原義です。そこから、物理的に存在する「物質」、見かけではなく本質としての「実体」、さらに文章や議論の中身としての「内容」を意味します。外見や形式ではなく、その背後にある実質を指す点が重要です。chemical [kémikəl]「化学の」と結びつくと「化学物質」となり、科学分野でも頻出します。派生語 substantial [səbstənfəl]は「実質的な」「かなりの」を表します。類義語は matter [mætər]「物質」、material [mətíəriəl]「材料」、essence [ésəns]「本質」。反意語は appearance [əpiərəns]「外見」、surface [só:rfis]「表面」、emptiness [émptinəs]「空虚」です。

(222) **fertile** [fó:rtɪl] (adj)「肥沃な、多産の、創造力に富む」

[派] fertility [fərtíleti]「肥沃さ・生殖能力」、fertilize [fó:rtələiz]「肥料を与える・受精させる」、fertilizer [fó:rtələizər]「肥料」  
fertile は「実を結ぶ」「生産する」に関係し、「よく生み出す」が原義です。土地については作物をよく育てる「肥沃な」、生物については子を生み出す力がある「多産の」という意味になり

ます。また、考えや発想を多く生み出すことから「創造力に富む」という比喩的意味もあります。単に rich[rítʃ]「豊かな」よりも、生産力・繁殖力を含む点が特徴です。派生語 fertility [fɜːtɪləti] は土地の肥沃さと生殖能力の両方に使われます。類義語は productive [prədʌktɪv] 「生産的な」、fruitful [frú:tfəl] 「実り多い」、rich[rítʃ] 「肥えた」。反意語は barren[bæərən] 「不毛の」、infertile [infɔ:rtl] 「不妊の・不毛の」、sterile [stérəl] 「不毛の」です。

(223) **yield** [jí:ld] (v) 「産出する、譲る、屈する」 / (n) 「産出量、収益」

[派] yielding [jí:ldɪŋ] 「従順な・産出する」、yieldable [jí:ldəbəl] 「譲ることのできる」、high-yield [háɪ jí:ld] 「高収益の・多収の」

yield は「与える」「生み出す」が基本の語です。農地や投資が結果を生み出すことから、/ (v) では「産出する」、/ (n) では「産出量」「収益」を表します。一方で、相手に道や権利を与えることから「譲る」、圧力に負けて「屈する」という意味も生じました。生産と譲歩の両方に「相手へ渡す」という共通感覚があります。produce [prədʒú:s] よりも、結果として何かを生み出す、または手放すという意味の広がり大きい語です。類義語は produce [prədʒú:s] 「産出する」、generate [dʒénərèit] 「生み出す」、surrender [səréndər] 「屈する」。反意語は resist [rizíst] 「抵抗する」、withhold [wiðhóuld] 「与えずにおく」、consume [kənsú:m] 「消費する」です。

(224) **candidate** [kændədèit] (n) 「候補者、志願者」

[派] candidacy [kændədəsi] 「立候補」、candid [kændid] 「率直な」、candidate [kændədèit] 「候補者」  
candidate は candidus 「白い」に由来し、古代ローマで公職志願者が白い衣服を着たことに関係します。そこから、選挙・職・賞・入学などに選ばれる可能性のある「候補者」「志願者」を意味するようになりました。applicant [æplikənt] 「応募者」より、選考や競争の中で選ばれる可能性がある人という意味が強い語です。派生語 candid [kændid] は「白い」から「隠し立てのない」「率直な」へ意味が変化した語で、語源的に結びつけると覚えやすくなります。類義語は applicant [æplikənt] 「応募者」、nominee [nəməni:] 「指名候補」、contender [kənténdər] 「競争者」。反意語は voter [vóutər] 「投票者」、elector [iléktər] 「選挙人」、

incumbent [inkʌmbənt] 「現職者」です。

(225) **kingdom** [kíŋdəm] (n) 「王国、分野、界」

[派] king [kíŋ] 「王」、kingly [kíŋli] 「王らしい」、animal kingdom [ænnəməl kíŋdəm] 「動物界」

kingdom は king [kíŋ] 「王」+ -dom 「領域・状態」から成り、「王が支配する領域」が原義です。そこから、政治的な「王国」を意味するようになりました。また、比喩的に特定の分野や領域を表し、さらに生物分類では「界」を表します。つまり kingdom [kíŋdəm] は、単なる国だけでなく、一定の支配・分類・まとまりを持つ領域を表す語です。接尾辞 -dom は freedom [frí:dəm] 「自由」などにも見られ、状態や領域を作ります。類義語は realm [rélm] 「領域・王国」、state [stéit] 「国家」、domain [douméin] 「領域」。反意語は republic [ripʌblik] 「共和国」、anarchy [ænrɜ:ki] 「無政府状態」です。

(226) **revolution** [rèvəlú:fən] (n) 「革命、大変革、回転」

[派] revolve [riválv] 「回転する」、revolutionary [rèvəlú:fənəri] 「革命的な」、revolutionize [rèvəlú:fənàiz] 「大変革を起こす」

revolution は re- 「再び」+ volu 「回る」+ -tion / (n) 語尾から成り、「回転すること」が原義です。そこから、政治体制が大きく転換する「革命」、社会・技術・考え方などの「大変革」を意味するようになりました。もともとの「回転」という意味は、天体の公転などにも残っています。重要なのは、単なる change [tʃéindʒ] 「変化」ではなく、根本的な仕組みが大きく変わることを表す点です。派生語 revolutionary [rèvəlú:fənəri] は「革命的な」「革新的な」を意味します。類義語は uprising [ʌpraizɪŋ] 「反乱」、transformation [trænsfərméifən] 「変革」、reform [rifó:rm] 「改革」。反意語は stability [stəbíləti] 「安定」、conservatism [kənsə:rvətizəm] 「保守主義」、continuity [kàntənjú:əti] 「継続」です。

(227) **treaty** [trí:ti] (n) 「条約、協定」

[派] treat [trí:t] 「扱う・交渉する」、treatment [trí:tmənt] 「扱い・治療」、treaty-making [trí:ti mèikiŋ] 「条約締結」  
treaty は treat [trí:t] 「扱う・交渉する」に由来し、「交渉によって扱われた取り決め」が原義です。そこから、国家間で正式に結ばれる「条約」「協定」を意味します。agreement

[əgrí:mənt]「合意」よりも、国際関係や公的な取り決めとしての性格が強い語です。戦争・貿易・平和・領土・同盟など、国家間の重要事項を定める文脈で頻出します。語源的には、互いに話し合って条件を扱うという感覚が中心です。類義語は agreement [əgrí:mənt]「合意」、accord [əkó:rd]「協定」、pact [pækt]「協定」。反意語は conflict [kánflikt]「対立」、war [wó:r]「戦争」、disagreement [disəgrí:mənt]「不一致」です。

(228) **appoint** [əpóint] (v)「任命する、指定する」

[派] appointment [əpóintmənt]「任命・予約」、appointed [əpóintid]「任命された」、appointee [əpóintí:]「任命された人」  
appoint は ap-「～へ」+ point [póint]「点・指す」に関係し、「ある位置を指して定める」が原義です。そこから、人を役職に「任命する」、時間や場所を「指定する」という意味になりました。choose [tʃú:z]「選ぶ」よりも、権限を持つ人や組織が正式に決めるという響きがあります。／(n) appointment [əpóintmənt]は「任命」のほか、日時を指定することから「予約」の意味にもなります。語源的には、点を指して定めるという感覚を持つ語です。類義語は nominate [námənèit]「指名する」、designate [déziɡnèit]「指定する」、assign [əsáin]「割り当てる」。反意語は dismiss [dismís]「解任する」、remove [rimú:v]「取り除く」、reject [ridzék]「拒否する」です。

(229) **abolish** [əbóliʃ] (v)「廃止する、撤廃する」

[派] abolition [əbəlíʃən]「廃止」、abolitionist [əbəlíʃəníst]「廃止論者」、abolishable [əbóliʃəbəl]「廃止可能な」  
abolish は ab-「離れて」+ ol「成長する」に関係し、「存在をなくす」が原義です。そこから、制度・法律・慣習などを正式に「廃止する」「撤廃する」という意味になりました。単に stop [stáp]「止める」よりも、公的・制度的に取り除く響きがあります。奴隷制・死刑・不公平な制度など、社会的に問題とされるものをなくす文脈でよく用いられます。派生語 abolition [əbəlíʃən]は「廃止」、abolitionist [əbəlíʃəníst]は歴史的に「奴隷制廃止論者」として重要です。類義語は eliminate [ilímənèit]「排除する」、repeal [ripí:l]「廃止する」、end [énd]「終わらせる」。反意語は establish [istəbliʃ]「設立する」、maintain [meintéin]「維持する」、

preserve [prizé:rv]「保存する」です。

(230) **civil** [sívl] (adj)「市民の、民間の、礼儀正しい」

[派] civilian [sívljən]「民間人」、civilization [sívləzézíʃən]「文明」、civilize [sívləíz]「文明化する」  
civil は civis「市民」に由来し、「市民に関する」が原義です。そこから、国家・社会・市民生活に関する「市民の」、軍事に対する「民間の」という意味になりました。また、社会の一員としてふさわしい態度を示すことから「礼儀正しい」という意味も持ちます。civil law [sívl ló:]「民法」や civil rights [sívl ráits]「公民権」などで重要です。語源的には、個人ではなく共同体の中での市民性を表す語です。類義語は civic [sívik]「市民の」、polite [pəláit]「礼儀正しい」、nonmilitary [nànmílotèri]「非軍事的の」。反意語は military [mílotèri]「軍の」、rude [rú:d]「無礼な」、uncivil [ànsívl]「無礼な」です。

(231) **reluctant** [riláktənt] (adj)「気が進まない、いやいやながらの」

[派] reluctance [riláktəns]「気乗りしないこと」、reluctantly [riláktəntli]「しぶしぶ」、reluctantness [riláktəntnəs]「不承不承」  
reluctant は re-「後ろへ」+ luct「争う」に関係し、「後ろへ引きながら抵抗する」が原義です。そこから、何かをすることに對して心が進まず、「気が進まない」「いやいやながらの」という意味になりました。単に unwilling [ànwíliŋ]「進んでしない」に近いですが、reluctant [riláktənt]は内心のためらいや抵抗感をより丁寧に表します。義務や必要性は理解しているが、心理的には進まない場合によく使われます。派生語 reluctance [riláktəns]は「ためらい」を意味します。類義語は unwilling [ànwíliŋ]「気が進まない」、hesitant [hézetənt]「ためらう」、unenthusiastic [àninθù:ziéstik]「熱意のない」。反意語は willing [wíliŋ]「進んでする」、eager [í:gə]「熱望している」、enthusiastic [inθù:ziéstik]「熱心な」です。

(232) **earnest** [é:rníst] (adj)「まじめな、熱心な」／(n)「本気、まじめさ」

[派] earnestly [é:rnístli]「真剣に」、earnestness [é:rnístnəs]「真剣さ」、in earnest [in é:rníst]「本気で」  
earnest は「真剣な態度」を表す語で、形容詞では「まじめな」「熱心な」、／(n)では「本気」「まじめさ」を意味します。

serious[síəriəs]に近いですが、earnest[é:rnɪst]は誠実さや熱意を伴う点が特徴です。単に固い態度ではなく、心から真剣に取り組む姿勢を表します。人の態度・努力・願い・議論などに用いられ、肯定的な響きを持つことが多い語です。／(n)用法では、形式的ではなく本気であることを示します。類義語は serious[síəriəs]「真剣な」、sincere[sɪnsɪər]「誠実な」、eager[í:gər]「熱心な」。反意語は frivolous[frɪvələs]「軽薄な」、insincere[ɪnsɪnsɪər]「不誠実な」、indifferent[ɪndɪfərənt]「無関心な」です。

- (233) **stubborn**[stʌbərən](adj)「頑固な、扱いにくい」  
 [派] stubbornly [stʌbərənli]「頑固に」、stubbornness [stʌbərənəs]「頑固さ」、stubborn-hearted [stʌbərən hɑ:rtɪd]「心の頑固な」  
 stubborn は、自分の考えや態度を容易に変えない性質を表し、「頑固な」という意味になります。人に対して使う場合、意志が強いというより、他人の意見を聞かず柔軟性を欠くという否定的な響きが強いです。また、問題・汚れ・病気などについて「扱いにくい」「なかなか消えない」という意味にもなります。firm[fɜ:rm]「しっかりした」が肯定的に使われることがあるのに対し、stubborn[stʌbərən]は多くの場合、融通の利かさを含みます。類義語は obstinate[ábstənət]「頑固な」、inflexible [ɪnfléksəbəl]「柔軟でない」、persistent [pərsɪstənt]「しつこい」。反意語は flexible[fléksəbəl]「柔軟な」、obedient [oubí:diənt]「従順な」、open-minded[óupən máɪndɪd]「心の広い」です。

- (234) **keen**[ki:n](adj)「鋭い、熱心な、強い」  
 [派] keenly [ki:nli]「鋭く・熱心に」、keenness [ki:nnəs]「鋭さ・熱心さ」、keen-eyed [ki:n áɪd]「目の鋭い」  
 keen は「鋭い刃」を表す感覚から発展した語です。そこから、感覚や知性が「鋭い」、興味や意欲が「熱心な」、感情や痛みが「強い」という意味になりました。物理的な鋭さが、知覚・感情・意欲の鋭さへ広がった語です。eager[í:gər]「熱望している」に近い用法もありますが、keen[ki:n]は知覚や関心の鋭さを伴う点が特徴です。人の観察力・関心・競争心などを表すときにもよく使われます。類義語は sharp[ʃá:rp]「鋭い」、eager[í:gər]「熱心な」、intense[ɪnténs]「強烈な」。反意語は dull[dál]「鈍い」、indifferent[ɪndɪfərənt]「無関心な」、weak[wí:k]「弱い」です。

- (235) **notorious**[nəʊtəriəs](adj)「悪名高い」

[派] notorious [nəʊtəriəs]「悪名」、notoriously [nəʊtəriəsli]「悪名高く」、notable[nəʊtəbəl]「注目すべき」

notorious は not「知らせる」に関係し、「広く知られている」が原義です。ただし現代英語では、特に悪いことで知られている場合に用いられ、「悪名高い」という意味になります。famous[féiməs]が良い意味にも悪い意味にも使えるのに対し、notorious[nəʊtəriəs]は基本的に否定的です。犯罪者・危険地域・悪い習慣・問題ある制度などに使われます。語源的には「知られている」だけですが、用法上は「悪い評判で知られている」と覚える必要があります。派生語 notoriety [nəʊtəriəti]も「悪名」を意味します。類義語は infamous [ɪnfəməs]「悪名高い」、disreputable [dɪsrɛpjətəbəl]「評判の悪い」、ill-famed[ɪl féɪmd]「悪評のある」。反意語は famous [ féiməs ]「有名な」、respectable [rɪspɛktəbəl]「立派な」、honorable[ánərəbəl]「名誉ある」です。

- (236) **enthusiasm**[ɪnθú:ziæzəm](n)「熱意、熱中」  
 [派] enthusiastic [ɪnθú:ziæstɪk]「熱心な」、enthusiast [ɪnθú:ziæst]「熱中している人」、enthusiastically[ɪnθú:ziæstɪkəli]「熱心に」  
 enthusiasm は en-「中に」+ theos「神」に関係し、もとは「神が内に宿る状態」を表しました。そこから、心の内側から強く湧き上がる情熱や関心を表し、「熱意」「熱中」という意味になりました。interest[ɪntərəst]「興味」よりも強く、積極的に関わろうとする気持ちを含みます。学習・仕事・趣味・活動など、前向きな情熱を示す語です。派生語 enthusiastic [ɪnθú:ziæstɪk]は「熱心な」、enthusiast[ɪnθú:ziæst]は「熱中している人」を意味します。類義語は eagerness [í:gərnəs]「熱心さ」、passion [pæʃən]「情熱」、zeal [zí:l]「熱意」。反意語は indifference[ɪndɪfərəns]「無関心」、apathy[éppəθi]「無気力」、reluctance[rɪlʌktəns]「気乗りしないこと」です。

- (237) **advertise**[ædvɜ:táɪz](v)「広告する、宣伝する」  
 [派] advertisement [ædvɜ:táɪzmənt]「広告」、advertising[ædvɜ:táɪzɪŋ]「広告業・宣伝」、advertiser [ædvɜ:táɪzər]「広告主」  
 advertise は ad-「～へ」+ vert「向ける」に関係し、「人の注意をある方向へ向ける」が原義です。そこから、商品・サービ

ス・催しなどを人々に知らせて関心を引く「広告する」「宣伝する」という意味になりました。単に announce[ə'náuns]「知らせる」よりも、相手に買わせたり参加させたりする目的が強い語です。商業・メディア・募集案内などで頻出します。派生語 advertisement [ædvɜ:táizmənt] は「広告」、advertising[ædvɜ:táiziŋ]は広告活動全体を表します。類義語は promote[prə'móut]「宣伝する」、publicize [pábləsàiz]「公表する」、announce[ə'náuns]「知らせる」。反意語は conceal[kənsi:l]「隠す」、suppress[səprɛs]「抑える」、withhold[widhóuld]「差し控える」です。

(238) **purchase**[pɜ:rtʃəs](v)「購入する」／(n)「購入、購入品」

[派] purchaser [pɜ:rtʃəsər]「購入者」、purchasing [pɜ:rtʃəsiŋ]「購入」、repurchase[ri:pɜ:rtʃəs]「買い戻す」

purchase は「得る」「獲得する」に由来し、現在では金銭を払って物や権利を「購入する」という意味で用いられます。buy [bái]よりもやや硬く、契約・不動産・会社の取引・高額商品など、正式な購入を表す場合に適しています。／(n)では「購入」という行為と、「購入品」の両方を表します。語義の中心には、単なる受け取りではなく、対価を払って正式に手に入れるという発想があります。派生語 purchaser[pɜ:rtʃəsər]は「購入者」を意味します。類義語は buy[bái]「買う」、acquire [ækwáiar]「取得する」、obtain[əbtéin]「得る」。反意語は sell[sél]「売る」、dispose [dispóuz]「処分する」、give away[gív əwéi]「譲る」です。

(239) **budget**[bʌdʒit](n)「予算」／(v)「予算を立てる」

[派] budgetary [bʌdʒətəri]「予算の」、budgeting [bʌdʒitiŋ]「予算編成」、budgeted[bʌdʒitid]「予算化された」

budget はもともと「小さな袋」を表す語に由来し、その袋に入れて管理するお金という発想から「予算」の意味になりました。／(n)では、一定期間に使える金額や、その配分計画を表します。／(v)では、収入や支出を見積もって「予算を立てる」「予算に組み込む」という意味になります。単なる money [máni]「お金」ではなく、目的別に管理された金額という点が重要です。個人の家計から政府・企業の財政まで幅広く使われます。類義語は estimate [éstəmət]「見積もり」、allowance[ə'láuwəns]「手当」、funds[fʌndz]「資金」。反

意語は overspending[əuvəspéndiŋ]「使いすぎ」、deficit[défəsit]「赤字」、waste[wéist]「浪費」です。

(240) **enterprise**[éntɜ:pràiz](n)「企業、事業、進取の気性」

[派] enterprising[éntɜ:pràiziŋ]「進取の気性に富む」、entrepreneur [əntɜ:prənə:r]「起業家」、entrepreneurial[əntɜ:prənəriəl]「起業家精神の」enterprise は enter-「中へ」+ prise「つかむ」に関係し、「危険や困難を引き受けて取り組むこと」が原義です。そこから、会社や商業組織としての「企業」、新しく始める「事業」を意味するようになりました。また、困難に挑戦する積極性として「進取の気性」の意味もあります。company[kámpəni]が組織そのものを指すのに対し、enterprise[éntɜ:pràiz]は挑戦的な事業や活動のニュアンスを持ちます。派生語 enterprising[éntɜ:pràiziŋ]は「積極的で事業心がある」という意味です。類義語は business[bíznis]「事業」、company [kámpəni]「会社」、undertaking [ʌndərtéikiŋ]「事業」。反意語は inactivity[inæktivəti]「不活動」、stagnation[stægnéifən]「停滞」、idleness [áidlnəs]「怠惰」です。

(241) **depression**[diprɛʃən](n)「憂うつ、不況、低下」

[派] depress [diprés]「落胆させる・押し下げる」、depressed [diprésɛt]「落ち込んだ」、depressive [diprésiv]「憂うつな」

depression は de-「下へ」+ press[prés]「押す」+ -ion「名詞語尾」から成り、「下へ押し下げられた状態」が原義です。そこから、気分が沈んだ「憂うつ」、経済活動が落ち込む「不況」、地形や数値の「低下・くぼみ」を意味します。心理・経済・自然科学の各分野で用いられる多義語です。共通するのは、通常の水準から下へ押し下げられるというイメージです。派生語 depressed[diprésɛt]は人の気分にも経済状態にも使われます。類義語は sadness[sædnəs]「悲しみ」、recession[riséʃən]「景気後退」、decline[dikláin]「低下」。反意語は happiness[hæpinəs]「幸福」、prosperity[prəspérəti]「繁栄」、recovery[rikávrəi]「回復」です。

(242) **fund**[fʌnd](n)「基金、資金」／(v)「資金を提供する」  
[派] funding[fʌndiŋ]「資金提供」、funded[fʌndid]「資金を受けた」、fundraiser[fʌndréizər]「資金集めをする人」

## DB5500

fund は「底・土台」に関する語で、もとは支えとなる蓄えを表しました。そこから、特定の目的のために用意された「基金」「資金」を意味するようになりました。／(n)では、教育・研究・医療・事業などを支えるお金を表し、／(v)では、それらに「資金を提供する」という意味になります。money[máni]よりも、目的を持って蓄えられた資金という点が重要です。派生語 funding[fáindɪŋ]は、活動を実行するための財政的支援を表します。類義語は capital[kæpətɪl]「資本」、finance[fáinæns]「財源」、resource[rí:sɔ:rs]「資源」。反意語は debt[dét]「負債」、shortage[ʃó:rtɪdʒ]「不足」、deficit[défəsɪt]「赤字」です。

- (243) **stock**[sták](n)「在庫、株、蓄え」／(v)「在庫を置く、蓄える」  
 [派] stockholder [stákhòuldər]「株主」、stockpile [stákpàil]「備蓄」、stocking[stákiŋ]「在庫補充」  
 stock は「幹・蓄え」を表す語に由来し、もともと手元に保たれるものを意味しました。／(n)では、店や倉庫にある「在庫」、企業の所有権を表す「株」、また食料や資材の「蓄え」を表します。／(v)では、商品や物資を「在庫として置く」「蓄える」という意味になります。共通するのは、将来使うために手元に保持しておくという発想です。finance[fáinæns]の文脈では「株」、retail[rí:teɪl]の文脈では「在庫」となるため、文脈判断が重要です。類義語は supply[səpláɪ]「供給」、inventory[ínvəntò:ri]「在庫」、share[ʃéər]「株式」。反意語は shortage[ʃó:rtɪdʒ]「不足」、depletion[díplí:fən]「枯渇」、sell out[sél áut]「売り切る」です。

- (244) **assume**[əsú:m](v)「仮定する、引き受ける、装う」  
 [派] assumption [əsámpʃən]「仮定」、assuming [əsú:mɪŋ]「仮定すれば」、assumed[əsú:md]「仮定された・見せかけの」  
 assume は as-「～へ」+ sume「取る」から成り、「自分の方へ取る」が原義です。そこから、証拠が十分でなくても考えを「仮定する」、責任や役割を「引き受ける」、また外見や態度を「装う」という意味になりました。中心には、何かを自分の側に取り込むという発想があります。think[θɪŋk]よりも、根拠なしに前提として置く意味が強く、学術的文章では注意が必要です。派生語 assumption[əsámpʃən]は「仮定」を意味します。類義語は suppose[səpóuz]「仮定する」、presume[prízú:m]「推定する」、undertake[ándərtéik]「引き受

ける」。反意語は prove[prú:v]「証明する」、deny[dinái]「否定する」、reject[ridʒékt]「退ける」です。

- (245) **comprehend**[kàmprihénd](v)「理解する、把握する」  
 [派] comprehension [kàmprihéɲfən]「理解」、comprehensive [kàmprihénsiv]「包括的な」、comprehensible[kàmprihénsəbəl]「理解できる」  
 comprehend は com-「完全に」+prehend「つかむ」から成り、「完全につかむ」が原義です。そこから、意味・理由・状況などを頭でしっかり「理解する」「把握する」という意味になりました。understand[ándərstéend]よりもやや硬く、複雑な内容を知的に把握する場合に用いられます。語根prehendはgrasp[græsp]「つかむ」と意味的に近く、理解を「つかむ」と考えると覚えやすい語です。派生語comprehensive[kàmprihénsiv]は、全体を含む「包括的な」を意味します。類義語は understand[ándərstéend]「理解する」、grasp[græsp]「把握する」、apprehend[æprihénd]「理解する」。反意語は misunderstand[misándərstéend]「誤解する」、confuse[kənfjú:z]「混乱させる」、misinterpret[misinté:rprɪt]「誤解する」です。
- (246) **grasp**[græsp](v)「つかむ、理解する」／(n)「把握、理解、支配」  
 [派] grasping [græspiŋ]「貪欲な・つかむ」、graspable [græspəbəl]「理解できる」、grasped[græspɪt]「つかまれた」  
 grasp は手でしっかり「つかむ」ことを表す語です。この物理的な意味から、考えや意味を頭でしっかりとらえる「理解する」「把握する」という抽象的意味が生まれました。／(n)では、手でつかむこととしての「把握」、知的な「理解」、さらに力の及ぶ範囲としての「支配」を表します。understand[ándərstéend]よりも、難しい内容を自分の中にとり取り込む感覚が強い語です。身体動作から認知活動へ意味が広がった典型例です。類義語は seize[sí:z]「つかむ」、understand[ándərstéend]「理解する」、comprehend[kàmprihénd]「理解する」。反意語は release[rilí:s]「放す」、misunderstand[misándərstéend]「誤解する」、lose[lú:z]「失う」です。
- (247) **conscience**[kánʃəns](n)「良心」  
 [派] conscientious [kànʃiəɲʃəs]「良心的な」、

## DB5500

conscientiously [kànʃiɛ́nʃəsli]「誠実に」、conscious [kánʃəs]「意識している」

conscience は con-「共に」+ science[sáíəns]「知ること」に関係し、「自分と共に知っているもの」が原義です。そこから、善悪を内側から判断する心の働きとして「良心」を意味するようになりました。law[ló:]「法律」が外から行動を裁く基準であるのに対し、conscience[kánʃəns]は内面で自分を判断する道徳的感覚です。派生語 conscientious [kànʃiɛ́nʃəs]は、良心に従って誠実に行動する様子を表します。conscious[kánʃəs]「意識している」と混同しないことも大切です。類義語は morality[mərə́lɛ́ti]「道徳心」、sense of right[séns əv ráit]「正義感」、inner voice [ínər vóis]「内なる声」。反意語は immorality [i:mərə́lɛ́ti]「不道徳」、shamelessness[ʃéimləsnəs]「恥知らず」、corruption[kərə́pʃən]「墮落」です。

(248) **clue**[klú:](n)「手がかり、糸口」

[派] clueless[klú:ləs]「手がかりのない・無知な」、clued [klú:d]「情報を得た」、clueful[klú:fəl]「理解のある」  
clue はもともと「糸玉」を意味し、迷路から抜け出すための糸という発想に由来します。そこから、問題や謎を解くための「手がかり」「糸口」という意味になりました。探偵小説・研究・日常の問題解決などでよく使われます。answer[é́nsər]「答え」そのものではなく、答えにたどり着くための情報を表す点が重要です。派生語 clueless[klú:ləs]は「手がかりがない」から「何もわかっていない」という意味でも使われます。類義語は hint[hínt]「ヒント」、evidence[é́vədə́ns]「証拠」、indication[índəkéiʃən]「兆候」。反意語は confusion[kə́nfjú:zən]「混乱」、mystery[místəri]「謎」、ignorance[ígnərə́ns]「無知」です。

(249) **mental**[méntl](adj)「精神の、知的な、心の」

[派] mentality [menté́lɛ́ti]「考え方」、mentally [méntə́li]「精神的に」、mentalism[méntlizəm]「精神主義」

mental は mind[máind]「心」に関係し、「心や精神に関する」が原義です。そこから、感情・思考・記憶・判断など、身体ではなく心の働きに関することを表すようになりました。また、知的能力に関する「知的な」という意味でも使われます。physical[fízikəl]「身体の」と対比されることが多く、心と体を区別する文脈で重要です。派生語 mentality

[menté́lɛ́ti]は、個人や集団のものの考え方を表します。精神・心理・教育・医療など幅広い分野で使われる基本語です。類義語は psychological[sàikələ́dzikəl]「心理的な」、intellectual [íntələ́ktʃuəl]「知的な」、cognitive [kágnətív]「認知の」。反意語は physical[fízikəl]「身体の」、bodily[bádə́li]「肉体の」です。

(250) **consumer**[kə́nsú:mər](n)「消費者」

[派] consume [kə́nsú:m]「消費する」、consumption [kə́nsə́mpʃən]「消費」、consumerism [kə́nsú:mə́rɪzəm]「消費主義」

consumer は consume[kə́nsú:m]「消費する」+ -er「人」から成り、「消費する人」が原義です。そこから、商品やサービスを購入・使用する「消費者」を意味します。producer [prədjú:sər]「生産者」と対比され、経済・商業・広告・環境問題などで頻出します。単に buyer[báiər]「買い手」よりも、購入後に使用する側面まで含む語です。派生語 consumption[kə́nsə́mpʃən]は「消費」、consumerism [kə́nsú:mə́rɪzəm]は大量消費を重視する考え方を表します。類義語は buyer [báiər]「買い手」、customer [ká́stəmər]「顧客」、user[jú:zər]「使用者」。反意語は producer [prədjú:sər]「生産者」、supplier[səpláíər]「供給者」、manufacturer[mə́njufé́ktʃərə́r]「製造業者」です。

(251) **commerce**[kámə:rs](n)「商業、通商」

[派] commercial [kə́mɜ́:rʃəl]「商業の」、commercialize [kə́mɜ́:rʃələ́iz]「商業化する」、e-commerce [í:kámə:rs]「電子商取引」

commerce は com-「共に」+ merx「商品」に関係し、「商品を共に取引すること」が原義です。そこから、商品やサービスの売買全体を表す「商業」「通商」という意味になりました。business[bíznis]が個別の事業や仕事を広く表すのに対し、commerce[kámə:rs]は商品流通や取引活動そのものを指すやや硬い語です。国内外の貿易、オンライン販売、経済活動などでよく使われます。派生語 commercial [kə́mɜ́:rʃəl]は「商業の」「営利目的の」を意味します。類義語は trade[tréid]「貿易・取引」、business[bíznis]「事業」、exchange[íkstʃé́indʒ]「交換」。反意語は charity [tʃé́rə́ti]「慈善」、nonprofit [nənpráfit]「非営利」、self-sufficiency[sɛ́lf sə́fɪʃə́nsi]「自給自足」です。

(252) **commodity**[kəmádəti](n)「商品、日用品、産物」  
 [派] commodify [kəmádəfài]「商品化する」、  
 commodification [kəmádəfəkéifən]「商品化」、  
 commodities[kəmádətiz]「商品・一次産品」  
 commodity は commodus「便利な・適した」に由来し、「役に立つもの」が原義です。そこから、市場で売買される「商品」、特に石油・小麦・金属などの基本的な「産物」「一次産品」を表すようになりました。product[prádakt]が一般的な製品を指すのに対し、commodity[kəmádəti]は市場で取引される標準化された品物という響きがあります。経済・貿易・資源の文脈で重要です。派生語 commodify[kəmádəfài]は、本来商品でなかったものを市場取引の対象にすることを表します。類義語は goods[gúdz]「商品」、product[prádakt]「製品」、merchandise[mó:rtʃəndàiz]「商品」。反意語は service[só:rvəs]「サービス」、necessity[nəsésəti]「必需品」、noncommodity[nànkəmádəti]「非商品」です。

(253) **expense**[ikspéns](n)「費用、出費、犠牲」  
 [派] expensive [ikspénsiv]「高価な」、expenditure [ikspénditʃər]「支出」、expenses[ikspénsiz]「経費」  
 expense は ex-「外へ」+ pense「支払う・量る」に関係し、「外へ支払われるもの」が原義です。そこから、何かを得るために払う「費用」「出費」を意味するようになりました。また、金銭だけでなく、時間・労力・健康などを失う「犠牲」という意味にも広がります。cost[kó:st]に近い語ですが、expense[ikspéns]は支払いの負担や、目的達成のために差し出すものを意識します。複数形 expenses[ikspénsiz]は「経費」としてよく使われます。類義語は cost[kó:st]「費用」、expenditure[ikspénditʃər]「支出」、charge[tʃá:rdʒ]「料金」。反意語は income[ínkləm]「収入」、profit[práfit]「利益」、saving[séivin]「節約」です。

(254) **prosperity**[práspérəti](n)「繁栄、成功」  
 [派] prosper [práspər]「繁栄する」、prosperous [práspərəs]「繁栄している」、prosperously [práspərəsli]「順調に」  
 prosperity は prosper[práspər]「繁栄する」+ -ity「状態」から成り、「物事が順調に進んでいる状態」が原義です。そこから、経済的・社会的に豊かで成功している状態を表し、「繁栄」「成功」という意味になります。単なる wealth[wéiθ]「富」よりも、成長・安定・幸福を伴う広い豊かさを表すことがあ

ります。国家・企業・地域・個人の発展を述べる文脈でよく使われます。派生語 prosperous[práspərəs]は「繁栄している」「成功している」という形容詞です。類義語は wealth[wéiθ]「富」、success[səksés]「成功」、affluence[éfluəns]「豊かさ」。反意語は poverty[pávərti]「貧困」、depression[diprəʃən]「不況」、decline[dikláin]「衰退」です。

(255) **domestic**[dəméstik](adj)「家庭の、国内の」  
 [派] domesticate [dəméstikèit]「飼いならす」、domesticity[dòuméstisəti]「家庭生活」、domestically [dəméstikəli]「国内で」  
 domestic は domus「家」に由来し、「家に関する」が原義です。そこから、家庭生活に関わる「家庭の」、さらに国を一つの家のように見て「国内の」という意味になりました。foreign [fó:rən]「外国の」と対比される場合、domestic [dəméstik]は「国内の」を表します。また、domestic animal[dəméstik énémə]のように、人間の生活圏に入った「飼いならされた」という意味にもつながります。家庭・国家・飼育という複数の意味が、「内側に属する」という感覚で結びついています。類義語は household[háushòuld]「家庭の」、internal[intó:rn]「内部の」、national[néʃənəl]「国内の」。反意語は foreign [fó:rən]「外国の」、international[intərnéʃənəl]「国際的な」、wild[wáild]「野生の」です。

(256) **financial**[fainéənʃəl](adj)「財政の、金融の」  
 [派] finance [fáinæns]「財政・資金」、financially [fainéənʃəli]「財政的に」、financier[finénsiər]「金融業者」  
 financial は finance[fáinæns]「財政・資金」に -ial「～の」が付いた語で、「お金の管理に関する」が原義です。そこから、個人・企業・政府の資金、収入、支出、投資などに関わることを表し、「財政の」「金融の」という意味になります。economic [ékənomik]が経済全体を表すのに対し、financial[fainéənʃəl]は資金や金銭面に焦点があります。家計・企業会計・銀行・投資・政府予算などの文脈で重要です。派生語 financially[fainéənʃəli]は「財政的に」を意味します。類義語は monetary [mánətəri]「金銭の」、economic [ékənomik]「経済の」、fiscal[fiskəl]「財政の」。反意語は nonfinancial[nànfainéənʃəl]「非財政

の)、spiritual[spɪrɪtuəl]「精神的な」です。

(257) **embarrass**[ɪmbæərəs](v)「困惑させる、恥ずかしい思いをさせる」

[派]embarrassment[ɪmbæərəsmənt]「困惑・恥ずかしさ」、embarrassing[ɪmbæərəsɪŋ]「恥ずかしい」、embarrassed[ɪmbæərəst]「困惑した」

embarrass は「妨げる・動きを止める」に関係し、もとは人を自由に動けない状態にすることを表しました。そこから、心理的に身動きが取れない状態、つまり「困惑させる」「恥ずかしい思いをさせる」という意味になりました。単なる shame[ʃeɪm]「恥」よりも、その場でどう反応してよいかわからない気まずさを含みます。派生語 embarrassing[ɪmbæərəsɪŋ]は「人を恥ずかしくさせる」、embarrassed[ɪmbæərəst]は「本人が恥ずかしく感じている」状態を表します。類義語は shame[ʃeɪm]「恥ずかしい思いをさせる」、confuse[kən'fju:z]「困惑させる」、humiliate[hju:mɪli'eɪt]「屈辱を与える」。反意語は reassure[rɪ:ə'ʃuə]「安心させる」、comfort[kəm'fɜ:t]「慰める」、encourage[ɪn'kɔ:riʒ]「励ます」です。

(258) **fascinate**[fæ'seɪnət](v)「魅了する、強く引きつける」

[派]fascination[fæ'seɪnə'ʃən]「魅了」、fascinating[fæ'seɪnətɪŋ]「魅力的な」、fascinated[fæ'seɪnətɪd]「魅了された」

fascinate は「魔法をかける」「目で縛る」に関係する語で、もとは人を強く引きつけて動けなくする感覚を持っていました。そこから、心を強く引きつけることを表し、「魅了する」という意味になりました。interest[ɪn'terəst]「興味を持たせる」よりも強く、注意や感情を深く奪うニュアンスがあります。派生語 fascinating[fæ'seɪnətɪŋ]は「非常に興味深い」「魅力的な」、fascinated[fæ'seɪnətɪd]は「魅了された」状態を表します。類義語は attract[ə'trækt]「引きつける」、charm[tʃɑ:rm]「魅了する」、captivate[kæptə'veɪt]「心を奪う」。反意語は bore[bɔ:r]「退屈させる」、repel[rɪ'pɛl]「遠ざける」、disgust[dɪsgʌst]「嫌悪させる」です。

(259) **resolve**[rɪzəlv](v)「解決する、決心する」

[派]resolution[rɪzəlu:ʃən]「解決・決意」、resolute[rɪzəlu:t]「断固とした」、resolved[rɪzəlvd]「決意した」  
resolve は re-「再び」+ solve[səlv]「解く」に関係し、「も

つれたものを解きほぐす」が原義です。そこから、問題や対立を「解決する」という意味になりました。また、心の中の迷いを解くことから「決心する」という意味も生まれました。solve[səlv]が問題の答えを出すことに焦点を置くのに対し、resolve[rɪzəlv]は対立・困難・迷いを終わらせる感覚が強い語です。派生語 resolution[rɪzəlu:ʃən]は「解決」と「決意」の両方を表します。類義語は settle[sétl]「解決する」、solve[səlv]「解く」、determine[dɪ'tɜ:mɪn]「決意する」。反意語は confuse[kən'fju:z]「混乱させる」、complicate[kəm'pləkeɪt]「複雑にする」、hesitate[hɛzətət]「ためらう」です。

(260) **hostile**[hə'staɪl](adj)「敵意のある、敵対的な」

[派]hostility[hə'staɪləti]「敵意」、hostilely[hə'staɪlɪ]「敵意をもって」、host[həʊst]「主人・主催者」

hostile は hostis「敵」に由来し、「敵に関する」が原義です。そこから、人・態度・発言・環境などが相手に対して攻撃的であることを表し、「敵意のある」「敵対的な」という意味になります。単に unfriendly[ʌn'frɛndli]「友好的でない」よりも強く、攻撃・拒絶・反対の姿勢を含みます。政治・国際関係・職場環境・感情表現などでよく使われます。派生語 hostility[hə'staɪləti]は「敵意」や「敵対行為」を表します。類義語は unfriendly[ʌn'frɛndli]「友好的でない」、aggressive[ə'grɛsɪv]「攻撃的な」、antagonistic[æntə'gɔnɪstɪk]「敵対的な」。反意語は friendly[frɛndli]「友好的な」、peaceful[pi:sfəl]「平和な」、sympathetic[sɪmpəθətɪk]「好意的な」です。

(261) **temper**[tɛmpər](n)「気質、機嫌、怒り」

[派]temperament[tɛmpərəmənt]「気質」、temperate[tɛmpərət]「節度ある」、bad-tempered[bæd tɛmpərd]「機嫌の悪い」

temper は「混ぜ合わせる・調整する」に由来し、もとは性質のバランスを表しました。そこから、人の基本的な「気質」、その時々「機嫌」、特に感情が乱れた状態としての「怒り」を意味するようになりました。character[kæ'ræktər]が比較的安定した人格を表すのに対し、temper[tɛmpər]は感情の出方や機嫌の変化に焦点があります。派生語 temperament[tɛmpərəmənt]は生まれつきの気質を表します。類義語は mood[mu:d]「気分」、disposition[dɪspəzɪʃən]「性質」、anger[æŋgər]「怒り」。反意語は calmness[ká:mnəs]

## DB5500

「落ち着き」、patience [péiʃəns]「忍耐」、composure [kəmpóuzər]「平静」です。

(262) **impulse** [impʌls] (n)「衝動、刺激、推進力」

[派] impulsive [impʌlsiv]「衝動的な」、impulsively [impʌlsivli]「衝動的に」、impulsiveness [impʌlsivnəs]「衝動性」

impulse は im-「中へ」+ pulse「押す」に関係し、「内側から押す力」が原義です。そこから、深く考える前に人を行動へ向かわせる「衝動」、また物理的・心理的な「刺激」「推進力」を意味するようになりました。desire [dizáiar]「欲求」よりも瞬間的で、reason [rí:zən]「理性」による判断を待たずに動く感じがあります。派生語 impulsive [impʌlsiv]は「衝動的な」を意味し、感情に動かされやすい性質を表します。類義語は urge [é:rdʒ]「衝動」、drive [dráiv]「欲動」、stimulus [stímjʌləs]「刺激」。反意語は restraint [ristréint]「抑制」、self-control [sèlf kəntróul]「自制」、deliberation [diliberéiʃən]「熟考」です。

(263) **region** [rí:dʒən] (n)「地域、地方、領域」

[派] regional [rí:dʒənəl]「地域の」、regionally [rí:dʒənəli]「地域的に」、subregion [sábri:dʒən]「小地域」

region は「方向を定める・支配する」に関係し、一定のまとまりを持つ空間を表す語です。そこから、地理的な「地域」「地方」、また身体・学問・活動などの「領域」を意味するようになりました。area [éəriə]よりも、気候・文化・行政・自然条件などによって区別されるまとまりを意識することが多い語です。派生語 regional [rí:dʒənəl]は「地域の」を表し、地域経済・地域文化などの文脈で頻出します。類義語は area [éəriə]「地域」、district [dístrikt]「地区」、zone [zoun]「区域」。反意語は whole [houl]「全体」、center [séntər]「中心」、nationwide area [néiʃənwaíd éəriə]「全国的範囲」です。

(264) **territory** [térətò:ri] (n)「領土、地域、分野」

[派] territorial [térətò:riəl]「領土の」、territoriality [térətò:riələti]「縄張り性」、territorialize [térətò:riələiz]「領土化する」

territory は terra [térə]「土地」に由来し、「土地に関する範囲」が原義です。そこから、国家や集団が支配する「領土」、動物や人が自分のものとして守る「縄張り」、さらに活動や研究

の「分野」を意味するようになりました。region [rí:dʒən]が地理的まとまりを表すのに対し、territory [térətò:ri]は所有・支配・管轄の感覚が強い語です。派生語 territorial [térətò:riəl]は「領土の」「縄張り意識の強い」を表します。類義語は land [lænd]「土地」、domain [douméin]「領域」、area [éəriə]「地域」。反意語は foreign land [fó:rən lænd]「外国の土地」、neutral zone [njú:trəl zoun]「中立地帯」です。

(265) **range** [réindʒ] (n)「範囲、領域、山脈」／(v)「及ぶ、並ぶ」

[派] arrange [ərəindʒ]「配置する」、ranging [réindʒiŋ]「及ぶ」、rangefinder [réindʒfàindər]「距離計」

range は「列に並べる」「広がる」に関係し、／(n)では物事が及ぶ「範囲」、活動や能力の「領域」、さらに連なった山の列として「山脈」を意味します。／(v)では、ある範囲に「及ぶ」、また物が「並ぶ」という意味になります。extent [ikstént]が広がり大きさを表すのに対し、range [réindʒ]は最小から最大までの幅や、含まれる多様性を意識します。派生語 arrange [ərəindʒ]は、物を順序立てて並べることを表します。類義語は scope [skoup]「範囲」、extent [ikstént]「程度・範囲」、variety [vəriəti]「多様性」。反意語は limit [límit]「限界」、restriction [ristríkʃən]「制限」、narrowness [nərounəs]「狭さ」です。

(266) **landscape** [lændskèip] (n)「風景、景観」

[派] land [lænd]「土地」、landscaping [lændskèipiŋ]「造園」、landscape architect [lændskèip á:rkətèkt]「造園家」

landscape は land [lænd]「土地」+ scape「形・眺め」に由来し、「土地の眺め」が原義です。そこから、自然や建物を含む広がりとしての「風景」「景観」を意味するようになりました。scene [sí:n]が目目の前の場面を広く表すのに対し、landscape [lændskèip]は土地の形・配置・広がり意識する語です。また比喩的に、政治・経済・教育などの全体状況を表すこともあります。派生語 landscaping [lændskèipiŋ]は「造園」を意味します。類義語は scenery [sí:nəri]「風景」、view [vjú:]「眺め」、terrain [təréin]「地形」。反意語は interior [intíəriər]「内部」、cityscape [sítiskèip]「都市景観」、blankness [blæŋknəs]「空白」です。

(267) **urban**[é:rbən](adj)「都市の、都会的な」

[派]urbanize[é:rbənàiz]「都市化する」、urbanization [ə:rbənəzɪʃən]「都市化」、urbanism[é:rbənizəm]「都市生活様式」

urban は urbs「都市」に由来し、「都市に関する」が原義です。そこから、人口が集中し、交通・商業・行政・文化が発達した「都市の」「都会的な」という意味になりました。rural [rúərəl]「田舎の」と対比される語で、地理だけでなく生活様式や社会問題を述べる時にも使われます。都市化・住宅・交通・環境・貧困など、現代社会のテーマで頻出します。派生語 urbanization[ə:rbənəzɪʃən]は「都市化」を意味し、人口や産業が都市に集中する過程を表します。類義語は city [síti]「都市の」、metropolitan[mètɹəpólətən]「大都市の」、municipal[mju:nísəpəl]「市の」。反意語は rural [rúərəl]「田舎の」、country [kʌntri]「田舎の」、agricultural[ægɹəkʌltʃərəl]「農業の」です。

(268) **rural**[rúərəl](adj)「田舎の、農村の」

[派]rurality [ruərəlɪti]「田舎らしさ」、ruralize [rúərələiz]「田舎風にする」、ruralism[rúərəlizəm]「農村主義」

rural は rus「田舎・農地」に由来し、「田舎に関する」が原義です。そこから、都市ではなく農村や地方に関わる「田舎の」「農村の」という意味になりました。urban[é:rbən]「都市の」と対比され、人口密度・生活様式・産業構造・交通環境などの違いを述べる文脈でよく使われます。単に country[kʌntri]「田舎の」よりも、社会・経済・行政上の分類として用いられることが多い語です。農業・地域社会・過疎化・教育格差などの話題で重要です。類義語は country[kʌntri]「田舎の」、agricultural [ægɹəkʌltʃərəl]「農業の」、provincial [prəvínfəl]「地方の」。反意語は urban[é:rbən]「都市の」、metropolitan[mètɹəpólətən]「大都市の」です。

(269) **biology**[baíólədʒi](n)「生物学」

[派]biological [bàióládʒikəl]「生物学の」、biologist [baíólədʒist]「生物学者」、biologically[bàióládʒikəli]「生物学的に」

biology は bio-「生命」+ -logy「学問」から成り、「生命を研究する学問」が原義です。そこから、動物・植物・微生物・細胞・遺伝・進化などを扱う「生物学」を意味します。science [sáiens]の一分野であり、生命現象の仕組みを理解するた

めの基本語です。bio- は biography[baiógrəfi]「伝記」や biotechnology[bàiouteknólədʒi]「生物工学」にも見られます。派生語 biological[bàióládʒikəl]は「生物学的な」を意味し、医学・環境・遺伝の文脈で頻出します。類義語は life science [láif sàiəns]「生命科学」、ecology [ikólədʒi]「生態学」、zoology[zouólədʒi]「動物学」。反意語は nonbiology [nənbaíólədʒi]「非生物学」、inorganic science[íno:rgænik sàiəns]「無機科学」です。

(270) **cell**[sél](n)「細胞、小部屋、電池」

[派]cellular[séljələr]「細胞の」、cellphone[sélfəun]「携帯電話」、cellulose[séljulðus]「セルロース」

cell は「小さな部屋」に由来し、もとは修道士や囚人のための小部屋を表しました。そこから、生物を構成する小さな単位として「細胞」の意味になりました。また、電気を生み出す小さな単位として「電池」、通信網の区画から「携帯電話」にも関係します。共通するのは、大きな構造を構成する小さな区画や単位という発想です。生物学では cell[sél]は生命の基本単位として非常に重要です。派生語 cellular[séljələr]は「細胞の」「携帯電話の」を意味します。類義語は unit[jú:nit]「単位」、chamber[tʃéimbər]「小室」、battery[bæteri]「電池」。反意語は organism[ó:rgənizəm]「生物個体」、whole [hóul]「全体」です。

(271) **instinct**[ínstíŋkt](n)「本能、直感」

[派]instinctive[ínstíŋktiv]「本能的な」、instinctively [ínstíŋktivli]「本能的に」、instinctual [ínstíŋktʃuəl]「本能の」

instinct は in-「中へ」+ stinct「刺す・刺激する」に関係し、「内側から刺激されるもの」が原義です。そこから、学習や理性によらず、生まれつき行動を導く力として「本能」を意味するようになりました。また、理由を明確に説明できないが自然に感じる「直感」の意味でも使われます。reason[rí:zən]「理性」と対比され、動物行動・心理・人間の判断を述べる文脈で重要です。派生語 instinctive[ínstíŋktiv]は「本能的な」を表します。類義語は intuition[íntjuíʃən]「直感」、impulse [ímpʌls]「衝動」、drive[dráiv]「欲動」。反意語は reason [rí:zən]「理性」、learning [lárniŋ]「学習」、deliberation[dilibərəíʃən]「熟考」です。

(272) **gene**[dʒí:n](n)「遺伝子」

[派]genetic[dʒənétik]「遺伝の」、genetics[dʒənétiks]「遺伝学」、genome[dʒí:noum]「ゲノム」

gene は gen「生む」に由来し、「性質を生み出すもの」が原義です。生物学では、親から子へ受け継がれ、形質や機能に影響を与える基本単位として「遺伝子」を意味します。DNA [di: en éi]上に存在し、身体的特徴や病気へのなりやすさなどに関わります。gen は generate[dʒénərèt]「生み出す」や genetic[dʒənétik]「遺伝の」ともつながります。gene [dʒí:n]は現代生物学・医学・進化論で中心となる語です。類義語は hereditary unit[hərədətèri jú:nit]「遺伝単位」、DNA segment[di: en éi ségmənt]「DNA 部分」。反意語は environment[inváiərənmənt]「環境」、acquired trait[ækwáíərd tréit]「獲得形質」です。

(273) **nerve**[né:rv] (n)「神経、勇氣、図太さ」

[派]nervous [né:rvəs]「神経質な」、nervously [né:rvəsli]「神経質に」、nervousness[né:rvəsənəs]「緊張」

nerve は身体の信号を伝える「神経」を表す語です。そこから、精神的な緊張や感情にも関係し、nervous[né:rvəs]「神経質な」という派生語が生まれました。また、困難に立ち向かう精神力として「勇氣」、時に遠慮のなさとして「図太さ」という意味にもなります。身体の神経から精神の強さ・弱さへ意味が広がった語です。医学・心理・日常表現のいずれでもよく使われます。類義語は neuron[njúərən]「神経細胞」、courage [kó:ridʒ]「勇氣」、boldness[bóuldnəs]「大胆さ」。反意語は cowardice[káuərdis]「臆病」、calmness[ká:mnəs]「落ち着き」、insensitivity[insənsətívəti]「無感覚」です。

(274) **remedy**[rémədi] (n)「治療法、解決策」／(v)「治す、改善する」

[派]remedial[rimí:diəl]「治療の・補習の」、remediable [rimí:diəbəl]「改善可能な」、remedying[rémədiɪŋ]「改善すること」

remedy は re-「再び」+ med「治す」に関係し、「元のよい状態へ戻すもの」が原義です。／(n)では、病気や問題をよくするための「治療法」「解決策」を表します。／(v)では、悪い状態を「治す」「改善する」という意味になります。cure[kjúər]が病気を治すことに強く使われるのに対し、remedy [rémədi]は社会問題・欠陥・不公平などにも広く使われます。派生語 remedial[rimí:diəl]は「改善のための」「補習の」と

いう意味です。類義語は cure[kjúər]「治療法」、solution [səlu:ʃən]「解決策」、treatment[trí:tmənt]「治療」。反意語は cause[kó:z]「原因」、problem[prábləm]「問題」、damage[dæmidʒ]「損害」です。

(275) **syndrome**[síndroum] (n)「症候群、一連の症状」

[派]syndromic[sindrámik]「症候群の」、syndrome-related [síndroum riléitid]「症候群関連の」、Down syndrome[dáun síndroum]「ダウン症候群」

syndrome は syn-「共に」+ drome「走る」に由来し、「共に現れるもの」が原義です。医学では、いくつかの症状が同時に現れるまとまりを表し、「症候群」と訳されます。単独の disease[dízi:z]「病気」ではなく、複数の症状や特徴が組み合わせられた状態を示す点が重要です。また比喩的に、社会や心理に見られる特徴的な傾向のまとまりを指すこともあります。語源的には、別々の症状が一緒に進行するという感覚があります。類義語は disorder[disó:rdər]「障害」、condition [kəndíʃən]「状態」、symptom cluster [símtəm klástər]「症状群」。反意語は health[hélθ]「健康」、normality[nó:rməléti]「正常」、well-being[wél bí:ɪŋ]「健康状態」です。

(276) **perceive**[pərsí:v] (v)「知覚する、認識する」

[派]perception[pərsépfən]「知覚・認識」、perceptive [pərséptiv]「知覚の鋭い」、perceivable[pərsí:vəbəl]「知覚できる」

perceive は per-「完全に」+ ceive「取る」から成り、「完全に受け取る」が原義です。そこから、感覚器官によって「知覚する」、また物事の意味や状況を「認識する」という意味になりました。see[sí:]「見る」よりも広く、視覚だけでなく、音・感情・考え・変化をとらえる場合にも使われます。さらに、客観的事実よりも人がどう受け止めるかを表すことが多い語です。派生語 perception[pərsépfən]は「知覚」「認識」を意味します。類義語は notice[nóutis]「気づく」、recognize [rékəgnàiz]「認識する」、sense[séns]「感じる」。反意語は overlook[òuvərlúk]「見落とす」、ignore[ignó:r]「無視する」、misperceive[mispərsí:v]「誤認する」です。

(277) **glance**[glæns] (v)「ちらりと見る」／(n)「一瞥」

[派]glancing [glænsɪŋ]「ちらりと見る」、glanceable [glænsəbəl]「一目でわかる」、side-glance[sáid glæns]「横目」

glance は「光がさっと反射する」に関係し、そこから目を短時間だけ向けることを表すようになりました。/(v)では「ちらりと見る」、/(n)では「一瞥」を意味します。look[lúk]が一般的に見ることを表すのに対し、glance[glæns]は短く、素早く、深く注意しない見方を表します。情報をすばやく確認する場合や、偶然目に入る場合にも使われます。視線が一瞬だけ触れるという感覚が中心です。類義語は glimpse[glímps]「ちらりと見る」、peek[pí:k]「のぞく」、look briefly[lúk brí:fli]「短く見る」。反意語は stare[stéər]「じっと見る」、gaze[géiz]「見つめる」、scrutinize[skrú:tənàiz]「詳しく調べる」です。

(278) **visible**[vìzəbəl](adj)「目に見える、明白な」

[派]visibility[vìzəbìləti]「可視性」、visibly[vìzəbli]「目に見えて」、invisible[invìzəbəl]「見えない」  
visible は vis「見る」+ -ible「できる」から成り、「見ることが出来る」が原義です。そこから、物理的に「目に見える」という意味になりました。さらに、変化・感情・影響などがはっきりわかる場合にも「明白な」という意味で用いられます。visual[vìzʊəl]「視覚の」と同じ語根を持ち、視覚的に確認できることが中心です。反対語 invisible[invìzəbəl]は「見えない」を表します。科学・日常・社会問題の文脈で、存在や影響が確認できることを表す重要語です。類義語は apparent[əpéərənt]「明らかな」、obvious[óbviəs]「明白な」、noticeable[nóutisəbəl]「目立つ」。反意語は invisible[invìzəbəl]「見えない」、hidden[hídn]「隠れた」、obscure[əbskjúər]「不明瞭な」です。

(279) **fancy**[fænsi](n)「空想、好み」/(v)「好む、想像する」

[派]fanciful[fænsifəl]「空想的な」、fancy-free[fænsifrí:]「気ままな」、fancier[fænsiər]「愛好家」  
fancy は fantasy[fæntəsi]と関係し、もとは「心に思い描くこと」を表しました。そこから、/(n)では「空想」「好み」、/(v)では「想像する」「好む」という意味になりました。imagine[imædʒin]よりも軽く、時に気まぐれな好みや思いつきを含みます。また、形容詞的に「装飾的な」「高級な」という意味を持つこともあります。語源的には、現実そのものではなく、心の中で描かれるイメージや好みに関わる語です。類義語は imagination[imædʒənéiʃən]「想像」、preference[préfərəns]「好み」、like[láik]「好む」。反意語は reality[riæləti]「現実」、dislike[disláik]「嫌う」、plainness

[pléinnəs]「簡素さ」です。

(280) **psychology**[saikólədʒi](n)「心理学、心理」

[派]psychological[sàikələdʒikəl]「心理的な」、psychologist[sàikələdʒist]「心理学者」、psychologically[sàikələdʒikəli]「心理的に」  
psychology は psycho-「心」+ -logy「学問」から成り、「心を研究する学問」が原義です。そこから、人間や動物の心の働き、行動、感情、認知を扱う「心理学」を意味します。また、学問としてだけでなく、人の心の動きや心理状態のものを表すこともあります。biology[baiólədʒi]が生命を扱う学問であるように、psychology[sàikələdʒi]は心と行動を扱う分野です。派生語 psychological[sàikələdʒikəl]は「心理的な」を意味します。類義語は mental science[méntl sàiəns]「心理科学」、behavioral science[bihéivjərəl sàiəns]「行動科学」、mind study[máind stádi]「心の研究」。反意語は physiology[fiziólədʒi]「生理学」、physical science[fízikəl sàiəns]「物理科学」です。

(281) **witness**[wítnəs](n)「目撃者、証人」/(v)「目撃する、証言する」

[派]eyewitness[áiwitnəs]「目撃者」、witnessing[wítnəsiŋ]「目撃・証言」、witnessed[wítnəst]「目撃された」  
witness は wit「知る」+ -ness「状態」に関係し、「知っている人」が原義です。そこから、出来事を実際に見た「目撃者」、法廷などで事実を述べる「証人」を意味するようになりました。/(v)では「目撃する」「証言する」を表します。see[sí:]「見る」よりも、重要な出来事を直接見て、その事実を証明できる立場にあることを含みます。法的文脈だけでなく、歴史的出来事や変化を経験する場合にも使われます。類義語は observer[əbzə:rvər]「観察者」、eyewitness[áiwitnəs]「目撃者」、testify[téstəfài]「証言する」。反意語は participant[pɑ:rtisəpənt]「参加者」、ignorant person[ignərənt pə:rsn]「知らない人」、bystander[báistændər]「傍観者」です。

(282) **appetite**[əpətàit](n)「食欲、欲求」

[派]appetizer[əpətàizər]「前菜」、appetizing[əpətàiziŋ]「食欲をそそる」、appetitive[əpətitiv]「欲求の」  
appetite は ap-「〜へ」+ pet「求める」に関係し、「何かを

## DB5500

求めること」が原義です。そこから、食べ物を求める「食欲」を意味するようになりました。さらに、知識・権力・危険・利益などへの強い「欲求」も表します。hunger[hʌŋgər]が身体的な空腹に近いのに対し、appetite[æpətàit]はより広く、何かを求める傾向や好みを含みます。派生語 appetizing [æpətàiziŋ]は「食欲をそそる」を意味します。類義語は hunger [hʌŋgər]「空腹」、desire [dizáier]「欲求」、craving [kréivɪŋ]「強い欲求」。反意語は fullness [fúlnəs]「満腹」、satisfaction[sætisfæksʃən]「満足」、aversion[əvə:rʒən]「嫌悪」です。

(283) **pastime**[pæstàim](n)「気晴らし、娯楽」

[派]pass[pæss]「過ごす」、time[táim]「時間」、pastime activity[pæstàim æktívəti]「娯楽活動」

pastime は pass[pæss]「過ごす」+ time[táim]「時間」から成り、「時間を過ごすもの」が原義です。そこから、余暇に楽しむ活動として「気晴らし」「娯楽」を意味するようになりました。hobby [hábi]「趣味」に近いですが、pastime [pæstàim]は必ずしも本格的な趣味ではなく、楽しみとして時間を過ごす活動を広く指します。読書・散歩・ゲーム・音楽など、仕事や義務から離れて楽しむものに使われます。語源的には、時間を心地よく過ごすという感覚が中心です。類義語は hobby[hábi]「趣味」、recreation[rèkriéifən]「娯楽」、leisure activity[lí:ʒər æktívəti]「余暇活動」。反意語は work [wó:rk]「仕事」、duty [djú:ti]「義務」、labor [léibər]「労働」です。

(284) **mischief**[místʃif](n)「いたずら、悪さ、害」

[派]mischievous [místʃəvəs]「いたずら好き」、mischievously [místʃəvəsli]「いたずらっぽく」、mischievousness[místʃəvəsənəs]「いたずら好き」

mischief は mis-「悪く」+ chief「結果・頭」に関係し、「悪い結果をもたらすこと」が原義です。そこから、子どもなどの「いたずら」「悪さ」、さらに軽い害や迷惑を表すようになりました。crime[kráim]「犯罪」ほど重くはありませんが、無害とは限らず、迷惑や損害を含むことがあります。派生語 mischievous[místʃəvəs]は「いたずら好き」を意味し、悪意よりも遊び心を含む場合があります。語源的には「悪い結果へ向かう行動」と考えると理解しやすい語です。類義語は prank [præŋk]「いたずら」、trouble [tráibəl]「迷惑」、harm[há:rm]「害」。反意語は obedience[oubi:diəns]

「従順」、goodness [gúdnəs]「善良さ」、helpfulness [hélpfəlnəs]「役に立つこと」です。

(285) **routine**[ru:tí:n](n)「日課、決まりきった手順」／形容詞「日常の、型通りの」

[派]routinely [ru:tí:nli]「日常的に」、routine work [ru:tí:n wó:rk]「定型業務」、nonroutine[nànru:tí:n]「非定型の」

routine は route[rú:t]「道」に関係し、「決まった道筋」が原義です。そこから、毎日または定期的に行う「日課」、決まった「手順」を意味するようになりました。形容詞では、特別ではなく「日常の」「型通りの」という意味になります。habit[hæbit]「習慣」が個人の行動傾向を表すのに対し、routine[ru:tí:n]は順序や手順が決まった繰り返しを意識します。仕事・生活・医療・授業など幅広い文脈で使われます。類義語は habit [hæbit]「習慣」、procedure [prəsi:dʒər]「手順」、schedule [skédʒu:l]「予定」。反意語は exception [iksépʃən]「例外」、irregularity[irègjulærəti]「不規則」、novelty[návəlti]「新奇さ」です。

(286) **incident**[ínsədənt](n)「出来事、事件」

[派]incidental [ínsədéntl]「偶発的な」、incidentally [ínsədéntəli]「ちなみに」、incidence [ínsədəns]「発生率」

incident は in-「上に」+ cid「落ちる」に関係し、「偶然起こること」が原義です。そこから、日常や社会の中で発生した「出来事」、特に注意を引く「事件」を意味するようになりました。event[ivént]「出来事」よりも、予期しないことや問題性を含む場合が多い語です。ただし、必ずしも重大犯罪を意味するわけではなく、小さな出来事にも使えます。派生語 incidental [ínsədéntl]は「偶発的な」「付随的な」を意味します。類義語は event[ivént]「出来事」、occurrence[əkó:rəns]「発生」、episode[épəsòud]「一件」。反意語は plan[plæn]「計画」、routine [ru:tí:n]「日課」、normality [nó:rmæləti]「正常」です。

(287) **stuff**[stáf](n)「物、材料、こと」／(v)「詰める」

[派]stuffing [stáfɪŋ]「詰め物」、stuffed [stáfɪt]「詰め込まれた」、overstuffed[òuvərstáfɪt]「詰め込みすぎた」

stuff は「材料・物」を表す広い語で、具体的な物から抽象的な内容まで幅広く使われます。／(n)では「物」「材料」「こと」を意味し、thing[θɪŋ]よりくだけた表現です。／(v)では、空間

に物を押し込むことから「詰める」という意味になります。中心には、形や名前を細かく特定しない「中身・材料」という感覚があります。学習上は、正式な文章では material[mətíəriəl] や substance[sábstəns]の方が適する場合がある点にも注意します。類義語は material[mətíəriəl]「材料」、thing [θɪŋ]「物」、fill[fíl]「詰める」。反意語は empty[éempti]「空にする」、remove[rímú:v]「取り除く」、void[vóid]「空所」です。

(288) **intellect**[íntələkt](n)「知性、知力」

[派] intellectual [íntələkt,fuəl]「知的な・知識人」、  
intellectually [íntələkt,fuəli]「知的に」、intelligible  
[íntələdʒəbəl]「理解できる」

intellect は inter-「間で」+ lect「選ぶ・読む」に関係し、「物事を見分けて理解する力」が原義です。そこから、感情や本能ではなく、考える力としての「知性」「知力」を意味します。intelligence[íntələdʒəns]が知能や情報収集能力を広く表すのに対し、intellect[íntələkt]は論理的・抽象的に考える能力をやや硬く表します。哲学・教育・人物評価の文脈でよく用いられます。派生語 intellectual[íntələkt,fuəl]は「知的な」「知識人」を意味します。類義語は intelligence [íntələdʒəns]「知能」、reason[rí:zən]「理性」、mind [máind]「知性」。反意語は ignorance[ígnərəns]「無知」、instinct[ínstɪŋkt]「本能」、stupidity[stju:pídəti]「愚かさ」です。

(289) **intelligent**[íntələdʒənt](adj)「知能の高い、理解力のある」

[派] intelligence [íntələdʒəns]「知能」、intelligently  
[íntələdʒəntli]「賢く」、intelligible[íntələdʒəbəl]「理解できる」

intelligent は inter-「間で」+ leg「選ぶ・読む」に関係し、「物事を選び分けて理解できる」が原義です。そこから、学習・判断・理解の能力が高いことを表し、「知能の高い」「理解力のある」という意味になります。clever[klévər]が機転や器用さを表すことがあるのに対し、intelligent[íntələdʒənt]はより一般的で知的能力そのものを表す語です。人だけでなく、system[sístəm]「システム」や machine[məʃí:n]「機械」にも使われます。類義語は smart[smá:rt]「賢い」、clever [klévər]「利口な」、bright[bráit]「頭のよい」。反意語は unintelligent [ʌníntələdʒənt]「知能の低い」、foolish

[fú:li:]「愚かな」、stupid[stjú:píd]「愚かな」です。

(290) **qualify**[kwáləfài](v)「資格を与える、適任にする、限定する」

[派] qualification [kwáləfəkéiʃən]「資格・条件」、  
qualified [kwáləfàid]「資格のある」、qualifier  
[kwáləfàiər]「修飾語・予選通過者」

qualify は quality[kwáləti]「質」+ -fy「～にする」に関係し、「必要な質を持たせる」が原義です。そこから、ある仕事や試験に必要な条件を満たして「資格を与える」「適任にする」という意味になりました。また、発言や意味をそのままにせず条件を付けることから「限定する」という意味もあります。派生語 qualification[kwáləfəkéiʃən]は「資格」だけでなく「制限条件」も表します。語源的には、ある基準にふさわしい性質を備えることが中心です。類義語は certify[só:rtəfài]「資格を証明する」、enable[enéibəl]「可能にする」、limit [límit]「限定する」。反意語は disqualify[diskwáləfài]「資格を失わせる」、exclude[íksklú:d]「除外する」、unfit [ʌnfít]「不適格な」です。

(291) **faculty**[fækəlti](n)「能力、学部、教員団」

[派] facultative [fækəltətiv]「任意の」、faculty  
member [fækəlti mèmber]「教員」、faculties  
[fækəltiz]「能力」

faculty は facil「容易にする・行う力」に関係し、「何かを行う能力」が原義です。そこから、人間の知的・身体的な「能力」を意味するようになりました。また、大学で特定の教育研究を行う組織として「学部」、さらにそこに属する「教員団」も表します。ability[əbíləti]よりもやや硬く、知覚・判断・記憶など人間の基本能力を述べる場合にも用いられます。教育機関の文脈では「学部」か「教員団」かを文脈で判断する必要があります。類義語は ability [əbíləti]「能力」、capacity [kəpésəti]「能力・容量」、department[dipá:rtmənt]「学科」。反意語は inability [ínəbíləti]「無能力」、incapacity[ínkəpésəti]「能力の欠如」です。

(292) **genius**[dʒí:níəs](n)「天才、非凡な才能」

[派] genial [dʒí:níəl]「親切な・温和な」、ingenious  
[índʒí:níəs]「独創的な」、genius-level[dʒí:níəs lèvəl]  
「天才級の」

genius は gen「生む」に関係し、もとは人に生まれつき備わった守護的な力や才能を表しました。そこから、並外れた知的・

創造的能力を持つ人として「天才」、またその能力自体として「非凡な才能」を意味するようになりました。talent[tælənt]「才能」よりも強く、独創性や卓越性を含みます。芸術・科学・数学・文学などで、通常的能力を大きく超える人物や発想に使われます。派生語 ingenious[indʒiːniəs]は「独創的な」を意味します。類義語は prodigy[prədədʒi]「神童」、brilliance[brɪljəns]「優秀さ」、mastermind[mæstərmàind]「優れた頭脳の人」。反意語は fool[fú:l]「愚か者」、mediocrity[mì:diókreti]「凡庸」、stupidity[stju:pídəti]「愚かさ」です。

- (293) **mature**[mətjúər](adj)「成熟した」／(v)「成熟する、成熟させる」

[派] maturity[mətjúərəti]「成熟」、immature[imətjúər]「未熟な」、maturely[mətjúərli]「成熟して」  
mature は「適切な時期に達した」に由来し、十分に成長して完成に近い状態を表します。形容詞では、人・考え・果実・制度などが「成熟した」、／(v)では「成熟する」「成熟させる」という意味になります。adult[ædʌlt]が年齢上の大人を表すのに対し、mature[mətjúər]は精神的・機能的に十分発達していることを重視します。派生語 maturity[mətjúərəti]は「成熟」、immature[imətjúər]は「未熟な」を意味します。成長の過程と完成度を意識する語です。類義語は developed[divéləpt]「発達した」、grown-up[gróun òp]「大人の」、ripe[ráip]「熟した」。反意語は immature[imətjúər]「未熟な」、childish[tʃáildɪʃ]「子どもっぽい」、undeveloped[ʌndivéləpt]「未発達の」です。

- (294) **efficient**[ifíʃənt](adj)「効率的な、有能な」

[派]efficiency[ifíʃənsi]「効率」、efficiently[ifíʃəntli]「効率的に」、inefficient[ínifíʃənt]「非効率的な」  
efficient は e-「外へ」+ fic「作る」に関係し、「結果を生み出す力がある」が原義です。そこから、少ない時間・労力・費用でよい結果を出す「効率的な」という意味になりました。また、人や機械が無駄なく仕事をこなす場合に「有能な」とも訳されます。effective[iféktiv]が「効果がある」ことに焦点を置くのに対し、efficient[ifíʃənt]は無駄の少なさを重視します。派生語 efficiency[ifíʃənsi]は「効率」です。類義語は productive[prədáktiv]「生産的な」、effective[iféktiv]「効果的な」、capable[kéipəbəl]「有能な」。反意語は inefficient[ínifíʃənt]「非効率的な」、wasteful[wéistfəl]

「無駄の多い」、ineffective[íniféktiv]「効果のない」です。

- (295) **stir**[stó:r](v)「かき混ぜる、動かす、呼び起こす」／(n)「動き、騒ぎ」

[派]stirring[stó:riŋ]「感動的な・かき混ぜ」、stirrer[stó:rər]「かき混ぜる人・棒」、stirred[stó:rd]「動かされた」

stir は「動かす」が基本の語です。液体や材料を「かき混ぜる」という具体的な意味から、人や感情を「動かす」「呼び起こす」という抽象的意味に広がりました。／(n)では、小さな「動き」や、人々の間に起こる「騒ぎ」を表します。move[mú:v]よりも、静かな状態に変化や反応を生じさせる感覚が強い語です。感情・記憶・社会的反応などを刺激する文脈でよく使われます。類義語は mix[míks]「混ぜる」、move[mú:v]「動かす」、arouse[əráuz]「呼び起こす」。反意語は calm[ká:m]「静める」、settle[sétl]「落ち着かせる」、still[stíl]「静止させる」です。

- (296) **tear**[téər(動)／tíər(名)](v)「引き裂く」／(n)「涙」

[派]torn[tó:rn]「引き裂かれた」、tearful[tíərfəl]「涙ぐんだ」、teardrop[tíədrɒp]「涙のしずく」

tear は、／(v)では[téər]と発音し、「引き裂く」「破る」を意味します。一方、／(n)では[tíər]と発音し、「涙」を意味します。同じ綴りですが発音と意味が異なるため注意が必要です。／(v) tear[téər]は、布・紙・関係・心などを物理的または比喩的に裂く場合に使われます。／(n) tear[tíər]は悲しみ・喜び・痛みなどによって目から出る「涙」です。派生語 torn[tó:rn]は「破れた」「心が引き裂かれた」を表します。類義語は rip[ríp]「裂く」、split[splít]「割る」、weep[wí:p]「涙を流す」。反意語は mend[ménd]「修繕する」、repair[ripéər]「直す」、dryness[dráinəs]「乾燥」です。

- (297) **physical**[fízikəl](adj)「身体の、物理的な」

[派]physically[fízikəli]「身体的に・物理的に」、physics[fíziks]「物理学」、physician[fizíʃən]「医師」

physical は physis「自然」に由来し、「自然物・身体に関する」が原義です。そこから、人の「身体の」、また物質や力に関する「物理的な」という意味になりました。mental[méntl]「精神の」と対比される場合は身体面を、abstract[æbstrækt]「抽象的な」と対比される場合は具体的・物質的な面を表します。医学・スポーツ・科学・哲学などで頻出する基本語です。派生語 physics[fíziks]は自然界の物理法則を扱う「物理学」

## DB5500

です。類義語は bodily [bádəli]「身体の」、material [mətíəriəl]「物質的な」、concrete [kánkri:t]「具体的な」。反意語は mental [méntl]「精神の」、spiritual [spíritʃuəl]「精神的な」、abstract [æbstrækt]「抽象的な」です。

(298) **naked** [néikid] (adj)「裸の、むき出しの」／副詞「裸で、むき出しで」

[派] nakedness [néikidnəs]「裸であること」、nakedly [néikidli]「むき出しに」、half-naked [hæf néikid]「半裸の」

naked は「覆いがない」が基本の意味です。形容詞では、人が衣服を着ていない「裸の」、また物が覆われていない「むき出しの」という意味になります。さらに、事実や感情が隠されていない場合にも比喩的に使われます。bare [béər]に近い語ですが、naked [néikid]は覆いや保護がまったくないことを強く表します。副詞的には「裸で」「むき出しで」の意味で用いられることがあります。派生語 nakedness [néikidnəs]は「裸である状態」を表します。類義語は bare [béər]「むき出しの」、uncovered [ʌnkʌvəd]「覆われていない」、exposed [ikspóuzd]「さらされた」。反意語は clothed [klóud]「服を着た」、covered [kʌvəd]「覆われた」、protected [prətékʃid]「保護された」です。

(299) **fatigue** [fəti:g] (n)「疲労」／(v)「疲れさせる」

[派] fatigued [fəti:gd]「疲労した」、fatiguing [fəti:gin]「疲れさせる」、fatigue-related [fəti:g riléitid]「疲労関連の」

fatigue は「疲れさせる」に由来し、身体的・精神的な「疲労」を表す語です。tiredness [táiardnəs]「疲れ」よりも硬く、長時間の労働・病気・緊張・反復作業による消耗を表す場合によく使われます。／(n)では「疲労」、／(v)では「疲れさせる」という意味になります。医学・労働・心理・軍事などの文脈で重要です。単なる一時的な眠気ではなく、機能や集中力を低下させる消耗状態を指します。派生語 fatigued [fəti:gd]は「疲労した」を意味します。類義語は tiredness [táiardnəs]「疲れ」、exhaustion [igzót:stʃən]「極度の疲労」、weariness [wíərinəs]「疲労感」。反意語は energy [énərdzi]「活力」、vigor [vígər]「活力」、refreshment [rifréʃmənt]「回復」です。

(300) **exhaustion** [igzót:stʃən] (n)「極度の疲労、消耗、

枯渇」

[派] exhaust [igzót:st]「疲れ果てさせる・使い尽くす」、exhausted [igzót:stid]「疲れ果てた」、exhaustive [igzót:stiv]「徹底的な」

exhaustion は ex-「外へ」+ haust「くみ出す」に関係し、「中身を外へすっかり出し尽くした状態」が原義です。そこから、体力や精神力を使い果たした「極度の疲労」、また資源や供給の「消耗」「枯渇」を意味するようになりました。fatigue [fəti:g]よりも強く、残っている力がほとんどない状態を表します。派生語 exhausted [igzót:stid]は「疲れ果てた」、exhaustive [igzót:stiv]は「徹底的な」を意味し、使い尽くす感覚でつながります。類義語は fatigue [fəti:g]「疲労」、weariness [wíərinəs]「疲労感」、depletion [diplí:ʃən]「枯渇」。反意語は energy [énərdzi]「活力」、recovery [rikʌvəri]「回復」、renewal [rinú:əl]「再生」です。